



LinkCube

ユーザーガイド

2015年6月25日 第1版発行

2015年7月16日 第2版発行

- ▶ セクション 29 「小組（コマ）を複数配置した状態で自動組版しよう」を追加

2015年12月21日 第3版発行

- ▶ セクション 13 「インデザインタグとリンクキューブ拡張タグを使おう」に日本語 InDesign タグを追加
- ▶ セクション 14 「Google ドライブと連携しよう」を追加
- ▶ セクション 4 「プロジェクトを作ろう」に Google ドライブプロジェクトの作成方法を追加
- ▶ セクション 2 「組版用テキストデータを作ろう」に Google スプレッドシートを追加
- ▶ セクション 23 「表組を組版しよう（エクセルファイル）」に xlsx（マクロ有効ブック）を追加
- ▶ セクション 26 「複数データ行を表組にしよう（増減行）」にフィルター機能と1つの小組で複数の増減行を使用する方法を追加
- ▶ セクション 27 「複数データ行を組版しよう（増減テキスト）」にフィルター機能と1つの小組で複数の増減テキストを使用する方法を追加
- ▶ セクション 44 「アカウント情報を変更しよう」～ 48 「ユーザーを管理しよう」を追加

▶ Copyright© 2013-2015 LinkCube.LLC All Rights Reserved.

本ユーザーガイドの内容はすべて、著作権法によって保護されています。

当社の許諾を得ることなく、複写、複製、転載、頒布等の二次利用を禁止します。また、内容を変形、変更、加筆修正等を行うことも同様に禁止いたします。

▶ 登録商標について

Adobe および InDesign は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Macintosh、Mac OS は Apple Inc. の登録商標です。

その他、製品名は一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

第 1 章

LinkCube の基本

組版データの用意、テンプレートの用意、プロジェクト作成、アップロード、組版実行、ダウンロード、といった全体の流れを解説します。



LinkCube

サンプルを試そう

サンプルプロジェクトを取込む

画面上部、右上のサンプル取込みをクリックすると、サンプルプロジェクトを取込む事ができます。

任意のサンプルをクリックして、取込み実行ボタンをクリックすると、プロジェクトに追加します。

追加されたプロジェクトフォルダをクリック→画面上部の組版実行ボタン→組版実行ボタンで、組版済みフォルダに組版結果が作成されます。

組版結果やテンプレート、組版データをダウンロードし、どのように作られているか確認する事ができます。

取込んだサンプルの組版データやテンプレートを修正し、アップロードすれば色々試すことができます。サンプルを最初の状態に戻す場合、プロジェクトを削除し、もう一度取込んでください。

また、サンプルで使用している画像は、弊社 Web サイト、「LinkCube ユーザーガイド」

<http://link-cube.net/usersguide/>

からダウンロードできます。

Windows 版の方は、ルートフォルダから

C:\¥LC サンプル画像 ¥LC ちらし ¥P&G.jpg

Mac 版の方は、ルートディレクトリから (Macintosh HD の下に)

/LC サンプル画像 /LC ちらし /P&G.jpg

となるようにコピーしてください。



サンプルを複数取込む

Tips

サンプルは複数選択し、取り込むことができます。

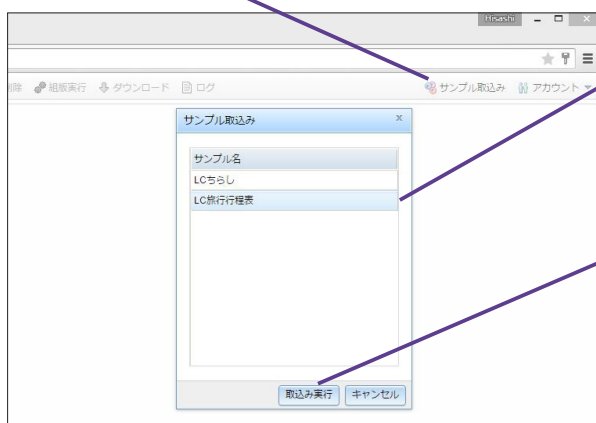
(Win)Ctrl キー / (Mac)command キー + クリック、Shift キー + クリックなどで選択できます。

サンプルを試すには

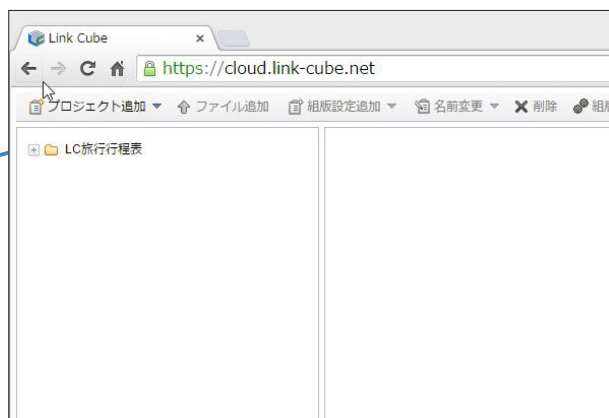
① メニューのサンプル取込みをクリック

② 取込みたいサンプルを選択

③ [取込み実行] をクリック



選択したサンプルプロジェクトが取り込まれました



組版用テキストデータを作ろう

流し込むデータを用意する

流し込むテキストデータの文字コードが Shift-JIS の場合、拡張子を csv にして、項目間の区切り文字をカンマ (,) にします。

流し込むテキストデータの文字コードが UTF-16LE の場合、拡張子を txt にして、項目間の区切り文字をタブにします。

流し込むテキストデータの文字コードが UTF-8 の場合、拡張子を tsv にして、項目間の区切り文字をタブにします。

Google ドライブプロジェクトを作成した場合、Google スプレッドシートも流し込むデータとして使用できます。

流し込むデータの 1 行目は、必ず項目名にして、項目名は重複しないようにします。

また、データ中にインデザインタグを入力する事も可能です。

例えば、途中で文字サイズを 32 級に変更するには

オークラホテルズ <cSize:32Q> ホテルイースト 21 東京

または

オークラホテルズ <フォントサイズ:32Q> ホテルイースト 21 東京

と入力します。詳しくは、セクション 13 「インデザインタグとリンクキューブ拡張タグを使おう」を参照してください。

「<」、 「>」、 「¥(バックスラッシュ:005C)」を組版する場合、インデザインタグと識別するためエスケープする必要があります。「<」は「¥<」、 「>」は「¥>」、 「¥」は「¥¥」と入力してください。

画像、動画、音声のデータ入力方法

画像、動画、音声を配置する場合は、ファイルのフルパスが必要になります。

例えば、社内ネットワークのパスや、ローカルディスクのパスになります。

/Volumes/Public/ 画像 /LC 金沢店 / アリエール .eps

Windows 版 InDesign を使用する場合は、 / を ¥(バックスラッシュ:005C) に置き換えても画像を配置しますが、エスケープする必要があります。

Z:¥¥Volumes¥¥Public¥¥ 画像 ¥¥LC 金沢店 ¥¥ アリエール .eps

ファイルのフルパスを作成する方法は 3 つです。

1 つめは、組版テキストデータにフルパスで入力します。

2 つめは、組版テキストデータにファイル名のみ入力し、組版設定の付加文字で、フォルダパスや拡張子を追加します。詳しくは、セクション 33 「文字を付加しよう」をご覧ください。

3 つめは、組版テキストデータにファイル名のみ入力し、テンプレートに配置してある画像のフォルダパスや拡張子を使用します。

エクセル、Google スプレッドシート、データベース

csv ファイルは、エクセル、Google スプレッドシート、データベースなどで簡単に作成できます。

txt ファイルは、エクセル、データベースなどで簡単に作成できます。

tsv ファイルは、Google スプレッドシート、データベースなどで簡単に作成できます。

Google ドライブプロジェクトを作成すると、Google スプレッドシートを組版データとして使用する事もできます。

ここではエクセルと Google スプレッドシートを例にします。データベースで作成する場合は、各種データベースのユーザーガイドやヘルプを参考にしてください。

スニペットファイルのデータ入力方法

画像をフレームに配置するように、スニペットをフレームに配置する場合は、ファイル名のみ入力します。

例えば、「商品紹介 .idms」となります。

スニペットファイルは、プロジェクトのテンプレートフォルダに必ずアップロードしてください。

エクセルファイルや csv、txt、tsv ファイルを表組にする入力方法

エクセルシートを表組として配置する場合は、エクセルファイル名 | シート名と入力します。フルパスではありません。ファイル名とシート名のみです。例えば、「料金表.xlsx|5-6月」となります。区切り記号「|」以降のシート名は省略可能です。省略時は最初のシートを使用します。入力例は、セクション 23「表組を組版しよう（エクセルファイル）」をご覧ください。

csv、txt、tsv ファイルを表組として配置する場合は、ファイル名のみ入力します。例えば、「料金表.csv」となります。入力例は、セクション 24「表組を組版しよう（csv、txt、tsv ファイル）」をご覧ください。

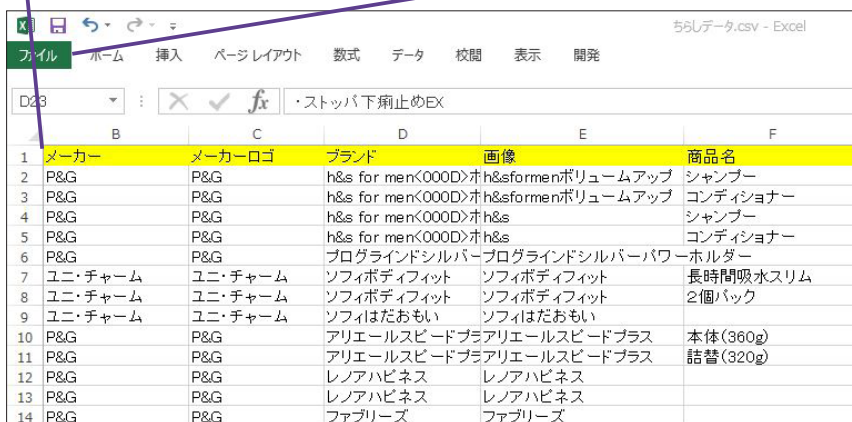
表組にしたいエクセルファイルや csv、txt、tsv ファイルは、プロジェクトの組版データフォルダに必ずアップロードしてください。

また、セル文字内にインデザインタグを入力する事もできます。

csv ファイルを作るには

① 1 行目は項目名

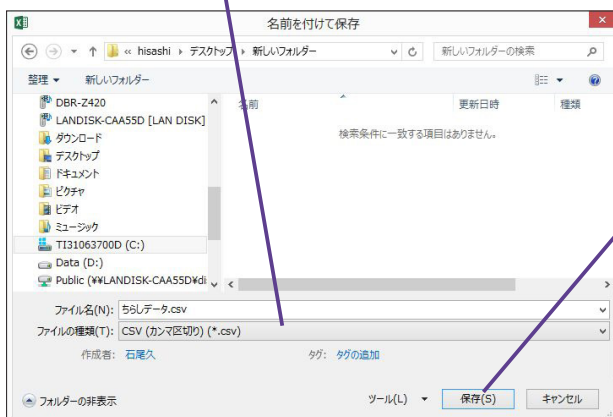
② エクセルメニューの [ファイル] [名前を付けて保存] をクリック



	B	C	D	E	F
1	メーカー	メーカーロゴ	ブランド	画像	商品名
2	P&G	P&G	h&s for men<000D>ホh&sformen	ボリュームアップ	シャンプー
3	P&G	P&G	h&s for men<000D>ホh&sformen	ボリュームアップ	コンディショナー
4	P&G	P&G	h&s for men<000D>ホh&s		シャンプー
5	P&G	P&G	h&s for men<000D>ホh&s		コンディショナー
6	P&G	P&G	プログラインドシルバール	プログラインドシルバール	パーホルダー
7	ユニ・チャーム	ユニ・チャーム	ソフィボディフィット	ソフィボディフィット	長時間吸水スリム
8	ユニ・チャーム	ユニ・チャーム	ソフィボディフィット	ソフィボディフィット	2個パック
9	ユニ・チャーム	ユニ・チャーム	ソフィはだおもい	ソフィはだおもい	
10	P&G	P&G	アリエールスピードプラス	アリエールスピードプラス	本体(360g)
11	P&G	P&G	アリエールスピードプラス	アリエールスピードプラス	詰替(320g)
12	P&G	P&G	レノアハビネス	レノアハビネス	
13	P&G	P&G	レノアハビネス	レノアハビネス	
14	P&G	P&G	ファブリーズ	ファブリーズ	

① ファイルの種類で、CSV（カンマ区切り）（*.csv）を選択

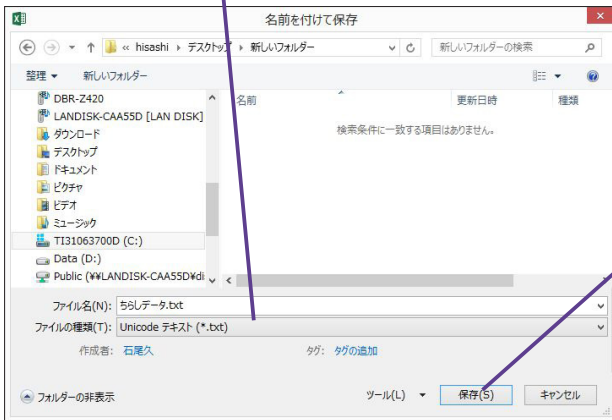
② [保存] をクリック



txt ファイルを作るには

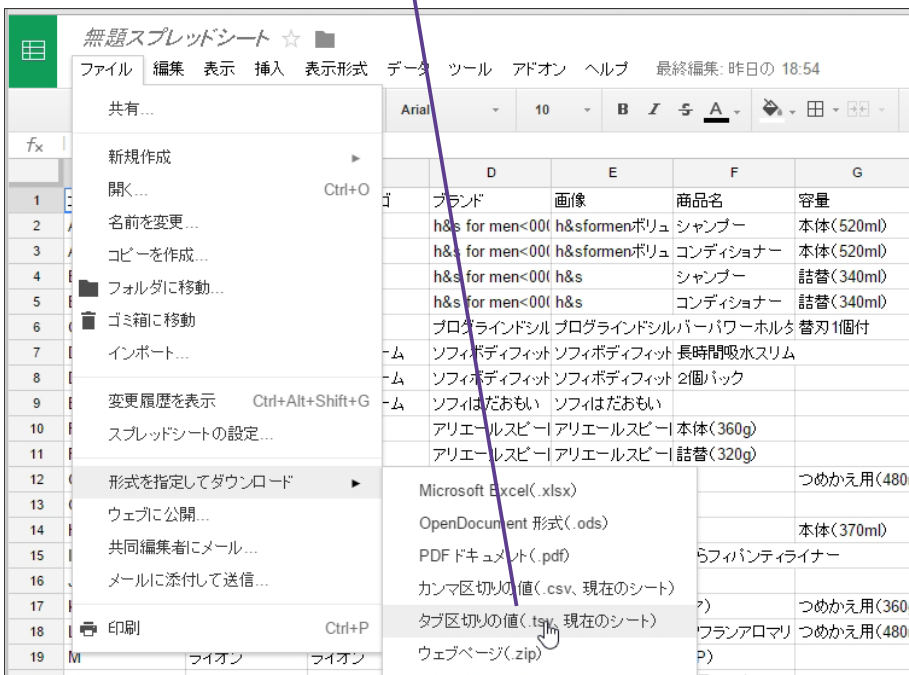
① ファイルの種類で、Unicode テキスト (*.txt) を選択

② [保存] をクリック

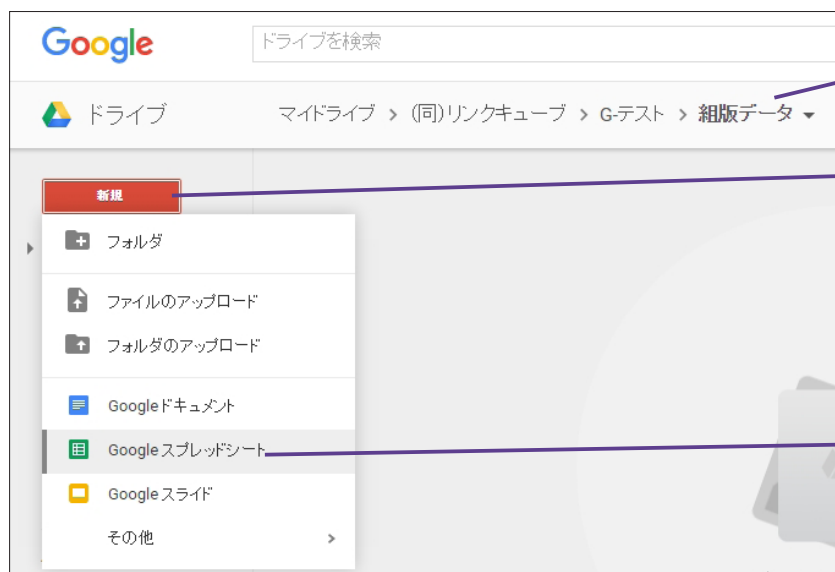


tsv ファイルを作るには

① Google スプレッドシートメニューの [ファイル] [形式を指定してダウンロード] [タブ区切りの値 (.tsv、現在のシート)] をクリック



Google スプレッドシートを作るには



① Google ドライブプロジェクト内の組版データフォルダを選択

② 新規ボタンをクリック

③ Google スプレッドシートをクリック

テンプレートを作ろう

InDesign の標準機能で作成する

テンプレートとして使用できるファイル形式は、InDesign スニペットファイル（拡張子、idms）と、InDesign IDML ファイル（拡張子、idml）です。InDesign テンプレートファイル（拡張子、indt）は使用できません。InDesign の標準機能で、テンプレートを作成します。既存の InDesign ファイルでも構いません。レイアウトが決定すれば、テンプレート作成作業は、8～9割完成です。残りの作業は、流し込みを行いたい箇所に、スタイルを付けます。文字、オブジェクト、表組にスタイルを適用する場合、普段使っているやりやすい方法で、スタイルを適用してください。（先にスタイルを作ったり、既に別のスタイル適用されている場合、基準スタイルを指定してスタイルを作るなど）

 **スタイルグループ内にスタイルがあるか確認**

tips
作成したスタイルが、[データ接続] スタイルグループ内に正しく作成されているか、スタイルグループを展開、折りたたみ表示して確かめてください。

文字を組版する（段落・文字スタイルを使用）

文字を流し込みたい場合は、段落スタイル、または文字スタイルに「**データ接続**」スタイルグループを作成します。流し込みたい文字範囲（**必ず選択する文字が必要**）を選択後、作成した「データ接続」スタイルグループを選択します。段落スタイル、または文字スタイルパネルで新規スタイルを作成します。スタイル名は、流し込みたい組版用テキストデータ項目名と同じにします。

画像、動画、音声ファイルを配置する（オブジェクトスタイルを使用）

画像、動画、音声ファイルを配置したい場合は、オブジェクトスタイルに「**データ接続**」スタイルグループを作成します。配置したいフレームを選択後、作成した「データ接続」スタイルグループを選択します。オブジェクトスタイルパネルで新規スタイルを作成します。スタイル名は、配置したい組版用テキストデータ項目名と同じにします。

表組を組版する（表スタイルを使用）

データ行に応じて、表組行が変動する組版を行いたい場合、2つの方法があります。

1つめの方法は、エクセルシート、csv、txt、tsv ファイルイメージのまま、表組にする方法です。用意するデータは、組版データ（csv、txt、tsv、Google スプレッドシート）と、表組データ（xls、xlsx、xlsm、csv、txt、tsv）の2つです。テンプレートは、表スタイルの「**データ接続**」スタイルグループ内に、配置したい組版用テキストデータ項目名のスタイルを作成し、表組に適用します。例えば、データ接続/価格表となります。詳しくは、セクション 23「表組を組版しよう（エクセルファイル）」、24「表組を組版しよう（csv、txt、tsv ファイル）」をご覧ください。

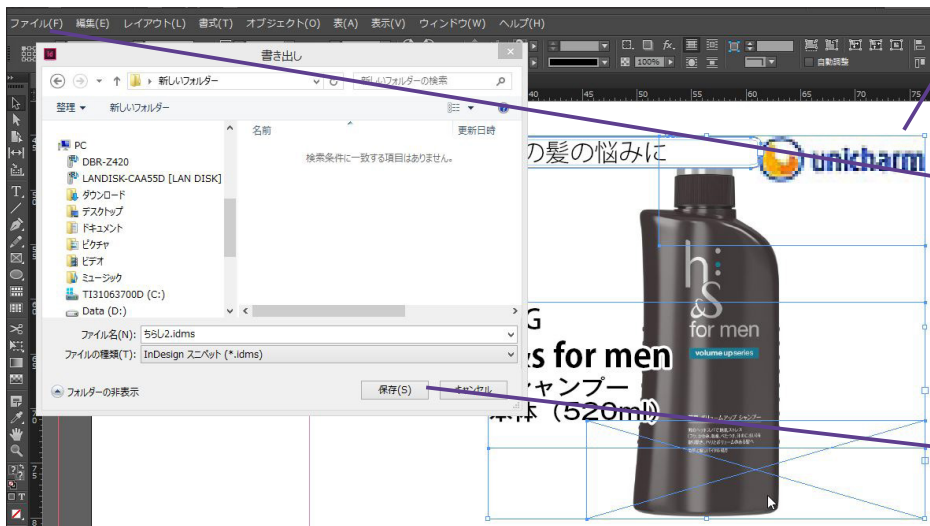
2つめの方法は、組版データ（csv、txt、tsv、Google スプレッドシート）の必要な項目のみ、セル内の文字やオブジェクトに関連付けて表組にする方法です。用意するデータは、組版データのみです。ただし、組版データに「コマコード」項目が必要になります。1つの表組にしたいデータ行を、同じコマコード値にします。テンプレートは、表スタイルの「**データエリア**」スタイルグループ内に「**増減行**」スタイルを作成し、表組に適用します。「増減行」スタイルを適用した表組は、テンプレートにある本文行を繰り返します。例えば、テンプレートの本文行が3行あり、組版データが2行だと、本文行は6行になります。詳しくは、セクション 26「複数データ行を表組にしよう（増減行）」をご覧ください。

idms ファイルを作るには

① [データ接続] グループ内のスタイルを適用



① テンプレートにしたいオブジェクトを選択

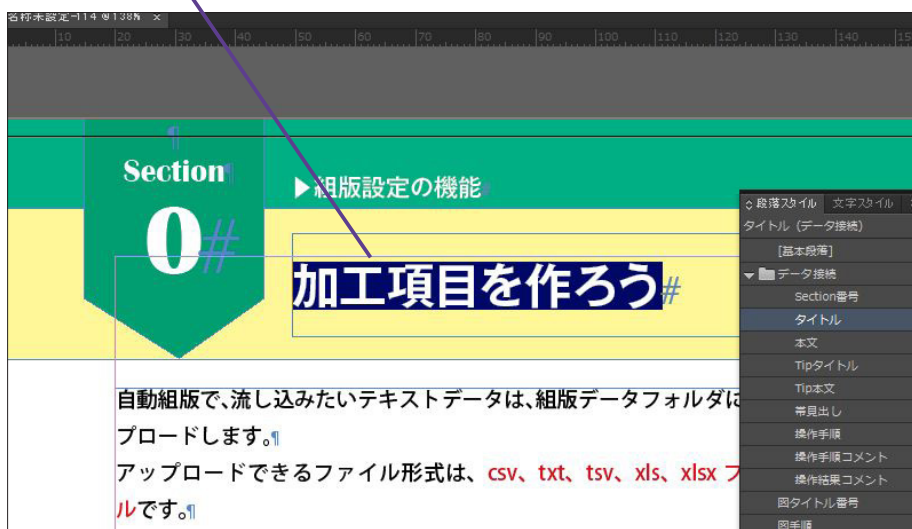


② メニューの [ファイル] [書き出し] をクリック

③ ファイルの種類で、InDesign スニペット (*.idms) を選択し、[保存] をクリック

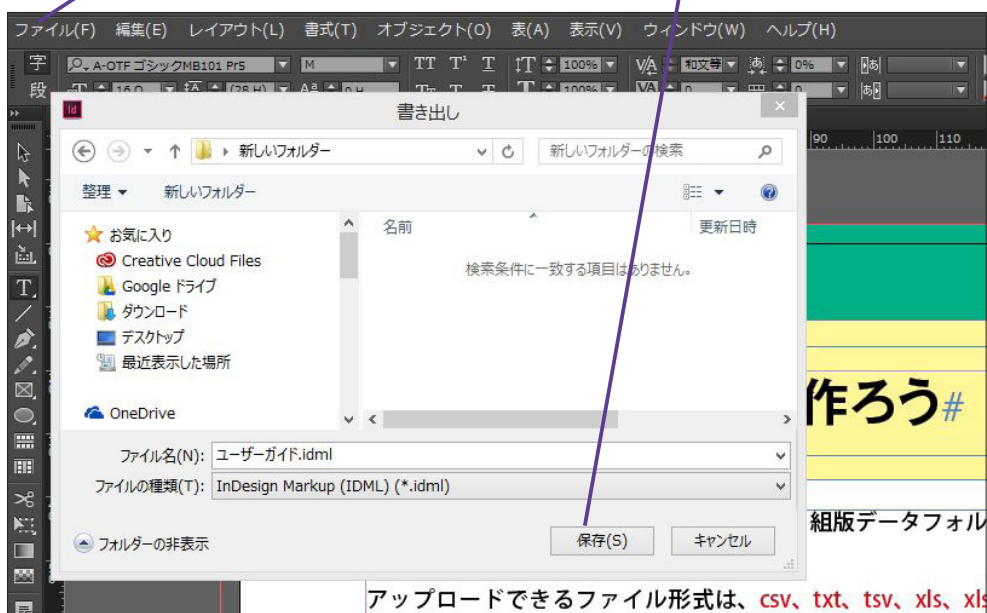
idml ファイルを作るには

- 1 [データ接続] グループ内のスタイルを適用



- 1 メニューの [ファイル] [書き出し] をクリック

- 2 ファイルの種類で、InDesign Markup (IDML) (*.idml) を選択し、[保存] をクリック



プロジェクトを作ろう

プロジェクト（仕事）単位で管理する

プロジェクトは、テンプレート、組版データ、組版設定、自動組版した結果を管理する単位です。

プロジェクトを作成すると、プロジェクトの下に、テンプレート、組版データ、組版設定、組版済みフォルダが自動で作成されます。作成した直後は、全てのフォルダは空の状態です。

テンプレートフォルダには、InDesign で作成した idms ファイルや idml ファイルをアップロードします。

組版データフォルダには、csv、txt、tsv ファイルやエクセルファイル（xls、xlsx、xlsm）をアップロードします。

組版設定フォルダは、ブラウザから文字の置換設定や、エクセル変換などの設定を作成できますが、必須ではありません。組版設定フォルダが空でも、自動組版する事ができます。

組版済みフォルダは、自動組版した結果を保存するフォルダです。このフォルダからダウンロードしたファイルを、InDesign で開いたり（idml ファイル）、配置（idms ファイル）します。

テンプレート、組版データ、組版結果を Google ドライブで管理する

初めて Google ドライブプロジェクトを作成する場合、一度だけアカウントメニューの「Google ドライブと連携する」をクリック後、「許可」をクリックする必要があります。「Google ドライブと連携する」は、管理者のみ表示されます。詳しくは、セクション 14「Google ドライブと連携しよう」をご覧ください。

プロジェクト作成時に、「Google ドライブプロジェクトにする」にチェックを入れると、Google ドライブにプロジェクトフォルダを作成します。Google ドライブのフォルダ構成は、登録時の会社名フォルダの下に、入力したプロジェクト名フォルダとなります。

Google ドライブプロジェクトにすると、LinkCube のプロジェクトフォルダの下は、組版設定フォルダのみとなります。その他のテンプレート、組版データ、組版済みフォルダは、Google ドライブに作成されます。テンプレートファイル、組版データファイル、組版結果ファイルは、Google ドライブでアップロードやダウンロードを行ってください。Google 社が無料で提供しているアプリをインストールすれば、パソコン内のファイルと Google ドライブを自動で同期するため、ファイルのアップロードやダウンロードが不要になります。URL は以下になります。

<https://www.google.com/intl/ja/drive/download/>

Google ドライブプロジェクトでは、組版データに Google スプレッドシートを使用できます。詳しくは、セクション 2「組版用テキストデータを作ろう」をご覧ください。

Google ドライブには、強力な共有機能があり、簡単にクラウド上のファイルやフォルダを共有できます。例えばお客様と、組版データや組版結果フォルダの PDF を共有したり、テンプレートを支社や協力会社と共有すれば、より仕事がスムーズになります。

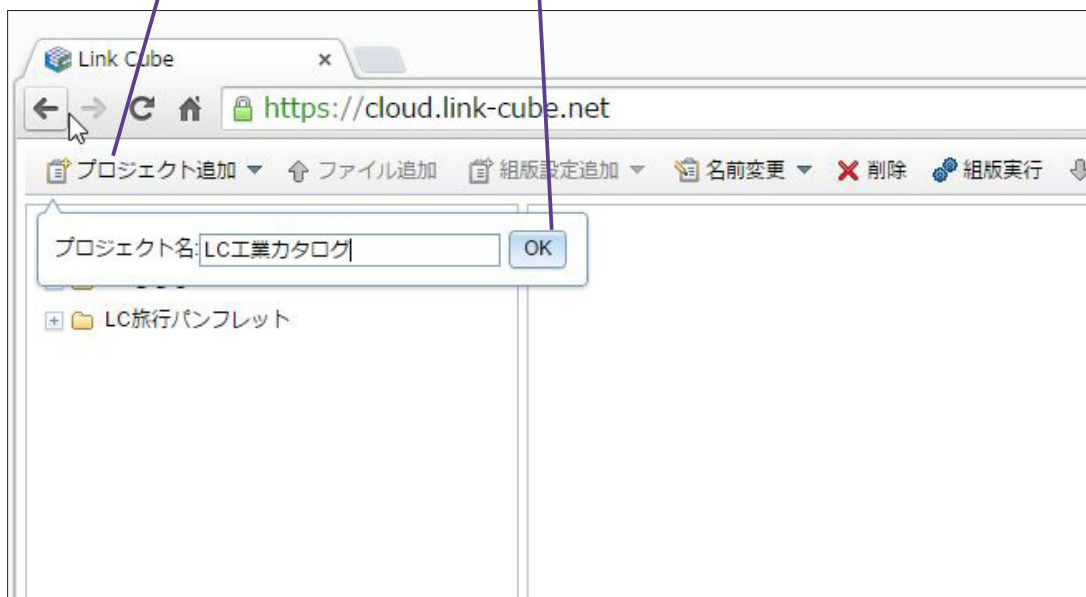
また、Google アカウントに 2 段階認証を使用すれば、Google ドライブのセキュリティが非常に高まります。

<https://www.google.co.jp/intl/ja/landing/2step/>

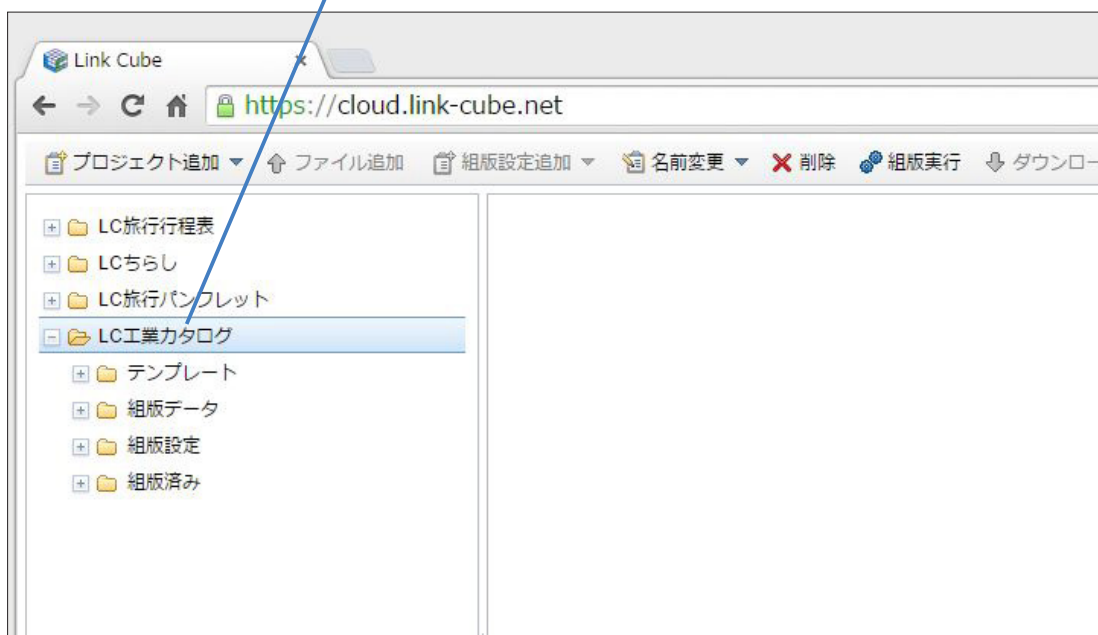
プロジェクトを作るには

①メニューのプロジェクト追加をクリック

②プロジェクト名を入力し[OK]をクリック



新しく作ったプロジェクトの下にテンプレートフォルダ・組版データフォルダ・組版設定フォルダ・組版済みフォルダが作成されました

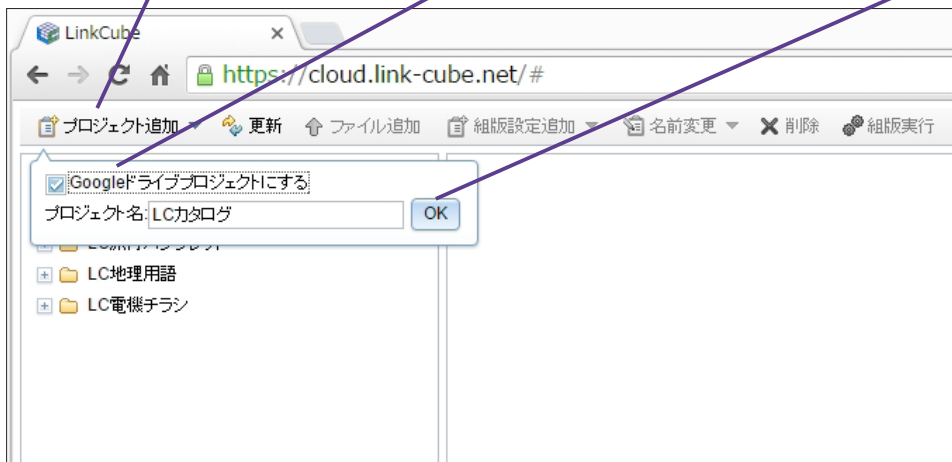


Google ドライブプロジェクトを作るには

①メニューのプロジェクト追加をクリック

② Google ドライブプロジェクトにするをチェック

③ プロジェクト名を入力し [OK] をクリック



新しく作ったプロジェクトの下に組版設定フォルダが作成されました
※ Google ドライブプロジェクトはアイコンが変わります



新しく作ったプロジェクトの下にテンプレートフォルダ・組版データフォルダ・組版済みフォルダが作成されました



組版用テキストデータをアップロードしよう

組版用テキストデータは、組版データフォルダで管理する

自動組版で、流し込みたいテキストデータは、組版データフォルダにアップロードします。

アップロードできるファイル形式は、csv、txt、tsv、xls、xlsx、xlsm ファイルです。xls、xlsx、xlsm ファイルは、エクセルシートイメージのまま、表組を組版したい場合に、アップロードします。

一度に複数ファイルをアップロードすることもできます。同じ名前のファイルをアップロードした場合は、上書きされます。

プロジェクト 1 つにつき、組版データフォルダにアップロードできるファイル数は、最大 500 ファイルです。

🔦 Tips ファイルをドラッグ&ドロップで追加する

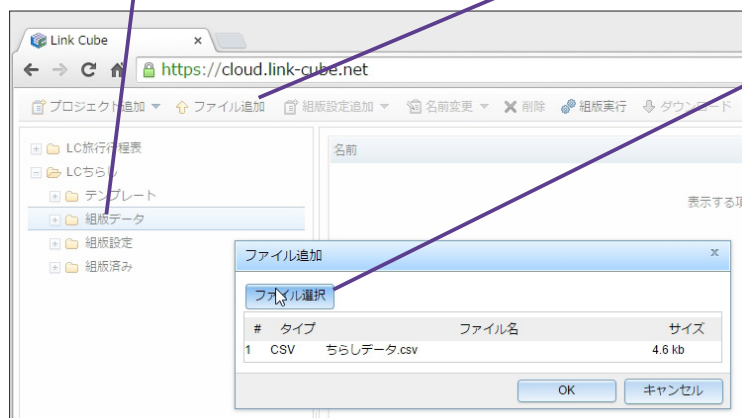
ファイル追加するとき、ドラッグ&ドロップでもファイルを追加できます。その場合、ファイル追加ダイアログにドラッグ&ドロップしてください。

組版用テキストデータをアップロードするには

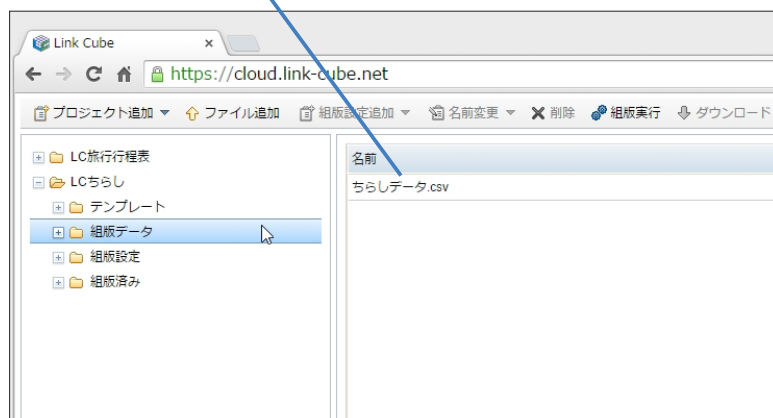
① 組版データフォルダをクリック

② メニューの [ファイル追加] をクリック

③ [ファイル選択] で組版用テキストファイルを選択



組版用テキストファイルがアップロードされ、ファイル名が表示されました



テンプレートをアップロードしよう

テンプレートは、テンプレートフォルダで管理する

テンプレートファイルは、テンプレートフォルダにアップロードします。アップロードできるファイル形式は、InDesign スニペットファイル（拡張子、idms）と、InDesign IDML ファイル（拡張子、idml）です。InDesign テンプレートファイル（拡張子、indt）は、使用できません。一度に複数ファイルをアップロードする事ができます。同じ名前のファイルをアップロードした場合は、上書きされます。

プロジェクト 1 つにつき、テンプレートフォルダにアップロードできるファイル数は、最大 500 ファイルです。

また、スニペットファイル（idms）はアップロードするとプレビューが表示されますが、IDML ファイルはプレビューが表示されません。

 **ファイルをドラッグ&ドロップで追加する**
Tips

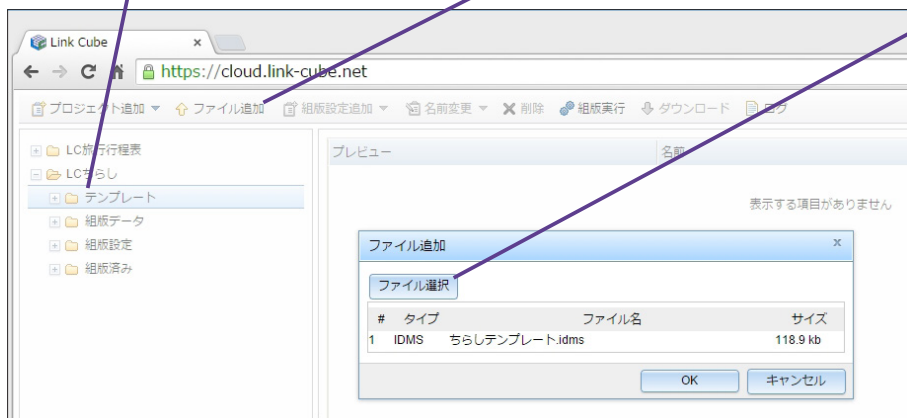
ファイル追加するとき、ドラッグ&ドロップでもファイルを追加できます。その場合、ファイル追加ダイアログにドラッグ&ドロップしてください。

テンプレートをアップロードするには

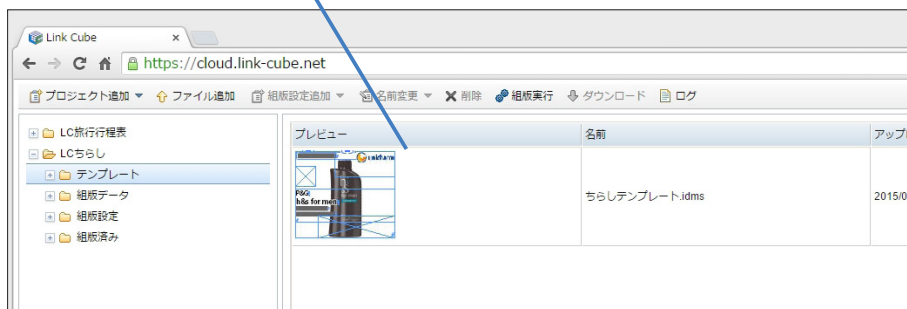
① テンプレートフォルダをクリック

② メニューの [ファイル追加] をクリック

③ [ファイル選択] でテンプレートファイルを選択



テンプレート（スニペット）ファイルがアップロードされ、プレビューとファイル名が表示されました



自動組版しよう

テンプレートと組版テキストがあれば自動組版できる

自動組版するには、テンプレートと組版テキストが必要です。組版設定はなくても大丈夫です。

組版ダイアログで、使用したいテンプレート、組版データ、組版データの範囲、保存ファイル名を決定します。

組版データの範囲は、なにも入力しなければ、組版データ行すべてを組版します。

3-5 と入力すれば、3～5 行目を組版し、3 小組成成します（3 行目から 5 行分ではない）。その他の例として、カンマで区切ったり、ハイフンで終わらせます。

10-（10 行目以降）

1-5,11-16（1～5 行目、11～16 行目）

1-3,10,15（1～3 行目、10 行目、15 行目）

保存ファイル名は、なにも入力しなければ、「名称未設定 - 連番 4 桁」となります。

組版データの項目値をファイル名にする場合は、組版データの項目リストから追加できます。

ファイル名に任意の文字も入力できます。例えば任意の文字（LC カタログ -）と、項目値 [ホテル名] を組み合わせて

LC カタログ - [ホテル名] とすれば、ファイル名は

LC カタログ - 横浜ホテル となります。

ファイル名が重複した場合は、ファイル名の後に「_ 連番 4 桁」を付けます。

ファイル名の最長は、80 文字です。また、ファイル名に使用できない文字は、アンダーバーに置き換えます。

 **ファイル名や設定名を入力で
絞り込み**

tips
テンプレートや組版データ、組版設定がたくさんある場合、ファイル名または設定名を入力すると絞り込みできます。

自動組版するには

① 自動組版したいプロジェクトフォルダ
またはその下のフォルダをクリック

② メニューの [組版実行]
をクリック



① 組版に必要なテンプレートファイル、
組版データを選択

② 保存ファイル名に、任意の文字を入力したり、
組版データ項目を選択し [追加] をクリック

組版

テンプレート: ちらしテンプレート.idms
組版データ: ちらしデータ.csv
組版データ範囲:
組版設定: 設定1
保存先: 組版済み
保存ファイル名: [コマコード]連番

組版データの項目名
[連番]
[コマコード]
[メーカー]
[メーカーロゴ]
[ブランド]
[画像]
[商品名]
[容量]
[名]

追加

組版実行 キャンセル

③ [組版実行] をクリック

組版済みフォルダに自動組版結果ファイルが
作成されました

Link Cube

https://cloud.link-cube.net

プロジェクト追加 ファイル追加 組版設定追加 名前変更 削除 組版実行 ダウンロード ログ

名前	作成日時
A-0001.idms	2015/06/04 10:32
B-0002.idms	2015/06/04 10:32
C-0003.idms	2015/06/04 10:32
D-0004.idms	2015/06/04 10:32
E-0005.idms	2015/06/04 10:32
F-0006.idms	2015/06/04 10:32
G-0007.idms	2015/06/04 10:32
H-0008.idms	2015/06/04 10:32
I-0009.idms	2015/06/04 10:32
J-0010.idms	2015/06/04 10:32
K-0011.idms	2015/06/04 10:32
L-0012.idms	2015/06/04 10:32
M-0013.idms	2015/06/04 10:32
N-0014.idms	2015/06/04 10:32
O-0015.idms	2015/06/04 10:32
P-0016.idms	2015/06/04 10:32
Q-0017.idms	2015/06/04 10:32
R-0018.idms	2015/06/04 10:32
S-0019.idms	2015/06/04 10:32

ログを確認しよう

正常に終了したか確認する

自動組版を実行すると、ログを出力します。

ログは、画面上部のログボタンをクリックすると確認できます。

組版受付→処理中→正常終了または警告終了または異常終了となります。

警告終了や異常終了の表示行をクリックすると、右部に原因が表示されます。例えば、必要なファイルが見つからない、インデザインタグが間違っているなどです。

組版結果をダウンロードする前に確認すると、作業時間の短縮になります。

ただし、画像ファイルが見つからない場合、ログで確認できません。画像ファイルが見つからない場合、InDesign 上で画像がグレー表示となります。また、InDesign メニュー→ウィンドウ→リンクパネルで確認する事もできます。



ログはプロジェクト単位で表示されず。表示順は上が新しいログです。

ログを確認するには

① ログを確認したいプロジェクトフォルダ、またはその下のフォルダをクリック

② メニューの [ログ] をクリック

③ 警告終了があった場合、その行をクリック

右部に原因が表示されました

日時	状況	
2015/06/04 10:56:56	正常終了	
2015/06/04 10:56:55	処理中	
2015/06/04 10:56:55	組版受付	
2015/06/04 10:32:58	警告終了	価格0 Idms が見つからないか、読み込みに失敗しました。 価格2 Idms が見つからないか、読み込みに失敗しました。 価格1 Idms が見つからないか、読み込みに失敗しました。
2015/06/04 10:32:56	処理中	
2015/06/04 10:32:56	組版受付	
2015/06/04 10:32:05	警告終了	
2015/06/04 10:32:02	処理中	
2015/06/04 10:32:02	組版受付	
2015/06/04 10:31:09	警告終了	
2015/06/04 10:31:06	処理中	
2015/06/04 10:31:06	組版受付	
2015/06/04 10:30:23	警告終了	
2015/06/04 10:30:20	処理中	
2015/06/04 10:30:20	組版受付	

組版結果をダウンロードしよう

ファイル選択し、ダウンロードする


自動組版が終了すると、組版済みフォルダに組版結果ファイルが作られます。

組版結果ファイル名をクリック、(Win) Ctrl キー / (Mac) command キー+クリック、Shift キー+クリックなどで選択できます。

単一選択してダウンロードすると、表示されているファイル名でダウンロードされます。

複数選択してダウンロードすると、圧縮ファイル名、プロジェクト名 - 組版済み .zip でダウンロードされます。

圧縮ファイルを解凍すると、複数選択したファイルが利用できます。

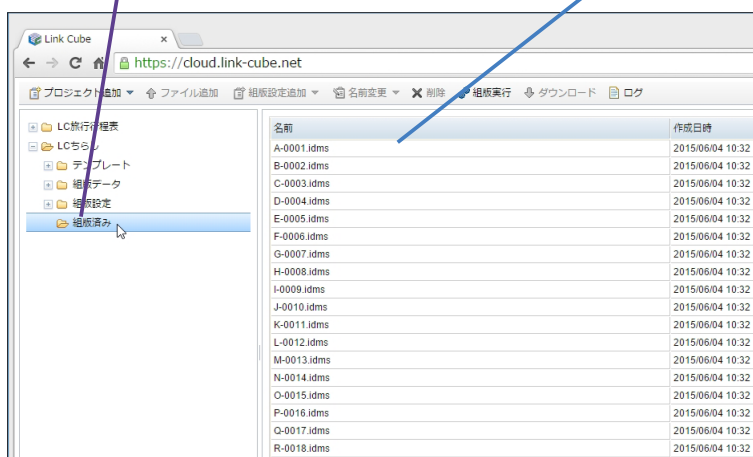
 **テンプレートや組版データも同様**

Tips
テンプレートや組版データも、ダウンロードする手順は同じです。

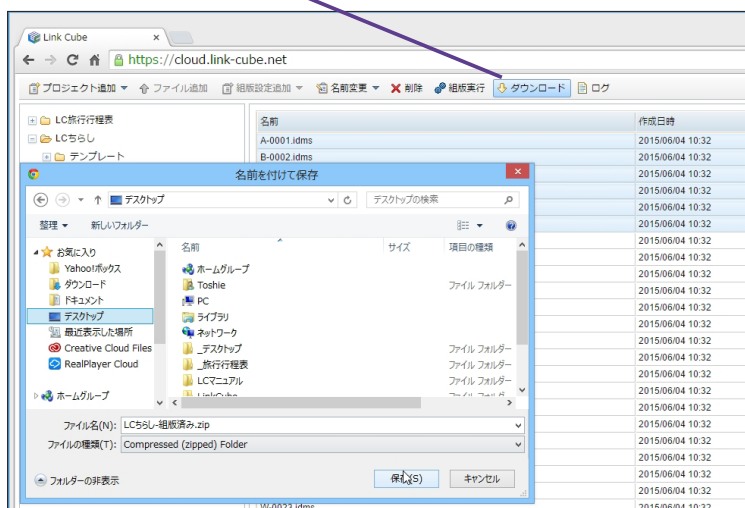
組版結果をダウンロードするには

① 組版済みフォルダをクリック

組版結果ファイルが表示されました



① ダウンロードしたいファイルを選択し、メニューの [ダウンロード] をクリック



InDesign で開こう、または配置しよう

InDesign でダウンロードしたファイルを使用する

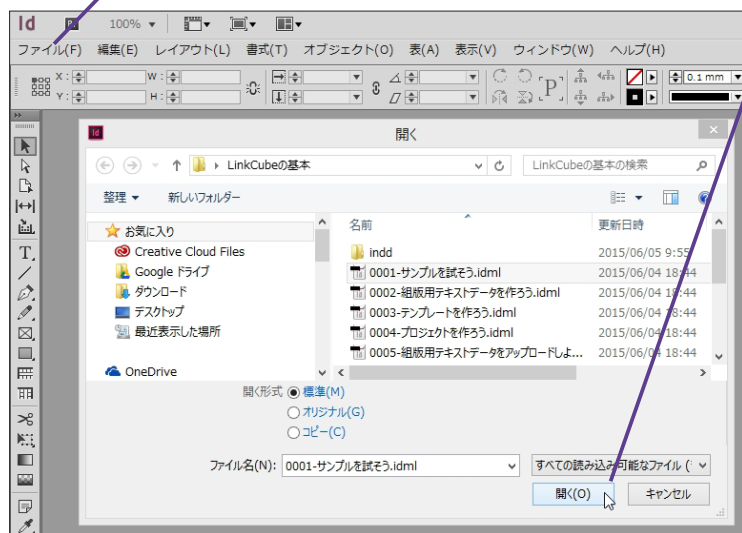
ダウンロードしたスニペットファイル（拡張子、idms）は、InDesign メニューのファイル→配置、または InDesign ドキュメントにドラッグ&ドロップ、または InDesign メニューのウィンドウ→Mini Bridge で配置できます。

IDML ファイル（拡張子、idml）は、InDesign メニューのファイル→開く、で開く事ができます。開く、配置ともに複数ファイル選択する事ができます。

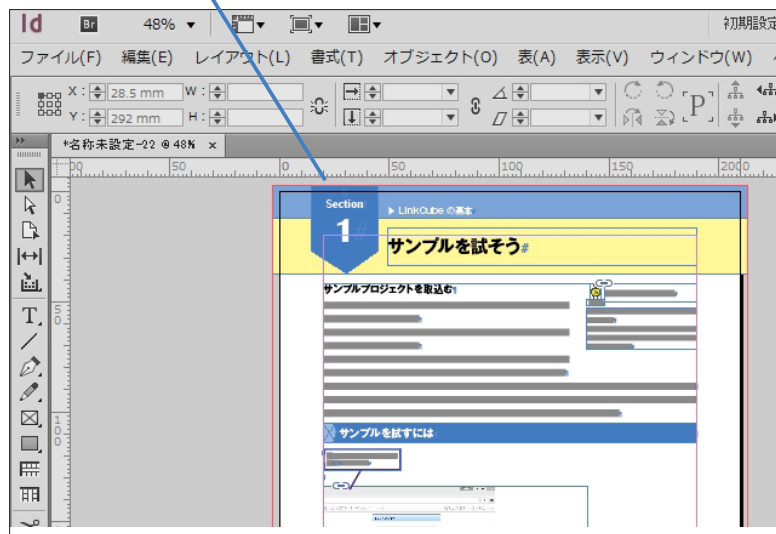
InDesign で開くには

① メニューの [ファイル] [開く] をクリック

② IDML ファイルを選択し、[開く] をクリック



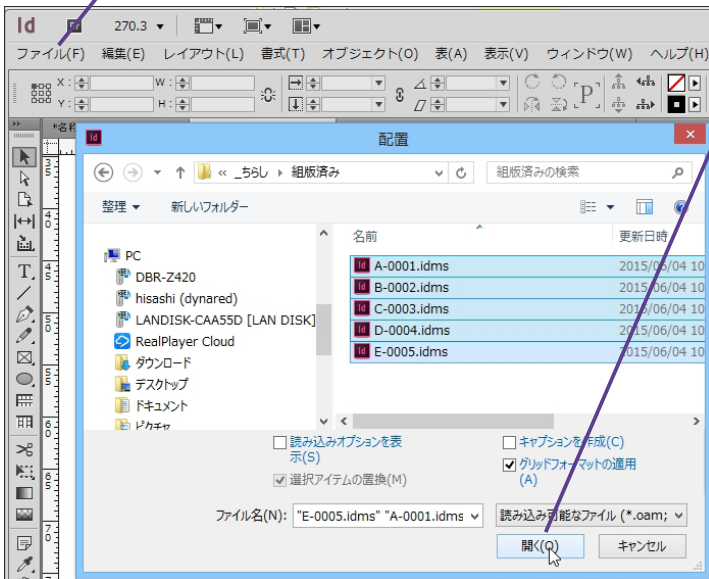
IDML ファイルが表示されました



InDesign で配置するには

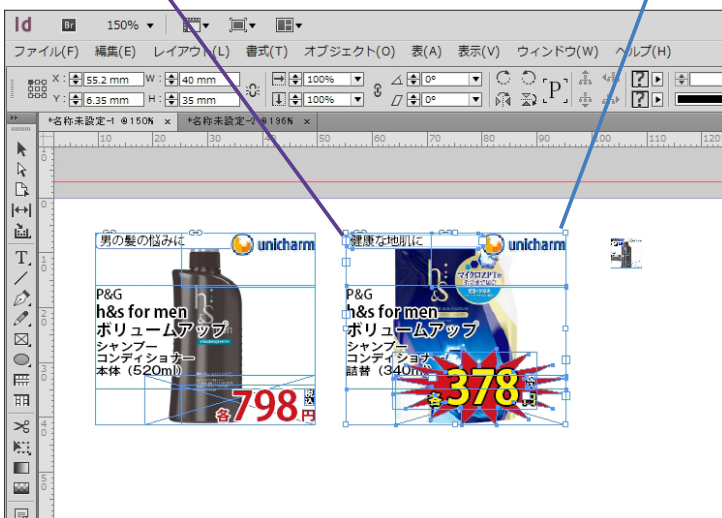
①メニューの [ファイル] [配置] をクリック

②スニペットファイルを選択し、
[開く] をクリック



①任意の位置でクリック

スニペットファイルがドキュメントに
配置されました



連続で配置しよう

無料の配置プログラムを使用する

左上から始まり右、折り返して下など一定の方向や、ページと位置を指定して、ファイルを配置するプログラムを無料提供しています。弊社 Web サイト、「無料ツール」からダウンロードしてご使用ください。契約に関わらず、どなたでも無料でご使用いただけます。

連続配置するには

① ブラウザで <http://link-cube.net/products0/freetools/> にアクセス

Link Cube

無料ツールダウンロード | Link Cube

link-cube.net/products0/freetools/

LinkCube ホーム 製品情報 会社情報 よくある質問 お問い合わせ 個人情報保護方針

無料ツールダウンロード

本ソフトウェアのご利用前に、ソフトウェア使用許諾契約書にご同意ください。
お客様が本ソフトウェアをダウンロードされた場合、本契約にご同意いただいたものとさせていただきます。

ファイル連続配置プログラム NEW!!

InDesignで配置可能なファイルを、連続配置するプログラムです。

対応OS: Windows・Mac OS X
対応InDesign: InDesign CS4～InDesign CC2014
バージョン: 1.1 / 公開日: 2015年6月1日

インストール方法とユーザーガイド 311.51 KB
ダウンロード

LinkCubeファイル連続配置 320.43 KB
ダウンロード

LinkCube ファイル連続配置 Ver 1.1

配置ファイル選択 in47ファイルを選択し、結果を出力する 任意で指定する

ファイル名 配置方向

C:_Sample_05\1_連続配置00001.indd 左→右

C:_Sample_05\1_連続配置00002.indd 右→左

C:_Sample_05\1_連続配置00003.indd 上→下

C:_Sample_05\1_連続配置00004.indd 下→上

C:_Sample_05\1_連続配置00005.indd

C:_Sample_05\1_連続配置00006.indd

開始位置(mm) 0

終了位置(mm) 0

実行

キャンセル

読み込み

配置実行

② ファイル連続配置プログラムの
[インストール方法とユーザーガイド]
をダウンロード

③ ファイル連続配置プログラムの
[LinkCube ファイル連続配置] を
ダウンロード

文字あふれを処理しよう

無料の文字あふれ処理プログラムを使用する

文字あふれを処理したり、指定した行数、行長にするプログラムを無料提供しています。弊社 Web サイト、「無料ツール」からダウンロードしてご使用ください。契約に関わらず、どなたでも無料でご使用いただけます。

文字あふれを処理するには

① ブラウザで <http://link-cube.net/products0/freetools/> にアクセス

Link Cube

link-cube.net/products0/freetools/

LinkCube

文字あふれ処理プログラム **NEW!!**

あふれた文字をフレームに収める、指定した行長に文字を収める、指定した行数に文字を納める、などの処理をするプログラムです。
段落・文字スタイルを指定して各スタイル毎の処理設定や、あふれたテキストフレームの一括処理もできます。

対応OS: Windows・Mac OS X
対応InDesign: InDesignCS4～InDesignCC2014
バージョン: 1.0 / 公開日: 2015年6月12日

インストール方法とユーザーガイド 343.85 KB
ダウンロード

LinkCube文字あふれ処理 876.92 KB
ダウンロード

② 文字あふれ処理プログラムの [インストール方法とユーザーガイド] をダウンロード

③ 文字あふれ処理プログラムの [文字あふれ処理] をダウンロード

インデザインタグとリンクキューブ拡張タグを使おう

Adobe インデザインタグ資料

インデザインタグを使用しなくても、自動組版は十分可能ですが、インデザインタグを使う事で、より複雑な自動組版にも対応する事ができます。

http://help.adobe.com/ja_JP/indesign/cs/taggedtext/indesign_cs5_taggedtext.pdf

上記 URL は、Adobe 社のインデザインタグ資料です。リンクキューブは、この資料の定義タグ（エンコード指定や段落・文字スタイルを定義するタグ、カラー定義タグなど）、条件テキストタグ、表組タグを除いたタグを使用できます。

定義タグは必要なく、テンプレート上に定義してある段落・文字スタイルを使用します。カラー定義も同様です。テンプレート上に存在していないスタイルや、カラー定義が入力された場合、自動でスタイルやカラー定義（スウォッチ）を作成します。

表組開始や終了タグは使用できませんが、表組の一部タグと、セルのタグを使用できます。詳しくは、セクション 36「表組の列設定をしよう」.37「表組の行設定をしよう」.38「エクセル罫線の変換設定をしよう」の Tip をご覧ください。

リンクキューブ拡張インデザインタグ

リンクキューブでは、インデザインタグの値に単位を使用できます。文字サイズや線幅に、Q,H,pt,mm などです。単位を省略するとポイントとして扱います。例えば、文字サイズ 16 級、下線の線幅 0.25mm にする場合、冗長タグでは

```
<cSize:16Q><cUnderline:1><cUnderlineWeightOffset:0.25mm> クラウド <cUnderline:0>
と入力します。
```

リンクキューブでは、冗長タグ、略書きタグの他に、日本語タグも使用できます。上記の例では

```
<フォントサイズ:16Q><下線:1><下線線幅:0.25mm> クラウド <下線:0>
```

となります。タグ名だけでなく、タグの値も日本語で入力可能です。例えば、下線種類の場合は

```
<下線:1><下線線幅:0.25mm><下線種類:波状> クラウド <下線:0>
```

となります。日本語タグ名や値は、インデザインで使用されている用語（水平比率、文字前のアキ量など）そのままです。値が%表示されている属性（水平比率など）は、標準インデザインタグで <cHorizontalScale:0.7> と入力しますが、日本語タグでは、<水平比率:70> と入力してください。日本語タグは、インデザイン上で表示されている値を入力します。

また、標準インデザインタグに、アンカー付オブジェクトを発生させるタグや、オブジェクトに対するタグ（線幅や色、オブジェクトスタイルの適用）などを追加しました。

リンクキューブ拡張インデザインタグ一覧

※フレーム=テキストフレームまたはアンカー付オブジェクトタグ内で使用可能

入力例：テキストフレームがシアン、インライン画像枠の背景色がマゼンタ、角丸 5mm になります。

```
<oFillColor:C=100 M=0 Y=0 K=0> こんにちは <aobj:=<oSize:30,20><oFillColor:C=0 M=100
Y=0 K=0><oAllCorner:Rounded><oAllRadius:5mm><oLinkPath:/LC サンプル画像 /LC ユーザー
ガイド / 移動カーソル .png>>
```

タイプ	日本語タグ	冗長タグ	略書きタグ	例および注意
フレーム (※)	オブジェクトスタイル	ObjStyle	ostyle	<ObjStyle: オブジェクトスタイル名 > <オブジェクトスタイル: オブジェクトスタイル名 > スタイルグループを含む場合、コロン「:」で区切ります。 <ObjStyle: グループ名: スタイル名 > フレームに指定したオブジェクトスタイルを適用します。
フレーム	オブジェクト塗りカラー	oFillColor	ofc	<oFillColor: スウォッチ名 > <オブジェクト塗りカラー: C=100 M=0 Y=0 K=0 > 全てのカラー指定タグは、スウォッチ名がテンプレート (idms、idml) にあれば、既存スウォッチを使用し、なければスウォッチを作成します。 カラー値を名前にしている場合は、カラー値 (CMYK) を設定します。
フレーム	オブジェクト線カラー	oStrokeColor	osc	<oStrokeColor: スウォッチ名 > <oStrokeColor: C=100 M=0 Y=0 K=0 >
フレーム	オブジェクト線間隔のカラー	oStrokeGapColor	osgc	<oStrokeGapColor: スウォッチ名 > <oStrokeGapColor: C=100 M=0 Y=0 K=0 >
フレーム	オブジェクト塗り濃淡	oFillTint	oft	<oFillTint: 50 >
フレーム	オブジェクト線濃淡	oAttrStrokeTint	oast	<oAttrStrokeTint: 50 >
フレーム	オブジェクト線間隔の濃淡	oStrokeGapTint	osgt	<oStrokeGapTint: 50 >
フレーム	オブジェクト線線幅	oStrokeWeight	osw	<oStrokeWeight: 0.5mm >
フレーム	オブジェクト線タイプ	oStrokeType	ost	<oStrokeType: 線種 > 線種に設定する値は Solid= ベタ、ThickThick= 太い - 太い、ThickThin= 太い - 細かい、ThickThinThick= 太い - 細かい - 太い、ThinThick= 細かい - 太い、ThinThickThin= 細かい - 太い - 細かい、ThinThin= 二重線、Triple= 三重線、CannedDashed3x2= 点線 (3 & 2)、CannedDashed4x4= 点線 (4 & 4)、LeftSlantHash= 左斜線ハッシュ、RightSlantHash= 右斜線ハッシュ、StraightHash= 直線斜線ハッシュ、CannedDot= 点、SingleWavy= 波状、WhiteDiamond= ホワイトダイヤモンド、JapaneseDots= 句点、Dashed= 点線、またはユーザー定義線種名です。 ユーザー定義線種名を使用する場合、テンプレート (idms、idml) に定義した線種を含めてください。
フレーム	オブジェクト塗りオーバープリント	oFillOverprint	ofo	<oFillOverprint: 1 > 1= オン、0= オフ (デフォルト)
フレーム	オブジェクト線オーバープリント	oStrokeOverprint	oso	<oStrokeOverprint: 1 > 1= オン、0= オフ (デフォルト)
フレーム	オブジェクト線間隔オーバープリント	oStrokeGapOverprint	osgo	<oStrokeGapOverprint: 1 > 1= オン、0= オフ (デフォルト)
フレーム	オブジェクト左上角のシェイプ	oTLCorner	otlc	<oTLCorner: 形状 > 形状に設定する値は None= なし (デフォルト)、Fancy= 飾り、Bevel= 斜角、Inset= 角 (内)、InverseRounded= 丸み (内)、Rounded= 丸み (外)
フレーム	オブジェクト右上角のシェイプ	oTRCorner	otrc	<oTRCorner: 形状 > 形状は oTLCorner と同様
フレーム	オブジェクト左下角のシェイプ	oBLCorner	oblcr	<oBLCorner: 形状 > 形状は oTLCorner と同様
フレーム	オブジェクト右下角のシェイプ	oBRCorner	obrc	<oBRCorner: 形状 > 形状は oTLCorner と同様
フレーム	オブジェクト角のシェイプ	oAllCorner	oac	<oAllCorner: 形状 > 形状は oTLCorner と同様
フレーム	オブジェクト左上角のサイズ	oTLRadius	otlr	<oTLRadius: 5mm >
フレーム	オブジェクト右上角のサイズ	oTRRadius	otrr	<oTRRadius: 5mm >
フレーム	オブジェクト左下角のサイズ	oBLRadius	oblr	<oBLRadius: 5mm >
フレーム	オブジェクト右下角のサイズ	oBRRadius	obrr	<oBRRadius: 5mm >
フレーム	オブジェクト角のサイズ	oAllRadius	oar	<oAllRadius: 5mm >

タイプ	日本語タグ	冗長タグ	略書きタグ	例および注意
テキストフレーム	組み方向	verticalComposition	vc	<verticalComposition:1> 1= 縦組み、0= 横組み (デフォルト)
アンカー付オブジェクト	アンカー付オブジェクト	AnchoredObj	aobj	●画像の場合 <AnchoredObj:=<oSize:20,30><oContentType:Graphic><oLinkPath:/フォルダ/ファイル.eps>> ●スニペットの場合 <AnchoredObj:=<oLinkPath: スニペット .idms>> ●インラインテキストフレームの場合 <AnchoredObj:=<oSize:20,30><oContentType:Text>> インラインテキスト内容 <AnchoredObj:>
アンカー付オブジェクト	アンカー付オブジェクト内容	oContentType	oct	<oContentType: タイプ > タイプは、Text または Graphic (デフォルト) AnchoredObj タグ内で使用。
アンカー付オブジェクト	アンカー付オブジェクトリンクパス	oLinkPath	olp	<oLinkPath:/ フォルダ / ファイル .eps> Windows 版は、パス区切り文字が ¥¥ (エスケープが必要なので 2 つ) でも可。AnchoredObj タグ内で使用。
アンカー付オブジェクト	アンカー付オブジェクトサイズ	oSize	osz	<oSize:20,30> 幅、高さ指定、単位は mm、幅、高さデフォルトは 3.25mm AnchoredObj タグ内で使用。
アンカー付オブジェクト 自動組版の値		@ 項目名	なし	<@ 項目名 : 値 > アンカー付オブジェクトで配置するスニペットに、データ接続項目はあるが、項目名が組版データにない場合、タグで項目名と値を指定できます。項目名が組版データにある場合、このタグは必要ありません。 <AnchoredObj:=<oLinkPath: スニペット .idms>><@ コメント : お買い得!>> AnchoredObj タグ内で使用。
ブックマーク	ブックマーク	Bookmark	Bm	<Bookmark: ブックマーク名 > 階層をつける場合、カンマを入力 <Bookmark: 第 1 階層ブックマーク > 大見出し <Bookmark: 第 2 階層ブックマーク > 中見出し ブックマークタグは、標準インデザインタグに存在しますが、独自形式としました。
項目参照		@ 項目名	なし	<@ 項目名 > 指定した項目名の値に置き換えます。

リンクキューブ日本語インデザインタグ一覧

上記、リンクキューブ拡張インデザインタグ一覧の日本語タグに加え、以下の日本語タグ名に対応しています。

入力例 : < 下線 :1 > < 行送り : 自動 > < 文字カラー : C=100 M=0 Y=0 K=0 > < 位置 : 下付き文字 >

以下の表のタイプ列、区分別は日本語タグ名には関係ありませんが、段落スタイル、文字スタイル、セルスタイルで表示されるカテゴリーです。

単位が%の属性以外は、日本語タグとインデザインタグを混在しても構いません。例えば、下線種類の場合、<cUnderlineType: 二重線 > または < 下線 :ThinThin > と入力しても構いません。

タイプ	区分	日本語タグ
文字レベルのタグ	基本文字形式	フォント
		フォントスタイル
		フォントサイズ
		行送り
		自動カーニング
		カーニング
		字送り
		大文字と小文字
		位置
		下線
		欧文合字
		分割禁止
		打ち消し線
		文字揃え

タイプ	区分	日本語タグ
文字レベルのタグ	詳細文字形式	水平比率
		垂直比率
		ベースラインシフト
		歪み
		文字ツメ
		文字前のアキ量
		文字後のアキ量
		文字回転
		字取り
		文字の比率を基準に行の高さを調整
		グリッドの字間を基準に字送りを調整
		異体字
		文字カラー
	文字カラー線	
	文字カラー濃淡	
	文字カラー線濃淡	
	文字カラー線幅	
	文字カラー線オーバープリント	
	文字カラー塗りオーバープリント	
	文字カラー線角の比率	
	文字カラー線線の位置	
	文字カラー線結合	
	OpenType 機能	OpenType タイトル用字形
		OpenType 前後関係に依存する字形
		OpenType スワッシュ字形
		OpenType 上付き序数表記
		OpenType 任意の合字
		OpenType 分数
		OpenType スラッシュ付きゼロ
		OpenType 数字のスタイル
		OpenType 位置依存形
		OpenType 横または縦組み用かな
		OpenType 欧文イタリック
		OpenType プロポーショナルメトリクス
	下線設定	下線線幅
		下線種類
		下線オフセット
		下線カラー
		下線濃淡
		下線線オーバープリント
		下線間隔のカラー
		下線間隔の濃淡
	下線間隔オーバープリント	
	打ち消し線設定	打ち消し線線幅
		打ち消し線種類
		打ち消し線オフセット
		打ち消し線カラー
打ち消し線濃淡		
打ち消し線線オーバープリント		
打ち消し線間隔のカラー		
打ち消し線間隔の濃淡		
打ち消し線間隔オーバープリント		
縦中横設定	縦中横	
	縦中横左右位置	
	縦中横上下位置	
ルビの位置と間隔	ルビ	
	ルビ文字	
	ルビ種類	
	ルビ揃え	
	ルビ位置	
	ルビ横組み上下 / 縦組み左右	
ルビ横組み左右 / 縦組み上下		

タイプ	区分	日本語タグ
文字レベルのタグ	ルビのフォントとサイズ	ルビフォント
		ルビフォントスタイル
		ルビサイズ
		ルビ水平比率
		ルビ垂直比率
		OpenTypePro のルビ字形を使用
		ルビ組数字
		ルビ欧文も含める
	ルビが親文字より長い時の調整	ルビ幅に合わせる
		ルビ文字かけ処理
		ルビ親文字間の調整
		ルビの文字幅を自動的に詰める
	ルビカラー	ルビの文字幅を自動的に詰めるまで
		ルビ自動行頭 / 行末揃え
		ルビカラー
		ルビカラー線
		ルビカラー濃淡
		ルビカラー線濃淡
	圏点設定	ルビカラー線幅
		ルビカラー塗りオーバープリント
		ルビカラー線オーバープリント
		圏点親文字からの間隔
		圏点位置
		圏点サイズ
		圏点揃え
		圏点水平比率
		圏点垂直比率
		圏点種類
		圏点フォント
		圏点フォントスタイル
	圏点カラー	圏点文字
		圏点文字コード
		圏点カラー
		圏点カラー線
		圏点カラー濃淡
		圏点カラー線濃淡
	斜体	圏点カラー線幅
		圏点カラー塗りオーバープリント
		圏点カラー線オーバープリント
		斜体縮小率
	割注設定	斜体角度
		斜体ライン揃え
斜体ツメの調整		
割注		
割注行数		
割注サイズ		
文字スタイルの適用	割注行の間隔	
	割注揃え	
段落レベルのタグ	インデントとスペース	割注 1 行目の最小文字数
		割注最終行の最小文字数
		文字スタイル
		字形
		特殊字形
		揃え
		行末を揃える
		オプティカルマージンを無視
	左 / 上インデント	
	右 / 下インデント	
1 行目インデント		
最終行のインデント		
段落前のアキ		
段落後のアキ		
タブ	タブ	

タイプ	区分	日本語タグ	
段落レベルのタグ	段落境界線	前境界線	
		前境界線線幅	
		前境界線濃淡	
		前境界線オフセット	
		前境界線左インデント	
		前境界線右インデント	
		前境界線幅	
		前境界線間隔の濃淡	
		前境界線線オーバープリント	
		前境界線間隔オーバープリント	
		前境界線カラー	
		前境界線間隔のカラー	
		前境界線種類	
		前境界線フレームに収める	
		後境界線	
		後境界線線幅	
		後境界線濃淡	
		後境界線オフセット	
		後境界線左インデント	
		後境界線右インデント	
		後境界線幅	
		後境界線間隔の濃淡	
		後境界線線オーバープリント	
		後境界線間隔オーバープリント	
	後境界線カラー		
	後境界線間隔のカラー		
	後境界線種類		
	段落分離禁止オプション	段落分離禁止オプション	段落分離禁止前と連動
			段落分離禁止次の行数を保持
			段落の分離禁止
			段落中のすべての行を分離禁止
			段落分離禁止先頭から
			段落分離禁止段落未まで
			段落の開始位置
	ハイフネーション	ハイフネーション	ハイフネーション
			ハイフネーション単語の最小文字数
			ハイフネーション先頭の後
			ハイフネーション最後の前
			ハイフネーション最大のハイフン数
			ハイフネーション領域
			ハイフネーション多く少なく
			ハイフネーション大文字の単語をハイフンで区切る
			ハイフネーション段落末尾の単語をハイフンで区切る
	ジャスティフィケーション	ジャスティフィケーション	単語間隔最小
単語間隔最大			
単語間隔最適			
文字間隔最小			
文字間隔最大			
文字間隔最適			
グリフ幅拡大 / 縮小最小			
グリフ幅拡大 / 縮小最大			
グリフ幅拡大 / 縮小最適			
自動行送り			
1 単語揃え			
コンポーザー			
ドロップキャップと先頭文字スタイル			ドロップキャップと先頭文字スタイル
	ドロップキャップ文字数		
	ドロップキャップ詳細		
	先頭文字スタイル		
正規表現スタイル	正規表現スタイル	先頭行スタイル	
		正規表現スタイル	

タイプ	区分	日本語タグ
段落レベルのタグ	箇条書き	箇条書きリストタイプ
		箇条書き記号文字
		箇条書き記号フォント
		箇条書き記号フォントスタイル
		箇条書き記号後続テキスト
		箇条書き記号文字スタイル
		箇条書きレベル
		箇条書き自動番号
		箇条書き自動番号文字スタイル
		箇条書き開始番号
		箇条書き指定レベル以降で番号をふり直し
		箇条書き記号揃え
		箇条書き自動番号揃え
		自動縦中横設定
	自動縦中横欧文も含める	
	日本語文字組版	禁則処理セット
		禁則調整方式
		ぶら下がり方法
		分離禁止処理
		文字組み
行送りの基準位置		
連数字処理		
縦組み中の欧文回転		
全角スペースを行末吸収		
欧文泣き別れ		
グリッド設定		グリッド揃え
	1行目のみグリッドに揃える	
	グリッド行取り	
段落スタイルの適用	段落行取りを使用	
	段落スタイル	
表セルレベルのタグ	テキスト	セル方向と組方向を逆にする
		セルの余白上
		セルの余白下
		セルの余白左
		セルの余白右
		セルテキストの配置
		セルテキスト段落スペース最大値
		セルテキスト先頭ベースライン位置オフセット
		セルテキスト先頭ベースライン位置最小値
		セルテキストクリッピング
		セルの内容を回転
		罫線と塗り
	セルの線上カラー	
	セルの線下カラー	
	セルの線左カラー	
	セルの線右カラー	
	セルの線上間隔のカラー	
	セルの線下間隔のカラー	
	セルの線左間隔のカラー	
	セルの線右間隔のカラー	
	セルの塗り濃淡	
	セルの線上濃淡	
	セルの線下濃淡	
	セルの線左濃淡	
	セルの線右濃淡	
	セルの線上間隔の濃淡	
	セルの線下間隔の濃淡	
	セルの線左間隔の濃淡	
	セルの線右間隔の濃淡	
	セルの線上線幅	
	セルの線下線幅	
	セルの線左線幅	
	セルの線右線幅	

タイプ	区分	日本語タグ
表セルレベルのタグ	罫線と塗り	セルの線上種類
		セルの線下種類
		セルの線左種類
		セルの線右種類
		セルの塗りオーバープリント
		セルの線上線オーバープリント
		セルの線下線オーバープリント
		セルの線左線オーバープリント
		セルの線右線オーバープリント
		セルの線上間隔オーバープリント
		セルの線下間隔オーバープリント
		セルの線左間隔オーバープリント
		セルの線右間隔オーバープリント
		斜線の設定
	セルの斜線間隔のカラー	
	セルの斜線濃淡	
	セルの斜線間隔の濃淡	
	セルの斜線線幅	
	セルの斜線種類	
	セルの斜線オーバープリント	
	セルの斜線間隔オーバープリント	
	セルの斜線前面に斜線	
	左上から右下の斜線	
	右上から左下の斜線	
	行と列の設定	列の幅
		行の高さ
		行の高さ最小限度
		行の高さ最大限度
		行の高さ最小限度を使用
	セル次の行と連動	
セルスタイルの適用	セルスタイル	

Google ドライブと連携しよう

Google ドライブと連携できる

アカウントメニューの「Google ドライブ連携」は、管理者ユーザーのみ表示されます。管理者ユーザーについては、セクション 48「ユーザーを管理しよう」をご覧ください。

ブラウザで Google アカウントにログインしている場合と、ログインしていない場合では、連携手順が異なります。

ブラウザで Google アカウントにログインしている場合、許可をクリックすると、ログインしているアカウントの Google ドライブに、LinkCube プロジェクトを作成します。

ブラウザで Google アカウントにログインしていない場合、Google アカウントのログイン画面後に、許可を求める画面が表示されます。

管理者ユーザー自身の Google ドライブに、LinkCube プロジェクトを作成したくない場合、事前に新しい Google アカウントを作成してください。

Google アカウントに 2 段階認証を使用すれば、Google ドライブのセキュリティが非常に高まります。(推奨)

<https://www.google.co.jp/intl/ja/landing/2step/>

Google ドライブと連携する操作は一度だけ

初めて Google ドライブプロジェクトを作るときに一度だけ、必要な操作です。既に Google ドライブ連携済みの場合、許可または拒否の画面は表示されません。Google ドライブと連携を解除した場合、もう一度、連携する操作を行います。

Google ドライブと連携すればより便利に

LinkCube と Google ドライブを連携すれば、以下の事ができるようになります。

1. 組版データとして、Google スプレッドシートが使用できます。複数人で共有すれば、簡易 Web データベースです。
2. お客様と組版結果 PDF フォルダを共有すれば、自動組版結果 PDF をすぐにお客様へ配信できます。
(※ 1、※ 2、※ 3)
3. テンプレートや組版データファイルのアップロード、組版済みファイルのダウンロードが不要になります。
(※ 1)
4. Google ドライブの共有機能で、お客様や協力会社と、簡単にファイルやフォルダ共有できます。
5. 自動組版時、保存先フォルダを複数選択できます。(組版済みフォルダ内に、フォルダを作成した場合)

※ 1 : Google 社が無料提供している Google ドライブアプリが必要

<https://www.google.com/intl/ja/drive/download/>

※ 2 : 弊社無料ツール、ファイル連続変換で、Google ドライブの組版済みフォルダを監視

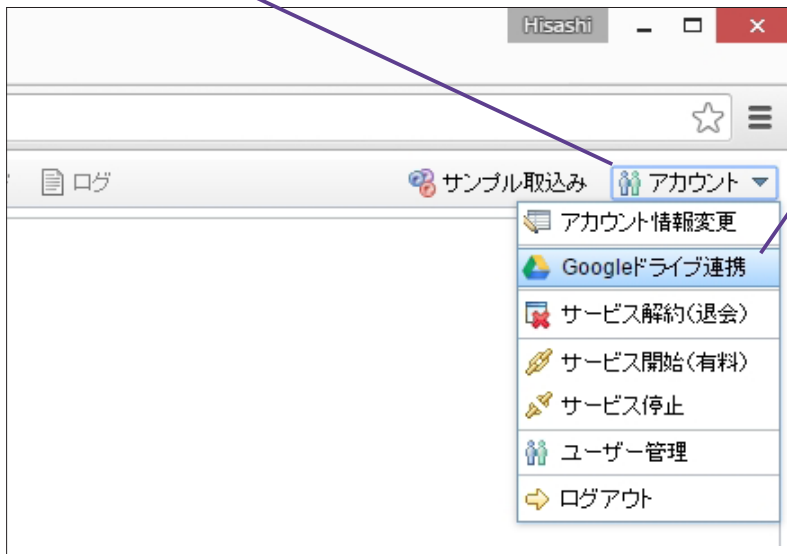
<http://link-cube.net/freetools/>

※ 3 : InDesignCS5 ~ CC2015 が必要

Google ドライブと連携するには

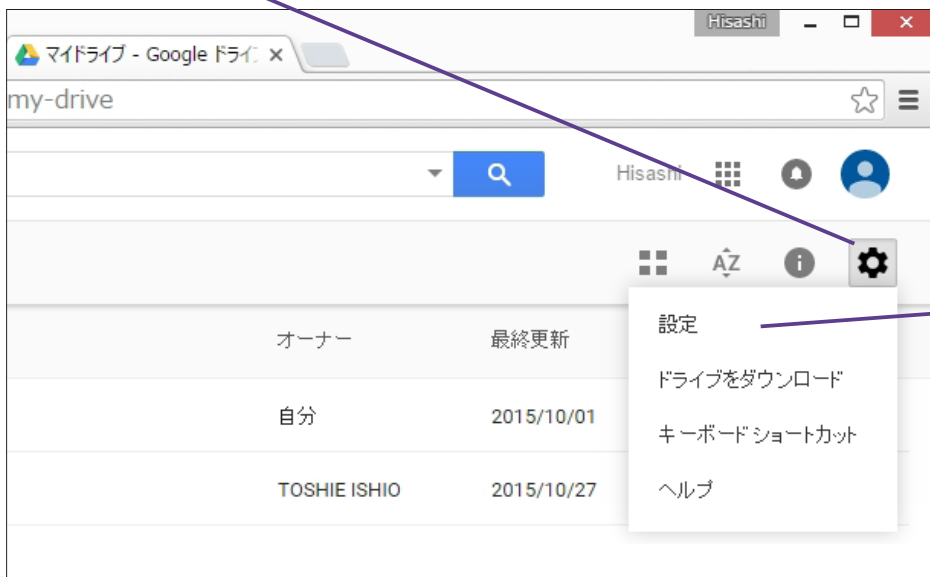
① [アカウント] をクリック

② [Google ドライブ連携] をクリック



Googleドライブと連携を解除するには

① [設定アイコン] をクリック

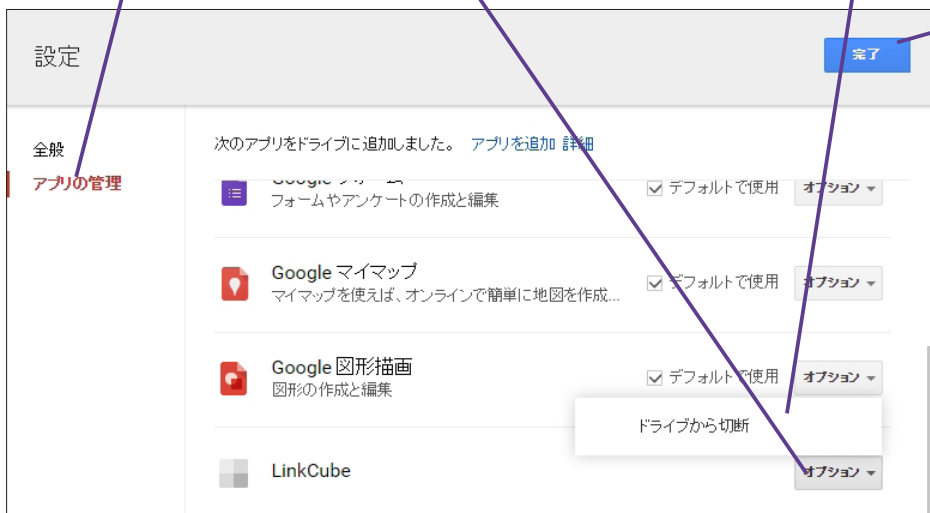


② [設定] をクリック

① [アプリの管理] をクリック

② 下までスクロールし、LinkCubeの [オプション] をクリック

③ [ドライブから切断] をクリック

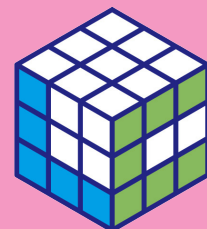


④ [完了] をクリック

第 2 章

テンプレートの機能

インデザインの機能だけでテンプレートを作成しますが、色々な事ができます。3つのスタイルグループ [データ接続] [データ付属] [データエリア] と、3つのルール、文字は [段落・文字スタイル]、画像は [オブジェクトスタイル]、表は [表スタイル] を使います。シンプルで容易に習得できます。



LinkCube

文字を組版しよう

段落スタイルまたは文字スタイルに「データ接続」スタイルグループを作る

段落スタイルまたは文字スタイル、データ接続／組版データ項目名（「データ接続」スタイルグループ内のスタイル）が適用されている文字範囲に、組版データを流し込みます。

例えば、文字スタイル「データ接続」スタイルグループ内の「商品説明」スタイルが適用されている文字範囲には、商品説明の組版データを流し込みます。

適用されている文字範囲の組版属性をオーバーライド（スタイル名に+が表示）しても、組版データを流し込みます。

また、複数箇所に同一スタイルを適用した場合は、複数箇所に同じ組版データを流し込みます。

アンカー付オブジェクト内の文字や、グループ化されたオブジェクト内の文字、表組のセル文字などにも流し込む事が可能です。



項目数が多い場合

Tips

項目数が非常に多い場合、「データ接続」スタイルグループ内にスタイルグループを作成し、分類すると管理しやすくなります。

例えば、「データ接続」内に「出走データ」スタイルグループを作成した場合、データ接続 / 出走データ / 馬主
データ接続 / 出走データ / 騎手
としても、馬主と騎手のスタイルが適用されている箇所に、組版データの馬主と騎手項目データが流し込まれます。

段落スタイルと文字スタイルを使い分ける

段落スタイルで「データ接続」を使用する場合、流し込み時、自動で最後の文字に段落改行文字 <000D> を付加します。そのため、組版データに段落改行文字は必要ありません。

文字スタイルで「データ接続」を使用する場合、必要に応じてデータ中に段落改行文字を入力します。

例えば、文字スタイルが適用されている文字範囲に、段落改行文字が含まれている場合、組版データに段落改行文字 <000D> が必要になります。

また、スタイルの競合が気になる場合は、段落スタイルは使用せず、文字スタイルで、全ての組版属性を設定しない状態で使用すれば、スタイル競合しません。

文字を組版するには（段落スタイルを使用）

テンプレート

① 流し込みたい段落を選択（段落内をクリックでも可）

② 段落スタイルに「データ接続」グループを作成するか、既にある場合は選択

③ 「データ接続」グループ内に、組版用テキストデータの項目名と同じ名前のスタイルを作成

文字を組版するには (文字スタイルを使用)

テンプレート

① 流し込みたい文字範囲
を選択

② 文字スタイルに [データ接続] グループ
を作成するか、既にある場合は選択

③ [データ接続] グループ内に、
組版用テキストデータの項目名と
同じ名前のスタイルを作成



文章中にインラインテキストフレームを発生させよう

アンカー付オブジェクトタグを使う

テンプレートの作成方法は、セクション 15「文字を組版しよう」と同様です。

文章中にアンカー付オブジェクトタグ（リンクキューブ拡張タグ）を使用し、インラインテキストフレームを発生する事ができます。

テンプレート上にインラインテキストフレームがあり、インラインテキストフレーム中の文字にデータを流し込む場合は、セクション 15「文字を組版しよう」の方法になります。

ここでの説明は、テンプレート上にインラインテキストフレームが存在せず、データ中のアンカー付オブジェクトタグで、インラインテキストフレームを発生させる場合です。

例えば、文章中に幅 10mm、高さ 3.5mm のインラインテキストフレームを発生させ、発生したフレーム中に「医薬品」を組版し、オブジェクトスタイル名「角丸緑」を適用する場合、

冗長タグ形式では

```
<AnchoredObj:=<oSize:10,3.5><oContentType:Text>><ObjStyle:角丸緑> 医薬品 <AnchoredObj:>
```

インデザインタグの意味は、

AnchoredObj:= アンカー付オブジェクトの開始です。

oSize: オブジェクトのサイズです。省略時は、縦横 3.25mm のサイズになります。

oContentType: Text でインラインテキストフレームです。省略時は、グラフィックのフレームです。

AnchoredObj: アンカー付オブジェクトの終了です。

略書きタグ形式では

```
<aobj:=<osz:10,3.5><oct:Text>><ostyle:角丸緑> 医薬品 <aobj:>
```

と入力します。



オブジェクトスタイルタグ

TIPS

オブジェクトスタイルを作成しておき、アンカー付オブジェクトタグとオブジェクトスタイルタグを併用すると、少ないタグ記述で複雑な組版ができます。例えば、冗長タグでは

```
<ObjStyle:オブジェクトスタイル名>文字とすれば、テキストフレームやインラインテキストフレームに、タグで指定したオブジェクトスタイルが適用されます。
```

文章中にインラインテキストフレームを発生するには

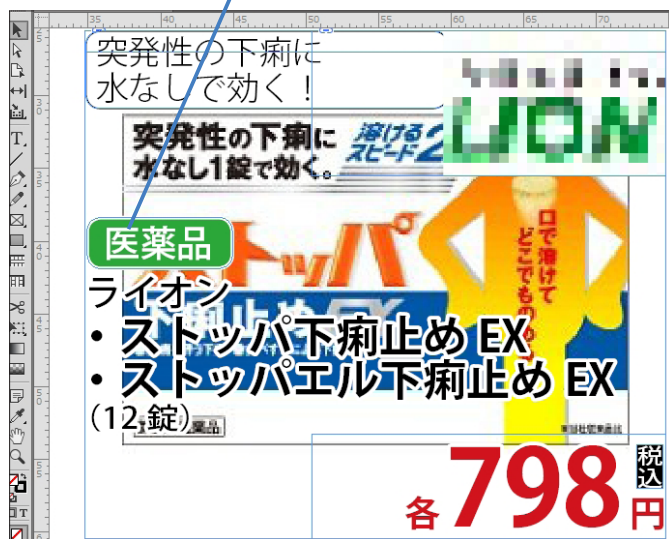
組版用テキストデータ

- 1 アンカー付オブジェクトタグ（インラインテキストフレームタグ）を入力

	L	M
1	コメント	薬事法表示
23	突発性の下痢に<o00D>水なしで効く!	<AnchoredObj:=<oSize:10,3.5><oContentType:Text>><ObjStyle:角丸緑>医薬品<AnchoredObj:>
24	突発性の下痢に<o00D>水なしで効く!	<AnchoredObj:=<oSize:10,3.5><oContentType:Text>><ObjStyle:角丸緑>医薬品<AnchoredObj:>
25	市場最薄ヘッド&最細ネック!	
26	みがくたび、強い歯へ!	
27	みがくたび、強い歯へ!	
28	鼻のまわりが赤くなる前に<o00D>やさしくいたわる。	
29	鼻のまわりが赤くなる前に<o00D>やさしくいたわる。	
30	芯で消臭!	
31	厳選アロマオイルが<o00D>部屋中に広がる	
32	がんばらなくても<o00D>ちゃんと閉ける	
33	がんばらなくても<o00D>ちゃんと閉ける	
34	ハグキの炎症を防ぐ	
35	ハグキの炎症を防ぐ	
36	歯槽膿漏が気になる方に	
37	歯槽膿漏が気になる方に	
38	更年期症状を治します	<AnchoredObj:=<oSize:10,3.5><oContentType:Text>><ObjStyle:角丸緑>医薬品<AnchoredObj:>

組版結果

文章中にインラインテキストフレームを発生し、フレーム内に文字が組版されました



画像、動画、音声ファイルを配置しよう

オブジェクトスタイルに「データ接続」スタイルグループを作る

オブジェクトスタイル、データ接続／組版データ項目名（「データ接続」スタイルグループ内のスタイル）が適用されているオブジェクトに、組版データの画像、動画、音声ファイルを配置します。（※以降、画像＝画像、動画、音声とします）

例えば、オブジェクトスタイル「データ接続」スタイルグループ内の「商品画像」スタイルが適用されているオブジェクトには、「商品画像」項目データのファイルを配置します。

適用されているオブジェクトの組版属性をオーバーライド（スタイル名に+が表示）しても、組版データを配置します。

また、複数箇所に同一スタイルを適用した場合は、複数箇所に同じファイルを配置します。

画像の配置基準点は、オブジェクト選択後、（Win：右クリック、Mac：control＋クリック）オブジェクトサイズの調整→フレーム調整オプション→整列の開始位置で指定します。

画像のサイズ調整は、フレーム調整オプション→サイズ調整で指定します。

アンカー付オブジェクトや、グループ化されたオブジェクトなどにも配置可能です。



ファイルの種類

サンプルでは、画像データを軽くするためjpgを使用していますが、InDesignがサポートしているファイルは全て配置できます。（eps、pdfなど）

画像ファイルを配置するには

組版用テキストデータ

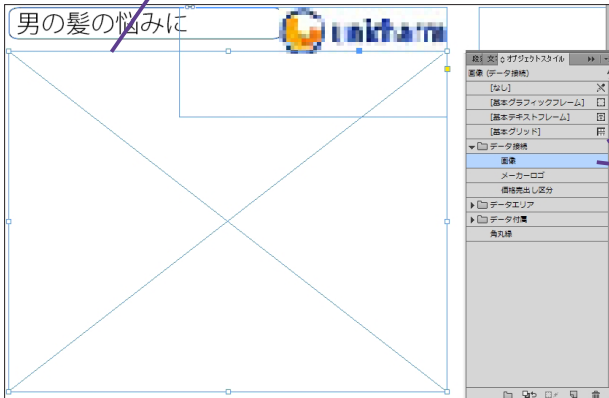
① 画像ファイルのフルパスを入力

ファイル名のみ入力し、フォルダや拡張子はテンプレート、または組版設定で設定する事もできます

D	E
商品名	画像
23 ・ストップ下痢止めEX	/LCサンプル画像/LCちらし/ストップ下痢止めEX.jpg
24 ・ストップエル下痢止めEX	/LCサンプル画像/LCちらし/ストップ下痢止めEX.jpg
25 クリニカ<000D>アドバンテージ<000D>ハブラシ	/LCサンプル画像/LCちらし/クリニカアドバンテージハブラシ.jpg
26 クリニカ	/LCサンプル画像/LCちらし/クリニカ.jpg
27 クリニカ	/LCサンプル画像/LCちらし/クリニカ.jpg
28 ・エリエール 贅沢保湿<000D>ローションティッシュ	/LCサンプル画像/LCちらし/エリエール+Water.jpg
29 ・エリエール+Water	/LCサンプル画像/LCちらし/エリエール+Water.jpg
30 エリエール<000D>消臭+トイレット<000D>ティッシュ	/LCサンプル画像/LCちらし/エリエール消臭+トイレットティッシュ.jpg
31 消臭元スティック<000D>本体各種	/LCサンプル画像/LCちらし/消臭元スティック本体各種.jpg
32 Doクリアマルチ<000D>フィットハブラシ	/LCサンプル画像/LCちらし/Doクリアマルチフィットハブラシ.jpg
33 Doクリアマルチ<000D>フィットハブラシ	/LCサンプル画像/LCちらし/Doクリアマルチフィットハブラシ.jpg
34 ・GUMアドバンスケア<000D>デンタルペースト	/LCサンプル画像/LCちらし/GUMアドバンスケアデンタルペースト.jpg
35 ・GUMアドバンスケア<000D>リンス	/LCサンプル画像/LCちらし/GUMアドバンスケアデンタルペースト.jpg
36 ・薬用生葉	/LCサンプル画像/LCちらし/薬用生葉ひきしめ.jpg
37 ・ひきしめ生葉	/LCサンプル画像/LCちらし/薬用生葉ひきしめ.jpg
38 命の母A	/LCサンプル画像/LCちらし/命の母A.jpg

テンプレート

① 画像を配置したいフレームを選択

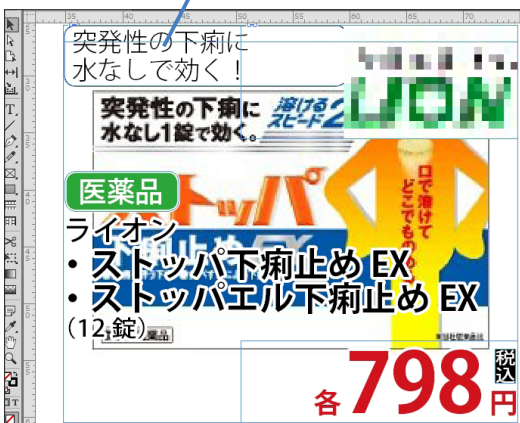


② オブジェクトスタイルに「データ接続」グループを作成するか、既にある場合は選択

③ 「データ接続」グループ内に、組版データの項目名と同じ名前のスタイルを作成

組版結果

フレームに画像が配置されました



アンカー付オブジェクトに画像ファイルを配置するには

組版用テキストデータ

① 画像ファイルのフルパスを入力

ファイル名のみ入力し、フォルダや拡張子はテンプレートや組版設定で設定する事もできます

1	カテゴリ	メーカー	特長
2	ポータブルナビゲーション	/LCサンプル画像/LC電機/Panasonic.png	(7V型ワイドVGA液晶) (ワンセグチューナー内蔵) (FM-VICS標準対応) (バッテリー内蔵)
3	ウォークマン Fシリーズ	/LCサンプル画像/LC電機/SONY.png	(3.5インチ液晶)<000D>(Blu-ray Disc対応)
4	プリンタ複合機	/LCサンプル画像/LC電機/Canon.png	[自動両面印刷(ハガキ非対応)]
5	USBメモリ	/LCサンプル画像/LC電機/BUFFALO.png	(USB2.0)<000D>[<cSize:13GB>]
6	デジタルコードレス<000D>普通紙FAX	/LCサンプル画像/LC電機/SHARP.png	(親機表示:カナ)(子機表示:英語)
7	オーブンレンジ	/LCサンプル画像/LC電機/SHARP.png	[庫内容量26ℓ]<000D><AnchorD>
8	沸騰ドジャーマルチ炊飯器	/LCサンプル画像/LC電機/MTSUBISHI.png	[5.5合炊]<000D><AnchoredD>
9	メンズシェーバー	/LCサンプル画像/LC電機/IZUMI.png	(2枚刃)<000D>(充電)<000D>
	ドライブレコーダー	/LCサンプル画像/LC電機/KEYO.png	(12V/24V対応) (音声録音可能) (静止画撮影可能) (動態検知機能付) (2GB SDカード付属)
10			[バッテリー内蔵]
11	USB3.0対応外付<000D>ハードディスク	/LCサンプル画像/LC電機/LACIE.png	[<cSize:13Q>2TB]

テンプレート

① 画像を配置したいアンカー付オブジェクトを選択

無線 LAN

ああああ
ああああ

<CN-SP7>
コメント部

49,800円

59円分 ポイント進呈

0% ポイント進呈!

② オブジェクトスタイルに [データ接続] グループを作成するか、既にある場合は選択

③ [データ接続] グループ内に組版データの項目名と、同じ名前のスタイルを作成

組版結果

アンカー付オブジェクトに画像が配置されました

展示品 限り

39

ポータブルナビゲーション

Panasonic

7V型ワイドVGA液晶

ワンセグチューナー内蔵

FM-VICS 標準対応

バッテリー内蔵

<CN-SP720VL>

49,800円

文章中に画像を発生させよう

アンカー付オブジェクトタグを使う

テンプレートの作成方法は、セクション 15 「文字を組版しよう」と同様です。

文章中にアンカー付オブジェクトタグ（リンクキューブ拡張タグ）を使用し、アンカー付オブジェクトを発生する事ができます。

テンプレート上にアンカー付オブジェクトがあり、アンカー付オブジェクトに画像を配置する場合は、セクション 17 「画像、動画、音声ファイルを配置しよう」の方法になります。

ここでの説明は、テンプレート上にアンカー付オブジェクトが存在せず、データ中のアンカー付オブジェクトタグで、アンカー付オブジェクトを発生させる場合です。

例えば、文章中に幅 2.75mm、高さ 2.75mm のアンカー付オブジェクトを発生させ、発生したフレームに /LC サンプル画像 /LC ユーザーガイド / 移動カーソル .png を配置する場合、

冗長タグ形式では

マウスカーソルが <AnchoredObj:=<oSize:2.75,2.75><ObjStyle: インラインアイコン><oLinkPath:/LC サンプル画像 /LC ユーザーガイド / 移動カーソル .png>> の状態

インデザインタグの意味は、

oLinkPath: ファイルのフルパスです。

略書きタグ形式では

マウスカーソルが <aobj:=<osz:2.75,2.75><ostyle: インラインアイコン><olp:/LC サンプル画像 /LC ユーザーガイド / 移動カーソル .png>> の状態

と入力します。

文章中に画像を発生するには

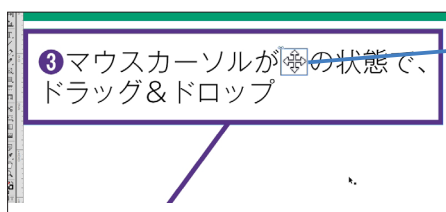
組版用テキストデータ

① アンカー付オブジェクトタグを入力

ファイルはフルパスで入力します

常見出し	操作手順
加工項目を並び変えるには	①組版設定を選択 ②並び替えたい加工項目を単一、または複数選択 ③マウスカーソルが<AnchoredObj:=<oSize:2.75,2.75><ObjStyle:インラインアイコン><oLinkPath:/LCサンプル画像/LCユーザーガイド/移動カーソル.png>>の状態、ドラッグ&ドロップ ■加工項目を並び変えるには1.jpg ★加工項目が並び替えられました ■加工項目を並び変えるには2.jpg
数字、カタカナ、英字	①[置換]をクリック

組版結果



文章中に画像が発生しました

スニペットを配置しよう

オブジェクトスタイルに「データ接続」スタイルグループを作る

オブジェクトスタイル、データ接続／組版データ項目名（「データ接続」スタイルグループ内のスタイル）が適用されているオブジェクトに、組版データのスニペットを配置します。

例えば、オブジェクトスタイル「データ接続」スタイルグループ内の「商品マーク類」スタイルが適用されているオブジェクトには、商品マーク類項目データのスニペットを配置します。

適用されているオブジェクトの組版属性をオーバーライド（スタイル名に+が表示）しても、スニペットを配置します。

また、複数箇所に同一スタイルを適用した場合は、複数箇所に同じスニペットを配置します。

スニペットの配置基準点は、オブジェクト選択後、（Win:右クリック、Mac:control +クリック）オブジェクトサイズの調整→フレーム調整オプション→整列の開始位置で指定します。

アンカー付オブジェクトや、グループ化されたオブジェクトなどにも配置可能です。アンカー付オブジェクトに配置する場合、スニペットは自動でグループ化され、配置先のアンカー付オブジェクトと置き換わります。置き換えるのでサイズ変更され、同じテキストフレーム内の文字レイアウトに影響します。

配置するスニペットファイルは、プロジェクトのテンプレートフォルダに必ずアップロードしてください。

スニペットを配置するには

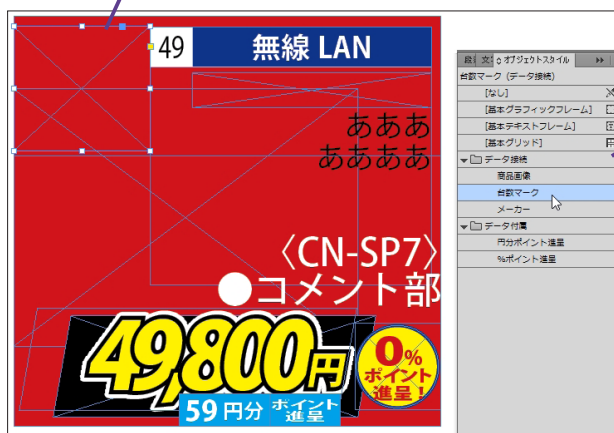
組版用テキストデータ

① スニペットファイルのファイル名のみ入力（.idms は省略可）

	A	B	C	D
1	No	台数マーク	台数	カテゴリ
12	49	無制限.idms		無線LAN
13	50	限り.idms	在庫限り	マイクロSDHCカード
14	51	限り.idms	在庫<000D>展示品限り	電子辞書 高校生モデル
15	52	無制限.idms		ホームベーカリー
16	53	無制限.idms		LEDシーリングライト
17	54	無制限.idms		マイナスイオンドライヤー

テンプレート

- 1 スニペットを配置したいフレームを選択



- 2 オブジェクトスタイルに [データ接続] グループを作成するか、既にある場合は選択

- 3 [データ接続] グループ内に、組版データの項目名と同じ名前のスタイルを作成

組版結果

- フレームにスニペットが配置されました



アンカー付オブジェクトにスニペットを配置するには

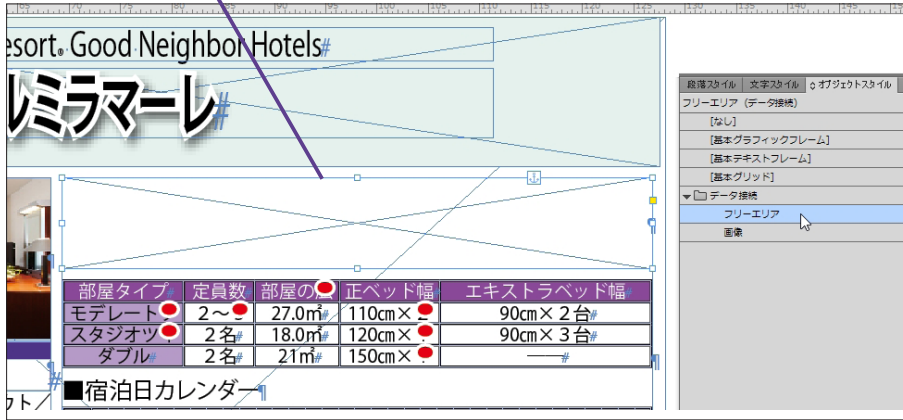
組版用テキストデータ

- 1 スニペットファイルのファイル名のみ入力 (.idms は省略可)

	H	I	J
1	フリーエリア	なかよし1	部屋タイプ表
2	なかよし4.idms	24時間滞在OK!<cSize:7Q><cHorizontalScale:0.7>(レイト	ホテルイースト21東京.xls<部屋タイプ
3	なかよし46.idms		京成ホテルミラマーレ.xls<部屋タイプ
4	なかよし4.idms	焼き菓子付!<cSize:7Q><cHorizontalScale:0.7>(滞在中1室	東武ホテルレバント東京.xls<部屋タイプ
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

テンプレート

① スニペットを配置したいアンカー付オブジェクトを選択



② オブジェクトスタイルに「データ接続」グループを作成するか、既にある場合は選択

③ 「データ接続」グループ内に、組版データの項目名と同じ名前のスタイルを作成

組版結果

アンカー付オブジェクトがスニペットに置き換わりました

部屋タイプ	定員数	部屋の広さ	正ベッド幅	エキストラベッド幅
デラックスタイプ	4名	34.5㎡	110cm × 2台	100cm × 1台 + 95cm × 1台
スタンダードタイプ	3名	34.5㎡	110cm × 2台	100cm × 1台
スタジオツイン	2名	27.0㎡	110cm × 2台	—
スタンダードツイン	2名	27.0㎡	110cm × 2台	—
セミダブル	2名	19.5㎡	120cm × 1台	—

部屋タイプ	定員数	部屋の広さ	正ベッド幅	エキストラベッド幅
モテレートツイン	2〜3名	27.0㎡	110cm × 2台	90cm × 2台
スタジオツイン	2名	18.0㎡	120cm × 1台	90cm × 3台
ダブル	2名	21㎡	150cm × 1台	—

文章中にスニペットを発生させよう

アンカー付オブジェクトタグを使う

テンプレートの作成方法は、セクション 15 「文字を組版しよう」と同様です。

文章中にアンカー付オブジェクトタグを使用し、スニペットを発生する事ができます。

テンプレート上にアンカー付オブジェクトがあり、アンカー付オブジェクトにスニペットを配置する場合は、セクション 19 「スニペットを配置しよう」の方法になります。

ここでの説明は、テンプレート上にアンカー付オブジェクトが存在せず、データ中のアンカー付オブジェクトタグで、スニペットを発生させる場合です。

例えば、文章中に よりどり 2 個 .idms を配置する場合、

冗長タグ形式では

```
<AnchoredObj:=<oLinkPath: よりどり 2 個 .idms>>
```

略書きタグ形式では

```
<aobj:=<olp: 商品よりどり 2 個 .idms>>
```

と入力します。

配置するスニペットファイルは、プロジェクトのテンプレートフォルダに必ずアップロードしてください。

文章中にスニペットを発生するには

組版用テキストデータ

① アンカー付オブジェクトタグを入力

ファイルはファイル名のみ入力します

1	容量	各
12	つめかえ用(480ml)	各
13	つめかえ用(480ml)	<AnchoredObj:=<oLinkPath:よりどり2個.idms>>
14	本体(370ml)	
15		各
16		
17	つめかえ用(360g)	各
18	つめかえ用(480ml)	

組版結果

文章中にスニペットが発生しました



配置や発生するスニペットも自動組版しよう

配置や発生するスニペットもテンプレート

「スニペットを配置しよう」や「文章中にスニペットを発生させよう」で扱ったスニペットを自動組版する事ができます。

自動組版の中で、配置するパーツを自動組版するイメージです。

テンプレートの共通部分と可変部分を組み合わせる事で、テンプレート数を減らしたり、マーク類をパーツにし、マーク内の文字を自動組版する事で、パーツを減らすことができます。

「スニペットを配置しよう」や「文章中にスニペットを発生させよう」との違いは、配置するスニペットの文字や、オブジェクトに「データ接続」スタイルグループ内のスタイルを適用しておくだけです。

また、文章中に自動組版スニペットを発生させる場合、組版データにない項目を流し込む事ができます。

例えば、価格 2.idms の文字に文字スタイル、データ接続／税込価格が適用されているとします。組版データには税込価格項目がありませんが、

```
<AnchoredObj:=<oLinkPath: 価格 2.idms><@ 税込価格 :248>>
```

と入力すれば、「248」を流し込みます。<@ 項目名: 項目データ>を意味します。セクション 16「文章中にインラインテキストフレームを発生させよう」のインラインテキストフレームで表現できない複雑な図形で使用します。

自動組版中の自動組版は 1 行分

配置や発生するスニペットの自動組版は、1 行分のデータです。自動組版中の自動組版で、複数行の同一コマコード組版はできません。

配置するスニペットを自動組版するには

組版用テキストデータ

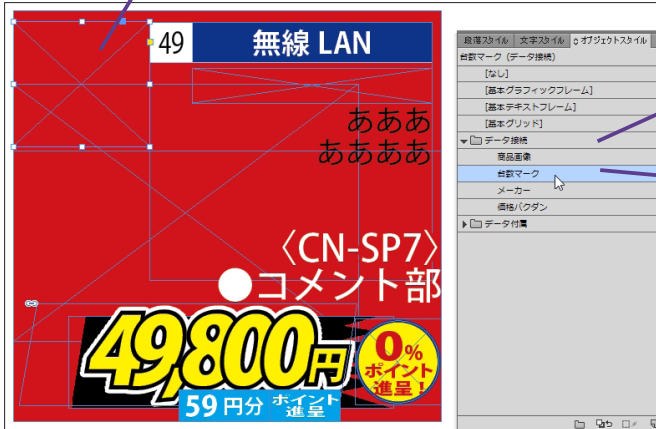
① スニペットファイルのファイル名のみ入力 (.idms は省略可)

② スニペット自動組版用の項目を用意

	A	B	C	D
1	No	台数マーク	台数	カテゴリー
2	39	限り.idms	展示品限り	ポータブルナビゲーション
3	40	限り.idms	在庫限り	ウォークマン Fシリーズ
4	41	限り.idms	在庫・<000D>展示品限り	プリンタ複合機
5	42	限り.idms	在庫限り	USBメモリ
6	43	先着.idms		5 デジタルコードレス<000D>普通紙FAX
7	44	限り.idms	在庫・<000D>展示品限り	オープンレンジ
8	45	限り.idms	在庫・<000D>展示品限り	沸騰IHジャー炊飯器
9	46	無制限.idms		メンズシェーバー

テンプレート

- 1 スニペットを配置したいフレームを選択



- 2 オブジェクトスタイルに「[データ接続] グループ」を作成するか、既にある場合は選択

- 3 「[データ接続] グループ」内に、組版データの項目名と同じ名前のスタイルを作成

配置するスニペット

- 1 流し込みたい文字範囲を選択



- 2 「[データ接続] グループ」を作成するか、既にある場合は選択

- 3 「[データ接続] グループ」内に、組版データの項目名と同じ名前のスタイルを作成する

組版結果

- フレームに自動組版したスニペットが配置されました



発生するスニペットを自動組版するには

組版用テキストデータ

① アンカー付オブジェクトタグを入力

<@ 価格売出し区分 > は、隣の価格売出し区分の値 (0、1、2 のいずれか) になり、その結果、価格 0.idms、価格 1.idms、価格 2.idms となります

	J	K
1	価格	価格売出し区分
12	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><@税込価格:298>>	0
13	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><@税込価格:500>>	0
14	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><@税込価格:378>>	0
15	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><@税込価格:298>>	0
16	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><@税込価格:298>>	1
17	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><@税込価格:278>>	0
18	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><@税込価格:248>>	0
19	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><@税込価格:498>>	0
20	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><@税込価格:1,280>>	0
21	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><@税込価格:1,380>>	0
22	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><@税込価格:348>>	0
23	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><@税込価格:798>>	0
24	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><@税込価格:798>>	0
25	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><@税込価格:198>>	0
26	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><@税込価格:278>>	1

テンプレート

① スニペットを発生したい文字範囲を選択

② 段落、または文字スタイルに [データ接続] グループを作成するか、既にある場合は選択

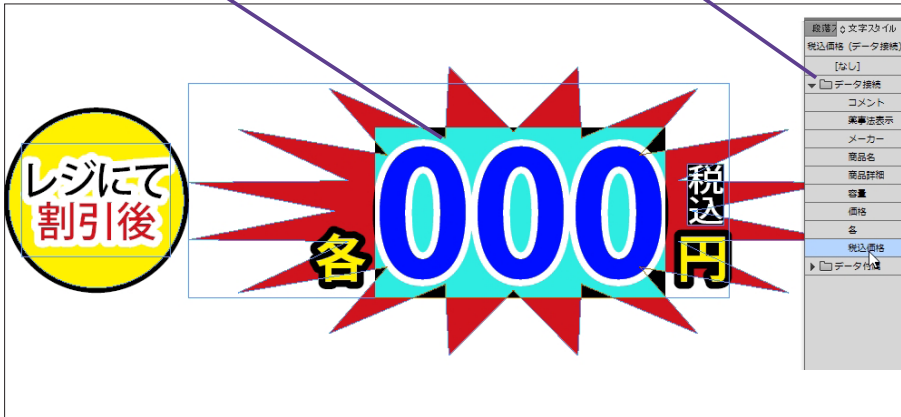
③ [データ接続] グループ内に、組版データの項目名と同じ名前のスタイルを作成

発生するスニペット

① 流し込みたい文字範囲を選択

② [データ接続] グループを作成するか、既にある場合は選択

③ [データ接続] グループ内に、組版データの項目名と同じ名前のスタイル、または <@ 項目名: 項目データ > の項目名スタイルを作成する



組版結果

文章中に自動組版したスニペットが発生しました



項目データが空の時、関連する文字やオブジェクトを削除しよう

「データ付属」スタイルグループを作る

組版データ項目の値が空の場合に、データ付属／組版データ項目名（「データ付属」スタイルグループ内のスタイル）が適用されているオブジェクトを削除します。

文字を削除したい場合は、段落スタイルまたは文字スタイル、データ付属／組版データ項目名を文字範囲に適用します。

オブジェクトを削除したい場合は、オブジェクトスタイル、データ付属／組版データ項目名をオブジェクトに適用します。

例えば、価格データが空の時、テンプレートの文字「円」を削除したい場合、「円」に文字スタイル、データ付属／価格を適用します。オブジェクトでは、商品説明データが空の時に、商品説明のテキストフレームを削除したい場合、商品説明テキストフレームに、オブジェクトスタイル、データ付属／商品説明を適用します。

また、データ付属／組版データ項目名 1 | 組版データ項目名 2 と指定することもできます。この場合、組版データ項目名 1 または組版データ項目名 2 に付属となります。

例えば、【メーカー商品名】と組版されていて、【】に文字スタイル「データ付属／メーカー | 商品名」が適用されていた場合、メーカーと商品名、両方のデータが空だと【】が削除されます。



段落改行文字にデータ付属

段落改行文字に、文字スタイル「データ付属／組版データ項目名」を適用し、データが空の場合、段落を詰めて組版することができます。（※段落スタイルのデータ接続を使用した場合、段落スタイルは改行文字も含むため、自動で詰まります）メニューの [書式] [制御文字の表示] で段落改行文字を表示するとよいでしょう。

データが空の時、関連する文字を削除するには

組版用テキストデータ

[容量] が空の場合があります

商品詳細	容量	各
・超コンパクト		各
・コンパクト		各
	(90g)	各
	(420ml)	各
	(100g)	各
	(100g)	各
	(420g)	各

テンプレート

① データが空の場合に削除したい文字範囲を選択



② 段落スタイル、または文字スタイルに [データ付属] グループを作成するか、既にある場合は選択

③ [データ付属] グループ内に、組版用テキストデータの項目名と同じ名前のスタイルを作成

組版結果

[容量] が空なので、[データ付属/容量] スタイルを付けた段落改行が削除されました



データが空の時、関連するオブジェクトを削除するには

組版用テキストデータ

[コメント] が空の場合があります

	K	L
1	価格売出し区分	コメント
21		0
22		0 すごく吸い込む感をお試しください。
23		0 突発性の下痢に<000D>水なしで効く！
24		0 突発性の下痢に<000D>水なしで効く！
25		0 市場最薄ヘッド&最細ネック！
26		1 みがかたび、強い歯へ！
27		1 みがかたび、強い歯へ！

テンプレート

① データが空の場合に削除したい
オブジェクトを選択



組版結果

[コメント] が空なので、テキストフレーム
が削除されました



表組を組版しよう（エクセルファイル）


表スタイルに「データ接続」スタイルグループを作る

表スタイル、データ接続／組版データ項目名（「データ接続」スタイルグループ内のスタイル）が適用されている表組オブジェクトに、組版データのエクセルファイルのシートを配置します。例えば、表スタイル「データ接続」スタイルグループ内の「価格表」スタイルが適用されている表組には、「価格表」項目データの表組ファイルを配置します。

複数箇所に同一スタイルを適用した場合は、複数箇所に同じ表組ファイルを配置します。

スタイルが適用されている表組の組版属性をオーバーライド（スタイル名に+が表示）しても、表組ファイルを配置します。

アンカー付オブジェクトの表組や、グループ化された表組などにも配置可能です。

 サポートしているエクセルファイル

Excel ブック [.xlsx]
Excel マクロ有効ブック [.xlsm]
Excel97-2003 [.xls]

スタイルやスウォッチが、エクセルからインデザインの属性変換テーブル

エクセルファイルを配置する場合、表組にセルスタイル、文字スタイル、段落スタイル、スウォッチが適用されます。

各スタイル名やスウォッチ名が、テンプレートにない場合は、自動作成し適用しますが、既にテンプレートにある場合は、既存スタイルやスウォッチを適用します。例えば、文字スタイル「価格表／MS Pゴシック_8」の基本文字形式が、フォント：小塚ゴシック Pro、サイズ：12Q と設定してあるテンプレートを使用すれば、エクセル上で、フォントがMS Pゴシック、フォントサイズが8の文字は全て、フォントが小塚ゴシック Pro、サイズが12Qになります。

同様にスウォッチも「XLS/R=255 G=0 B=0」のCMYK値をC=0,M=100,Y=0,K=0と設定してあるテンプレートを使用すれば、エクセル上で、R=255 G=0 B=0の色は全て、マゼンタ(M=100)になります。つまり、テンプレートの段落・文字・セルスタイル、スウォッチは、エクセルからインデザインへの属性変換テーブルともいえます。

表幅は、テンプレートの表幅に合わせます。

列幅は、エクセルの列幅を使用します。（表幅に対しての割合）

行の高さは、テンプレートの行の高さを使用します。

また、表幅、列幅、行の高さは、設定で変更する事ができます。詳しくはセクション35「表組の設定をしよう」.36「表組の列設定をしよう」.37「表組の行設定をしよう」をご覧ください。

エクセル RGB 色を CMYK に変換する

エクセルで使用されている色は全て、CMYKのスウォッチに変換します。

スウォッチ名は、エクセルのRGB値を示した XLS/R=0～255 G=0～255 B=0～255 です。CMYK値は、RGB色の近似値です。

エクセルの罫線を変換する

エクセルの罫線は、InDesignの線種と線幅に変換します。変換値は以下の図です。

エクセル罫線	インデザイン線種	インデザイン線幅(mm)
なし	ベタ	0
.....	点線 (3 & 2)	0.25
-----	点線 (4 & 4)	0.25
-----	点線 (4 & 4)	0.25
-----	点線 (4 & 4)	0.25
-----	点線 (3 & 2)	0.25
-----	ベタ	0.25
-----	点線 (4 & 4)	0.5
-----	点線 (4 & 4)	0.5
-----	点線 (4 & 4)	0.5
-----	点線 (4 & 4)	0.5
-----	ベタ	0.5
-----	ベタ	0.75
=====	二重線	0.1

この変換値は変更する事ができます。詳しくはセクション 38 「エクセル罫線の変換設定をしよう」をご覧ください。

エクセルのセル属性を変換する

適用されるセルスタイルの名前は、
組版データ項目名／文字方向_縦位置_セル背景色
となります。

文字方向は、縦書きの場合のみ「縦組」が入ります。

縦位置は、「上揃え」「中央揃え」「下揃え」「均等配置」です。

セル背景色は、R=0～255 G=0～255 B=0～255 です。

エクセルの文字属性を変換する

セル内の文字には、段落スタイルと文字スタイルが適用されます。

適用される文字スタイルの名前は、
組版データ項目名／フォント名_太字_斜体_文字サイズ_文字色_下線種別_取り消し線_文字位置
となります。

文字色は、R=0～255 G=0～255 B=0～255 です。

下線種別は、「下線」または「二重下線」です。

文字位置は、「上付き」または「下付き」です。

適用される段落スタイルの名前は、
セル書式設定の横位置が標準以外の場合、
組版データ項目名／横位置インデント値
となります。

例えば、エクセル上で、MS Pゴシック、フォントサイズが8、文字色がR=255 G=0 B=0、横位置が中央揃えの場合、

文字スタイル名、価格表／MS Pゴシック_8_R=255 G=0 B=0

段落スタイル名、価格表／中央揃え

となります。（「価格表」項目のエクセルファイルを配置する場合）

文字スタイルは、フォント名のスタイルを基準スタイルとします。

上記の例では、

価格表／MS Pゴシック _8_R=255 G=0 B=0 スタイルの基準スタイルは、

価格表／MS Pゴシックです。

エクセルファイルのシートを表組にするには

組版用テキストデータ

- 1 エクセルファイル名とシートを入力
（※シート名は省略可）

	J	K	L	M
1	部屋タイプ表	詳細	朝食付	宿泊日カレンダー表
2	ホテルイースト21東京.xlsx 部屋タイプ	●チェックイン／14:00<00	1,500	ホテルイースト21東京.xlsx カレンダー
3	京成ホテルミラマーレ.xlsx 部屋タイプ	●チェックイン／13:00●	1,200	京成ホテルミラマーレ.xlsx カレンダー
4	東武ホテルレバント東京.xlsx 部屋タイプ	●チェックイン／14:00<00	1,500	東武ホテルレバント東京.xlsx カレンダー
5				
6				

表組用エクセルデータ

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1		JRセットプラン(富山発着)				追加宿泊代金			
2	宿泊日	デラックスツイン	セミダブル	スタンダードツイン スタンダードダブル	デラックスツイン	セミダブル	スタンダードツイン スタンダードダブル		
3		4名1室	3名1室	2名1室	2名1室	4名1室	3名1室	2名1室	2名1室
4		22,700	24,800	22,700	24,800	3,900	3,900	3,900	6,100
5		23,300	25,400	23,300	25,400	5,300	5,300	5,300	7,500
6		23,900	26,100	23,900	26,100	6,500	6,500	6,500	8,700
7		25,600	27,800	25,600	27,800	9,300	9,300	8,900	11,700
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									

テンプレート

- 1 文字ツールで配置したい表組のセルをクリック

- 2 表スタイルに [データ接続] グループを作成するか、既にある場合は選択

■旅行代金：お一人様 基本代金 + JR 加減代金

■基本代金 / 大学生 (大学院生)・短大生・各種専門学生 / お一人様・1泊2日食

I 宿泊日	JRセットプラン (富山発着)			
	モデレートツイン	スタンダードツイン	スタンダードダブル	ダブル
	3名1室	2名1室	2名1室	2名1
	22,700	24,800	24,800	23,
	23,300	25,400	23,300	23,
	23,900	26,100	23,900	24,
	25,000	27,200	25,000	25,
	25,600	27,800	27,800	25,

- 3 [データ接続] グループ内に、組版データの項目名と同じ名前のスタイルを作成

組版結果

エクセルシートが表組になりました

1. 無料ツールの文字あふれ処理を使用し、設定値を、「あふれ文字全て処理する」にチェックをいれて実行しました。
2. 文字あふれ処理の設定値を、文字スタイル「価格表/MS Pゴシック_10_R=255 G=255 B=255」、1行以下にする、変形、60% 限度で実行しました。

東京町

Tokyo Disney Resort. Good Neighbor Hotels
オークラホテルズホテルイースト21東京

TEL 03-5683-5737

●チェックイン/14:00
●チェックアウト/12:00 (通常 11:00)
●洋室、バス・トイレ付
●朝食/和洋バイキング (朝食付プランのみ)
●交通のご案内/東京メトロ東西線東洋町より徒歩7分

朝食付プランは (お一人様1名につき) 1,500円増

■旅行代金: お一人様 **1,500円増**

■料金表

原セットプラン (富士山発着)	追加宿泊代金					
宿泊日	デラックスツイン		セミダブル		ダブル	
	4名1室	3名1室	2名1室	2名1室	2名1室	2名1室
1月	22,700	24,800	22,700	24,800	3,900	3,900
2月	23,300	25,400	23,300	25,400	5,300	5,300
3月	23,900	26,100	23,900	26,100	6,500	6,500
4月	25,600	27,800	25,600	27,800	9,300	8,900

千葉

Tokyo Disney Resort. Good Neighbor Hotels
京成ホテルミラマレ

TEL 043-222-2111

●チェックイン/13:00 ●チェックアウト/11:00
●洋室、バス・トイレ付
●朝食/バイキング (朝食付プランのみ)
●交通のご案内/ JR千葉駅より徒歩8分

朝食付プランは (お一人様1名につき) 1,200円増

■旅行代金: お一人様 **1,200円増**

■料金表

原セットプラン (富士山発着)	追加宿泊代金					
宿泊日	モデレートツイン		ダブル		ダブル	
	3名1室	2名1室	2名1室	2名1室	2名1室	2名1室
1月	22,700	24,800	24,800	23,300	3,700	5,800
2月	23,300	25,400	23,300	23,800	4,300	6,400
3月	23,900	26,100	23,900	24,500	4,900	7,100
4月	25,000	27,200	25,000	25,100	6,000	8,200
5月	25,600	27,800	27,800	25,600	6,600	8,800

表組を組版しよう (csv、txt、tsvファイル)

表スタイルに「データ接続」スタイルグループを作る

表スタイル、データ接続／組版データ項目名（「データ接続」スタイルグループ内のスタイル）が適用されている表組オブジェクトに、組版データの csv、txt、tsv ファイルを配置します。

例えば、表スタイル「データ接続」スタイルグループ内の「価格表」スタイルが適用されている表組には、価格表項目データの表組ファイルを配置します。

複数箇所に同一スタイルを適用した場合は、複数箇所に同じ表組ファイルを配置します。

スタイルが適用されている表組の組版属性をオーバーライド（スタイル名に+が表示）しても、表組ファイルを配置します。

アンカー付オブジェクトの表組や、グループ化された表組などにも配置可能です。

csv、txt、tsv ファイルを配置する

csv、txt、tsv ファイルを配置する場合、テンプレート表組の文字属性、罫線、色を使用します。

データ中にセルの InDesign タグを使用し、セル背景色、列幅、行の高さ、セル組方向、罫線などを変更できます。

詳しくは、セクション 13 「インデザインタグとリンクキューブ拡張タグを使おう」をご覧ください。

表幅は、テンプレートの表幅に合わせます。

列幅は、テンプレートの列幅を使用します。テンプレート列数とデータ列数が異なる場合、最後の列を使用します。

行の高さは、テンプレートの行の高さを使用します。テンプレート行数とデータ行数が異なる場合、最後の行を使用します。

表幅、列幅、行の高さは、設定で変更する事ができます。表幅を「成り行き」にしたり、テンプレート列数とデータ列数が異なる場合、最後の列ではなく、指定した列を増減する事ができます。詳しくはセクション 35 「表組の設定をしよう」.36 「表組の列設定をしよう」.37 「表組の行設定をしよう」をご覧ください。

また、セル結合はデータ値で判定します。

行方向に（次の行と）セル結合したい場合は、同じ値を入力します。

列方向に（次の列と）セル結合したい場合は、なにも入力しません。

例えば、以下の csv ファイルの場合、セル 1 は列方向にセル結合し、セル 2 は行方向にセル結合します。

セル 1., セル 2

セル 3, セル 4, セル 2

csv、txt、tsv ファイルを表組にするには

組版用テキストデータ

① csv、txt、tsv ファイルのファイル名のみ入力

	D	E	F
1	素材グループ	画像	予約電話番号
2		ホテルイースト21東京	TEL 03-5683-5737
3		京成ホテルミラマーレ	TEL 043-222-2111
4	東武ホテルレバント東京-素材.csv	東武ホテルレバント東京	TEL 03-5611-5617
5			

表組用テキストデータ

	A	B	C	D	E
1	<cc:C=100 M=0 Y=0 K=0>素材グループ004<0008><cc:Black>B券<cc:C=0 M=100 Y=100 K=0>★3652-301				
2	販売素材	食事なし		朝食付	
3	販売素材	基本	なかよ4	基本	なかよ4
4	スタンダードツイン/カジュアルツイン	<cc:C=100 M=0 Y=0 K=0>032	<cc:C=100 M=0 Y=0 K=0>033	<cc:C=100 M=0 Y=0 K=0>034	<cc:C=100 M=0 Y=0 K=0>035

テンプレート

① 文字ツールで配置したい表組のセルをクリック

sort. Good Neighbor Hotels
ミラマーレ

部屋タイプ	定員数	部屋の広	正ベッド幅	エキストラベッド幅
モデレートツ	2~3	27.0㎡	110cm×2	90cm×2台

② 表スタイルに [データ接続] グループを作成するか、既にある場合は選択

③ [データ接続] グループ内に、組版データの項目名と同じ名前のスタイルを作成

組版結果

CSV、txt、tsv ファイルが表組になりました

無料ツールの文字あふれ処理を使用し、設定値を、文字スタイル「素材グループ文字」、1行以下にする、変形、50% 限度で実行しました。

Neighbor Hotels
外東京

素材グループ 004		B 券★ 3652-301	
販売素材	食事なし	朝食付	
	基本	なかよ4	基本
スタンダードツイン/カジュアルツイン	032	033	034

焼き菓子付! (滞在中1室につき1個)

データ行毎にテンプレートを変えよう

組版データにテンプレート項目を用意する

組版データに項目名「テンプレート」があり、テンプレート名が入力してあれば、テンプレートを切り替えて自動組版します。

テンプレート名が入力がなければ、組版実行で指定したテンプレートを使用します。

テンプレート名が見つからない場合は、ログで警告終了となり、詳細説明に見つからなかったファイル名を記載します。

データ行毎にテンプレートを変えるには

組版用テキストデータ

① [テンプレート] 項目を用意

② テンプレートを変更したい行に、テンプレートファイル名を入力

	A	B	C	D	E	
1	テンプレート	№	台数マーク	台数	カテゴリー	メーカー
	テンプレート大.idms	32	無制限大.idms		355ℓ片開き4ドア冷蔵庫	AQUA
2	テンプレート大.idms	33	限り大.idms	在庫限り	426ℓ片開き5ドア冷蔵庫	TOSHIBA
3		39	限り.idms	展示品限り	ポータブルナビゲーション	Panasonic
4		40	限り.idms	在庫限り	ウォークマン Fシリーズ	SONY
5		41	限り.idms	在庫・<000D>展示品限り	プリンタ複合機	Canon
6		42	限り.idms	在庫限り	USBメモリ	BUFFALO
7						

組版結果

入力したテンプレートに変更されました

The collage shows the following products and prices:

- AQUA 355ℓ片開き4ドア冷蔵庫 (AQR-361B-S):** 60,800円 (台数無制限)
- TOSHIBA 426ℓ片開き5ドア冷蔵庫 (GR-F43N-NU):** 85,800円 (在庫限り)
- Panasonic ポータブルナビゲーション (CN-SP720VL):** 49,800円 (展示品限り)
- SHARP オープンレンジ (RE-S26F-B):** 22,800円 (在庫限り)
- Canon プリンタ複合機 (PIXUS MG3230):** 5,880円 (展示品限り)
- BUFFALO USBメモリ (RUF2-JUF16G-BK):** 850円 (在庫限り)

複数データ行を表組にしよう（増減行）

複数データ行が1つの表組になる

頁をまたがる大きい表組、例えば、カラオケ本、チケット情報、表組型の名簿、表組型の索引や、1つの小組で、複数の商品コードが表組になっているカタログ、旅行行程表などに利用します。

自動組版は通常、1データ行で1小組を作成しますが、ここでの説明は、複数データ行を1つの表組として自動組版する方法です。複数データ行を1つとして扱うために、組版データに項目名「コマコード」が必要になります。「コマコード」のデータ値が、連続して同じものを1つとして扱います。例えば「コマコード」の値がAJ-001が3行続き、次にBJ-005が2行続けば、全体のデータ行数は5行ですが、作成する小組は2つです。

テンプレートの作成方法は、セル内の文字やオブジェクトに、文字・段落・オブジェクトスタイル「データ接続／組版データ項目名」を適用します。詳しくは、セクション15「文字を組版しよう」17「画像、動画、音声ファイルを配置しよう」19「スニペットを配置しよう」をご覧ください。

次に表スタイル、データエリア／増減行（「データエリア」スタイルグループ内の「増減行」スタイル）を表組に適用します。

テンプレート表組の1行分を使用し「データ接続／組版データ項目名」を適用すれば、データ行に合わせて1行単位で増減します。

テンプレート表組の3行分を使用し「データ接続／組版データ項目名」を適用すれば、データ行に合わせて3行単位で増減します。（データ行が2行なら6行の表組を作成）

また、組版データに項目名「増減行テンプレート」があり、テンプレート名（スニペットファイル名、.idmsは省略可）が入力されていると、行の途中でレイアウトを変更することができます。「増減行テンプレート」に入力されているレイアウト変更用表組に、ヘッダー行が含まれていても、本文行のみ組版します。

増減行の表組と、レイアウト変更用表組の列数を同じにする必要があります。列数を変化（列方向のセル結合）させたい場合、レイアウト変更用表組にヘッダー行（組版されない）を作成し、増減行の表組と列数を同じにします。列数が違う場合、ログに警告終了として記載されます。

増減行には、フィルター機能があります。増減行スタイル名に＜重複なし＞を含めると、増減行に含まれている組版データ項目値が全て重複している行を組版しません。例えば、データエリア／増減行＜重複なし＞とし、セル内の文字に「データ接続／サイズ」、「データ接続／価格」スタイル名があるとします。その場合、サイズ、価格の値が重複するデータ行は組版しません。

その他のフィルター機能として、＜項目名＝値＞、＜項目名！＝値＞があります。例えば、データエリア／増減行＜種別＝1＞とすれば、データ項目名「種別」の値が1のデータ行のみ組版します。！＝は反対の意味になります。＜種別！＝1＞とすれば、「種別」の値が1ではないデータ行のみ組版します。

1つの小組で2つ以上の増減行を組版したい場合は、表組に異なる増減行スタイル名を適用します。例えば、「増減行 - 価格」、「増減行 - 注文番号」など「増減行」から始まるスタイル名は全て、増減行の表組として扱います。

「増減行 - 価格」のレイアウトを途中で変更する場合は、組版データに項目名「増減行 - 価格テンプレート」を用意します。つまり、増減行スタイル名＋「テンプレート」となります。



セル結合
増減行の表組と、レイアウト変更用表組のヘッダー列数を同じにしておく事で、列方向のセル結合を表現できます。行方向のセル結合は、セクション41「複数行データのまとめ設定をしよう」をご覧ください。

複数データ行を表組にするには

組版用テキストデータ

① [コマコード] 項目を用意

② コマコードに1つにしたい行分、同じ値を入力

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	コマコード	シリーズ	データ転送速度	データ転送能力	遅延時間	GB	枚数	品番	価格
2	SDY1600L	SDY1600L	PC3L<000D>12800	1600	11	2		SDY1600L-2G	5,600
3	SDY1600L	SDY1600L	PC3L<000D>12800	1600	11	4		SDY1600L-4G	9,000
4	SDY1600L	SDY1600L	PC3L<000D>12800	1600	11	8		SDY1600L-8G	19,200
5	SDY1600L	SDY1600L	PC3L<000D>12800	1600	11	4		SDY1600L-H4G	8,000
6	SDY1600	SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11	2		SDY1600-2G	5,600
7	SDY1600	SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11	4		SDY1600-4G	9,000
8	SDY1600	SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11	8		SDY1600-8G	19,200
9	SDY1600	SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11	2	2	SDY1600-2GX2	11,000
10	SDY1600	SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11	4	2	SDY1600-4GX2	17,200
11	SDY1600	SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11	8	2	SDY1600-8GX2	36,800
12	SDY1333	SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9	2		SDY1333-2G	5,600
13	SDY1333	SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9	4		SDY1333-4G	8,000
14	SDY1333	SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9	8		SDY1333-8G	17,200
15	SDY1333	SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9	2	2	SDY1333-2GX2	11,000
16	SDY1333	SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9	4	2	SDY1333-4GX2	15,000
17	SDY1333	SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9	1		SDY1333-H1G	3,000
18	SDY1333	SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9	2		SDY1333-H2G	5,000
19	SDY1066	SDY1066	PC3<000D>8500	1066	7	2		SDY1066-2G	5,600

テンプレート

① セル内の文字範囲やオブジェクトに [データ接続/組版データ項目名] を適用

② 文字ツールで配置したい表組のセルをクリック

SDY1600Lシリーズ (Windows 専用モデル)				
Win	PC3 12800	転送レート 12800	CL=5	204ピン S.O.DIMM
2GB×2枚		SDY1600-2GX2	¥36,800	

③ 表スタイルに [データエリア] グループを作成するか、既にある場合は選択

④ [データエリア] グループ内に、[増減行] スタイルを作成

組版結果

同一コマコード行分の表組が組版されました

SDY1600 シリーズ (Windows 専用モデル)			
Win	PC3 12800	転送レート 1600	CL=11 204ピン S.O.DIMM
2GB		SDY1600-2G	¥5,600
4GB		SDY1600-4G	¥9,000
8GB		SDY1600-8G	¥19,200
2GB×2枚		SDY1600-2GX2	¥11,000
4GB×2枚		SDY1600-4GX2	¥17,200
8GB×2枚		SDY1600-8GX2	¥36,800

複数データ行の途中で、行レイアウトを変えるには

組版用テキストデータ

① [増減行テンプレート] 項目を用意

② 表組行のテンプレートを変更したい行に、テンプレートファイル名 (idms) を入力

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	コマコード	増減行テンプレート	シリーズ	データ転送速度	データ転送能力	遅延時間	モデル	GB	枚数	品番	価格
2	SDY1600L	モデル付き	SDY1600L	PC3L<000D>12800	1600	11	低電圧対応モデル	2		SDY1600L-2G	5,600
3	SDY1600L		SDY1600L	PC3L<000D>12800	1600	11	低電圧対応モデル	4		SDY1600L-4G	9,000
4	SDY1600L		SDY1600L	PC3L<000D>12800	1600	11	低電圧対応モデル	8		SDY1600L-8G	19,200
5	SDY1600L	モデル付き	SDY1600L	PC3L<000D>12800	1600	11	低電圧対応低消費電力モデル	4		SDY1600L-H4G	8,000
6	SDY1600		SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11		2		SDY1600-2G	5,600
7	SDY1600		SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11		4		SDY1600-4G	9,000
8	SDY1600		SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11		8		SDY1600-8G	19,200
9	SDY1600		SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11		2	2	SDY1600-2GX2	11,000
10	SDY1600		SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11		4	2	SDY1600-4GX2	17,200
11	SDY1600		SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11		8	2	SDY1600-8GX2	36,800
12	SDY1333		SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9		2		SDY1333-2G	5,600
13	SDY1333		SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9		4		SDY1333-4G	8,000
14	SDY1333		SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9		8		SDY1333-8G	17,200
15	SDY1333		SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9		2	2	SDY1333-2GX2	11,000
16	SDY1333		SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9		4	2	SDY1333-4GX2	15,000
17	SDY1333	モデル付き	SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9	低消費電力モデル	1		SDY1333-H1G	3,000
18	SDY1333		SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9		2		SDY1333-H2G	5,000
19	SDY1066		SDY1066	PC3<000D>8500	1066	7		2		SDY1066-2G	5,600

テンプレート

① セル内の文字範囲やオブジェクトに [データ接続/組版データ項目名] を適用

② 表組に表スタイル [データエリア/増減行] を適用

SDY1600 シリーズ (Windows 専用モデル)			
Win	PC3 12800	転送レート 12800	CL=5 204ピン S.O.DIMM
2GB×2枚		SDY1600-2GX2	¥36,800

表 セルスタイル ◯ 表スタイル

増減行+ (データエリア)

[基本表]

▼ □ データエリア

増減行+

レイアウト変更用増減行テンプレート

①セル内の文字範囲やオブジェクトに
[データ接続/組版データ項目名] を適用

②列数は同じにしておく

レイアウト変更用の表は、[データ
エリア/増減行] スタイルを適用す
る必要はありません

低電圧対応モデル			
2GB	× 2枚	SDY1600L-H4G	¥36,800

品番 (データ接続)	オプション
[なし]	
▼ データ接続	
シリーズ	
GB	
枚数	
価格	
データ転送速度	
データ転送能力	
遅延時間	
品番	
モデル	
▼ データ付属	
枚数	

組版結果

増減行の途中でレイアウト
が変更されました

SDY1600Lシリーズ (Windows 専用モデル)				
Win	PC3L 12800	転送レート 1600	CL=11	204ピン S.O.DIMM
低電圧対応モデル				
	2GB	SDY1600L-2G	¥5,600	
	4GB	SDY1600L-4G	¥9,000	
	8GB	SDY1600L-8G	¥19,200	
低電圧対応低消費電力モデル				
	4GB	SDY1600L-H4G	¥8,000	

複数データ行を組版しよう (増減テキスト)

複数データ行から1つの文章を作る

ページをまたがる文章、例えば、辞典、参考書、名簿、索引、ユーザーガイドなどに利用します。

複数データ行を1つとして扱うために、組版データに項目名「コマコード」が必要になります。「コマコード」については、セクション26「複数データ行を表組にしよう（増減行）」をご覧ください。

テンプレートの作成方法は、1つのテキストフレーム内の文字やオブジェクトに、文字・段落・オブジェクトスタイル「データ接続／組版データ項目名」を適用します。詳しくは、セクション15「文字を組版しよう」.17「画像、動画、音声ファイルを配置しよう」.19「スニペットを配置しよう」をご覧ください。

次にオブジェクトスタイル、データエリア／増減テキスト（「データエリア」スタイルグループ内の「増減テキスト」スタイル）をテキストフレームに適用します。

あらかじめページ数がわからない場合は、InDesignの「スマートテキストのリフロー処理」機能を使用してください。

組版データに項目名「増減テキストテンプレート」があり、テンプレート名（スニペットファイル名、.idmsは省略可）が入力されていると、文章の途中でレイアウトを変更することができます。

増減テキストには、フィルター機能があります。増減テキストスタイル名に<項目名=値>または<項目名!=値>を含めると、項目値に一致または一致しないデータ行のみ組版します。例えば、データエリア／増減テキスト<種別=1>とすれば、データ項目名「種別」の値が1のデータ行のみ組版します。!=は反対の意味になります。<種別!=1>とすれば、「種別」の値が1ではないデータ行のみ組版します。

1つの小組で2つ以上の増減テキストを組版したい場合は、テキストフレームに異なる増減テキストスタイル名を適用します。例えば、「増減テキスト - 価格」、「増減テキスト - 注文番号」など「増減テキスト」から始まるスタイル名は全て、増減テキストのテキストフレームとして扱います。

「増減テキスト - 価格」のレイアウトを途中で変更する場合は、組版データに項目名「増減テキスト - 価格テンプレート」を用意します。つまり、増減テキストスタイル名+「テンプレート」となります。



ユーザーガイド

tips

このユーザーガイドは、増減テキストを使用し作成しました。セクションが同一コマコードで、帯見出し（～するには）が1行分のデータです。

1. 自動組版
2. 画面イメージの操作手順位置や、指示線などを手作業で調整
3. ブックファイルにし、PDF出力という作業手順です。

複数データ行を、増減テキストで組版するには

組版用テキストデータ

① [コマコード] 項目を用意

② コマコードに1つにしたい行分、同じ値を入力

	A	B	C	D	
1	コマコード	Section番号	章タイトル	タイトル	本文
20	複数データ行を組版しよう(増減テキスト)	26	テンプレートの機能	複数データ行を組版しよう(増減テキスト)	【見出し】複数データ行か【本文】ページをまたがる複数データ行を1つとして下さい。 テンプレートの作成方法は「文字を組版しよう」画面次にオブジェクトスタイル、あらかじめページ数がわかると、組版データに項目名が出来ます。
	複数データ行を組版しよう(増減テキスト)	26	テンプレートの機能	複数データ行を組版しよう(増減テキスト)	

テンプレート

① テキストフレームの文字範囲やオブジェクトに [データ接続/組版データ項目名] を適用

② 選択ツールで、流し込みたいテキストフレームを選択

③ オブジェクトスタイルに [データエリア] グループを作成するか、既にある場合は選択

④ [データエリア] グループ内に、[増減テキスト] スタイルを作成

Section ▶ 組版設定の機能

0# 加工項目を作ろう#

自動組版で、流し込みたいテキストデータは、組版データフォルダにアップロードします。*

アップロードできるファイル形式は、csv、txt、tsv、xls、xlsx ファイルです。*

xls、xlsx ファイルは、エクセルシートイメージのまま、表組を組版したい場合に、アップロードします。*

一度に複数ファイルをアップロードすることもできます。*

アップロードするファイル数に制限はありませんが、あまり多くなると管理しにくくなるので、可能な別プロジェクトにしたほうがいいでしょう。*

加工項目を作るには

操作手順や画像など

ファイルをドラッグ&ドロップで追加する*

ファイルを追加するとき、ドラッグ&ドロップでもファイルを追加できます。* その場合、ファイル追加ダイアログにドラッグ&ドロップしてください。

Tip 本文

Tip 本文

Tip 本文

Tip 本文

Tip 本文

Tip 本文

Tip 本文

Tip 本文

オブジェクトスタイル

増減テキスト (データエリア)

[なし]

[基本グラフィックフレーム]

[基本テキストフレーム]

[基本グリッド]

▼ データエリア

▼ データ付箋

▼ データタイトル

▼ データエリア

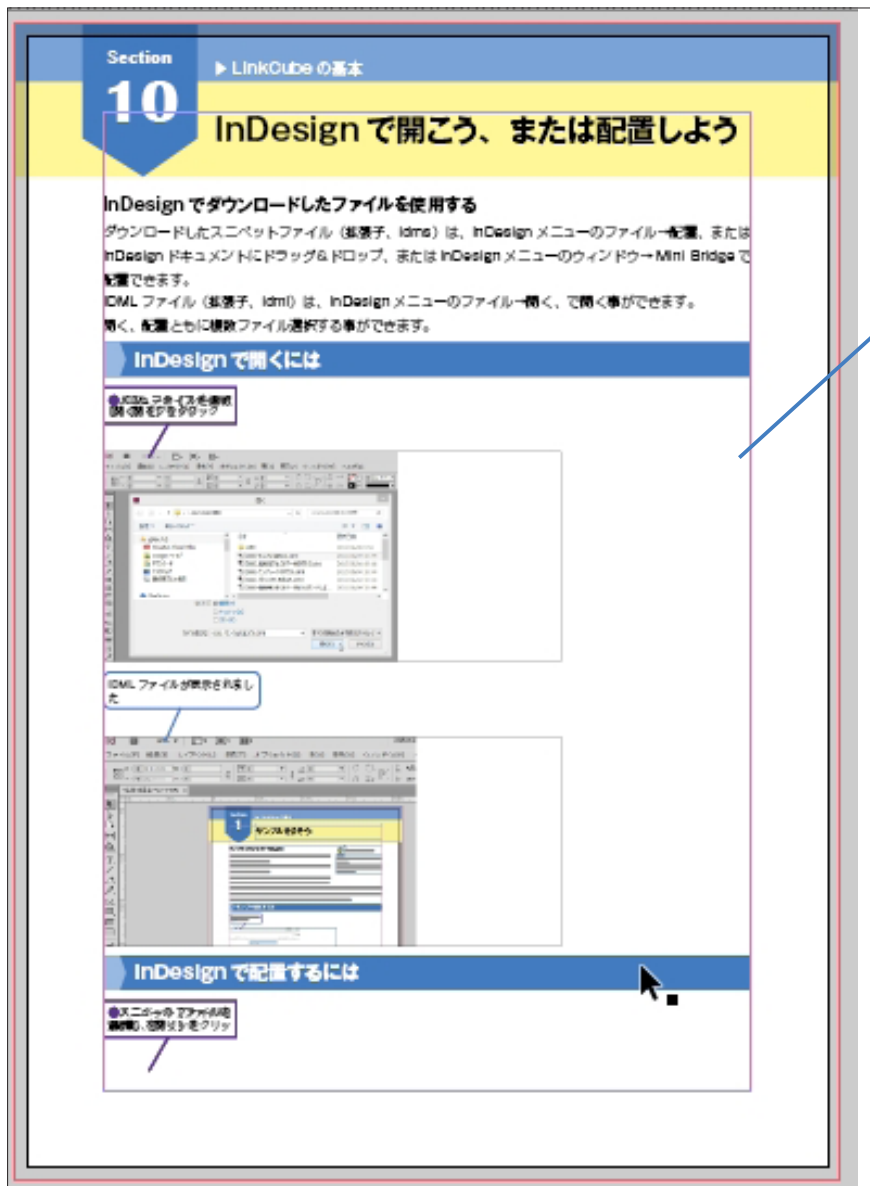
▼ 増減テキスト

▼ データ付箋

▼ データタイトル

▼ 手帳画像

▼ インラインアイコン



同一コマコード行分の文章
が組版されました

複数データ行の途中で、増減テキストレイアウトを変えるには

組版用テキストデータ

① [増減テキストテンプレート] 項目を用意

② 増減テキストで、テンプレート変更したい行に、テンプレートファイル名 (idms) を入力

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
1	コマコード	増減テキストテンプレート	章番号	章見出し	大見出し	中見出し	重要度	用語文字数+2	用語	解説
2	世界のすがた	大見出しテンプレート	1	世界のすがた	1 地球のすがた	① 六大陸と三大洋	1	4	大陸	地球上 オースト <000
3	世界のすがた		1	世界のすがた	1 地球のすがた	① 六大陸と三大洋	1	9	ユーラシア大陸	六大陸 州と東
4	世界のすがた		1	世界のすがた	1 地球のすがた	① 六大陸と三大洋	1	6	南極大陸	六大陸 によって
5	世界のすがた		1	世界のすがた	1 地球のすがた	① 六大陸と三大洋	2	4	陸地	本は、 地球表 <000
6	世界のすがた		1	世界のすがた	1 地球のすがた	① 六大陸と三大洋	4	12	プレートテクトニクス	地球上 たり地 じめに、 クスの考
7	世界のすがた	中見出しテンプレート	1	世界のすがた	1 地球のすがた	② 地図と地球儀	1	5	地球儀	地球の 緯線、 い距離
8	世界のすがた		1	世界のすがた	1 地球のすがた	② 地図と地球儀	4	11	図法 (地図投影法)	球体で ての面

テンプレート

① テキストフレームの文字範囲やオブジェクトに [データ接続/組版データ項目名] を適用

② テキストフレームにオブジェクトスタイル [データエリア/増減テキスト] を適用

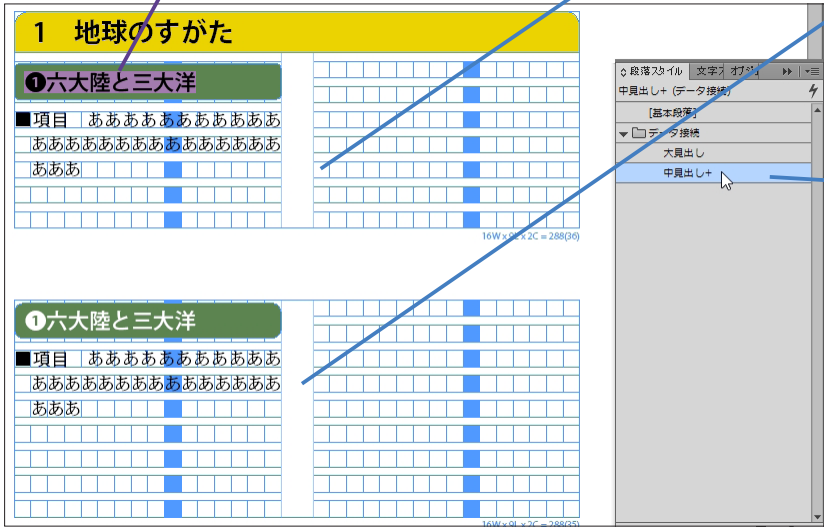


レイアウト変更用増減テキストテンプレート

① テキストフレームの文字範囲やオブジェクトに「データ接続／組版データ項目名」を適用

大見出しテンプレート .idms

中見出しテンプレート .idms



レイアウト変更用のテキストフレームは、「データエリア／増減テキスト」スタイルを適用する必要はありません

組版結果

増減テキストの途中でレイアウトが変更されました



複数データ行をまとめて組版しよう（統合テキスト）

複数データ行から、重複部分を除いて1つのテキストを作る

複数商品を、1つの小組にまとめるチラシなどに利用します。1つの小組にまとめるためには、複数行データの重複部分、内容の前後関係などを考慮する必要がありますが、全て自動で判断し、組版します。

複数データ行を1つとして扱うために、組版データに項目名「コマコード」が必要になります。「コマコード」については、セクション26「複数データ行を表組にしよう（増減行）」をご覧ください。

テンプレートの作成方法は、1つのテキストフレーム内の文字やオブジェクトに、文字・段落・オブジェクトスタイル「データ接続／組版データ項目名」を適用します。詳しくは、セクション15「文字を組版しよう」.17「画像、動画、音声ファイルを配置しよう」.19「スニペットを配置しよう」をご覧ください。

次にオブジェクトスタイル、データエリア／統合テキスト（「データエリア」スタイルグループ内の「統合テキスト」スタイル）をテキストフレームに適用します。

データエリア／統合テキストを適用したテキストフレーム内の文字は、項目データ重複や前後関係を考慮したテキスト内容になります。



複数の統合テキストフレーム

Tips

1つの小組で統合テキストフレームを2つ以上使いたい場合は、それぞれ別の名前にします。例えば、商品説明・統合テキスト、価格・統合テキストなどです。オブジェクトスタイル名は、統合テキストで終わる必要があります。

複数データ行を、統合テキストでまとめて組版するには

組版用テキストデータ

① [コマコード] 項目
を用意

② コマコードに1つにしたい
行分、同じ値を入力

	A	B	C	
1	コマコード	メーカー	メーカーロゴ	商品名
2	A	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/①@メーカー>.jpg	h&s for men<000D>ポリ
3	A	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/①@メーカー>.jpg	h&s for men<000D>ポリ
4	B	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/①@メーカー>.jpg	h&s for men<000D>ポリ
5	B	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/①@メーカー>.jpg	h&s for men<000D>ポリ
6	C	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/①@メーカー>.jpg	プログライインドシルバー
7	D	ユニ・チャーム	/LCサンプル画像/LCちらし/①@メーカー>.jpg	ソフィボディフィット
8	D	ユニ・チャーム	/LCサンプル画像/LCちらし/①@メーカー>.jpg	ソフィボディフィット
9	E	ユニ・チャーム	/LCサンプル画像/LCちらし/①@メーカー>.jpg	ソフィはだおもい
10	F	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/①@メーカー>.jpg	アリエールスピードブラ
11	F	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/①@メーカー>.jpg	アリエールスピードブラ
12	G	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/①@メーカー>.jpg	レノアハピネス
13	G	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/①@メーカー>.jpg	レノアハピネス
14	H	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/①@メーカー>.jpg	ファブリーズ
15	I	ユニ・チャーム	/LCサンプル画像/LCちらし/①@メーカー>.jpg	チャームナップ<000D>爽
16	J	ユニ・チャーム	/LCサンプル画像/LCちらし/①@メーカー>.jpg	ソフィ超熟睡ガード
17	K	ライオン	/LCサンプル画像/LCちらし/①@メーカー>.jpg	トップ<000D>HYGIA(ハ
18	L	ライオン	/LCサンプル画像/LCちらし/①@メーカー>.jpg	香り<000D>デオドラ
19	M	ライオン	/LCサンプル画像/LCちらし/①@メーカー>.jpg	ルック<000D>おふろの
20	M	ライオン	/LCサンプル画像/LCちらし/①@メーカー>.jpg	ルック<000D>おふろの

テンプレート

① テキストフレームの文字範囲やオブジェクトに [データ接続 / 組版データ項目名] を適用

② 選択ツールで、まとめ組版したいテキストフレームを選択

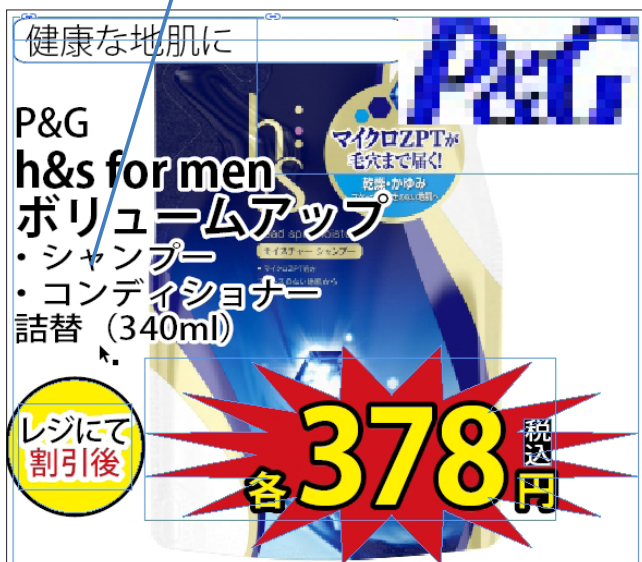


③ オブジェクトスタイルに [データエリア] グループを作成するか、既にある場合は選択

④ オブジェクトスタイル [データエリア] グループ内に [統合テキスト] スタイルを作成

組版結果

同一コマコード行分の統合テキストフレームがまとめ組版されました



小組（コマ）を複数配置した状態で自動組版しよう

小組テンプレートを複数配置したテンプレートや 小組配置後の一部分を自動組版できる

リンクキューブでは、テンプレートと組版結果の区別はありません。組版結果をそのままテンプレートとして自動組版できます。このセクションの説明で、小組と記述されている箇所を、小組テンプレートに置き換えてもよいですし、逆に小組テンプレートを、小組に置き換えてよいです。

小組テンプレートを複数配置したドキュメント (idml) をテンプレートにして、組版データ入稿時にいっきに自動組版したり、チラシなどで複数小組が配置されている商品カテゴリー単位でテンプレートにしたり、完成したドキュメントの価格のみを自動組版したりする事ができます。

配置済みの全組版データを用意する必要はありません。小組が6つ配置されていて、小組2つ分の組版データで自動組版すれば、4つ分の小組はそのままです。

テンプレート上に、複数の小組が配置されているため、複数のオブジェクトを1つ的小組として扱う指定と、組版データを、配置済みのどの小組に流し込むかを指定する必要があります。

複数のオブジェクトを1つ的小組として扱うには、小組単位でグループ化します。1つ的小組に、1つのテキストフレームしかない場合は、グループ化できないので、オブジェクトスタイル、データエリア／コマフレームをテキストフレームに適用します。

組版データを、どの小組に流し込むかを指定するには、組版データ項目名「コマコード」を使用します。「コマコード」については、セクション26「複数データ行を表組にしよう（増減行）」をご覧ください。

小組の段落または文字スタイル、データ接続／コマコードが適用された文字と、組版データ項目名「コマコード」の値が一致した場合、小組を自動組版します。例えば、組版データに「コマコード」の値がAJ-001、BJ-005の2つがあるとします。

テンプレートには、グループ化された小組が3つあり、それぞれの小組内に、文字スタイル、データ接続／コマコードが適用された文字、AJ-001、BJ-005、CJ-007があれば、AJ-001、BJ-005を含む小組2つを自動組版します。CJ-007を含む小組は、そのままです。

コマコードの値を組版したくない場合は、コマコードのみのテキストフレームを作成し、InDesignのプリント属性パネルで「印刷しない」にチェックをいれてください。

複数の配置済みテンプレートを、一度に自動組版できる

複数の配置済みテンプレートを、一度に自動組版したい場合は、組版データ項目名「テンプレート」を用意します。「テンプレート」については、セクション25「データ行毎にテンプレートを変えよう」をご覧ください。

ただし、テンプレート名の入力がない場合の動作が異なります。テンプレート名の入力がない場合は、直前で指定したテンプレートを使用します。



セクション28「複数データ行をまとめ組版しよう（統合テキスト）」の組版結果をテンプレートにすることはできません。統合テキストを使用する場合は、1商品分のテンプレートにしておく必要があります。

小組を複数配置したテンプレートを自動組版するには

組版用テキストデータ

① [コマコード] 項目を用意

メーカー	特長	コマコード	価格	価格バク
Panasonic	(7V型ワイドVGA液晶) (ワンセグチューナー内蔵) (FM-VICS標準対応) (バッテリー内蔵)	CN-SP720VL	XXX	/LOサン
SONY	(3.5インチ液晶)<000D>(Bluetooth対応)<000D>	NW-F805	XXX	/LOサン
Canon	[自動両面印刷(ハガキ非対応)]	PDXUS MG3230	XXX	/LOサン
BUFFALO	(USB2.0)<000D>[<cSize:13Q>16GB]	RUF2-JUF16G-BK	XXX	/LOサン
SHARP	(親機表示:カナ)(子機表示:カナ)<000D>[ワ	LUX-310CL-W	XXX	/LOサン
SHARP	[庫内容量26<000D><AnchoredObj=<oLinkPa	RE-S26F-B	XXX	/LOサン
MITSUBISHI	[5.5合炊]<000D><AnchoredObj=<oLinkPath:省	NJ-E10J1-W	XXX	/LOサン
IZUMI	(2枚刃)<000D>(充電)<000D>(水洗いOK)	IZFV20-S	XXX	/LOサン
KEYYO	(12V/24V対応) (音声録音可能) (静止画撮影可能) (動態検知機能付) (2GB SDカード付属) (バッテリー内蔵)	AN-R007	XXX	/LOサン
LACIE	[<cSize:13Q>2TB]	LCH-MND020U3	XXX	/LOサン

テンプレート

① 段落スタイルまたは文字スタイル、データ接続/コマコードを適用

② 小組単位でグループ化するか、小組が1つのテキストフレームの場合、オブジェクトスタイル [データエリア/コマフレーム] を適用

組版結果

配置済みの小組が自動組版されました

一部分だけ自動組版するには

組版用テキストデータ

① [コマコード] 項目を用意

② 組版したい項目のみ用意

コマコード	価格	価格バクダン	%ポイント進呈	円分ポイント進呈
AQR-361B-S	60,800			
CN-SP720VL	49,800	/LCサンプル画像/LC電機チラシ/バクダン		
NW-F805	16,800	/LCサンプル画像/LC電機チラシ/バクダン		
PIXUS MG3230	5,880	/LCサンプル画像/LC電機チラシ/バクダン		59
RUF2-JUF16G-BK	850	/LCサンプル画像/LC電機チラシ/バクダン	5	43

テンプレート

「小組を複数配置したテンプレートを自動組版するには」の組版結果

組版結果

一部分（価格と価格に関連する部分）だけ自動組版されました



複数の配置済みテンプレートを一度に自動組版するには

組版用テキストデータ

① [テンプレート] 項目を用意

② [コマコード] 項目を用意

テンプレート	コマコード	No	台数マーク	台数	カテゴリー
カテゴリー1.idms	AQR-361B-S	32	無制限大.idms		355ℓ片開き4ドア冷蔵
	CN-SP720VL	39	限り.idms	展示品限り	ポータブルナビゲーシ
	NW-F805	40	限り.idms	在庫限り	ウォークマン Fシリー
	PIXUS MG3230	41	限り.idms	在庫・<000D>展示品限り	プリンタ複合機
	RUF2-JUF16G-BK	42	限り.idms	在庫限り	USBメモリ
カテゴリー2.idms	UX-310CL-W	43	先着.idms		5 デジタルコードレス<00
カテゴリー2.idms	RE-S26F-B	44	限り.idms	在庫・<000D>展示品限り	オープンレンジ
カテゴリー2.idms	NJ-E10J1-W	45	限り.idms	在庫・<000D>展示品限り	沸騰Hジャー炊飯器
カテゴリー2.idms	IzFV20-S	46	無制限.idms		メンズシェーバー

テンプレート



カテゴリー 1.idms

カテゴリー 2.idms

組版結果



複数の配置済みテンプレートが一度に自動組版されました (2ファイル作成)

第 3 章

組版設定の機能

組版設定がなくても自動組版は可能ですが、組版設定を作ると簡単な文字入力でも、複雑な組版が可能になります。設定の種類、方法をマスターしましょう。



LinkCube

組版設定を作ろう

より高度な自動組版ができる

組版設定がなくても自動組版は可能ですが、組版設定を作ると、文字の置換、条件による文字の付加、エクセル表組の罫線設定、索引登録など色々な事ができます。

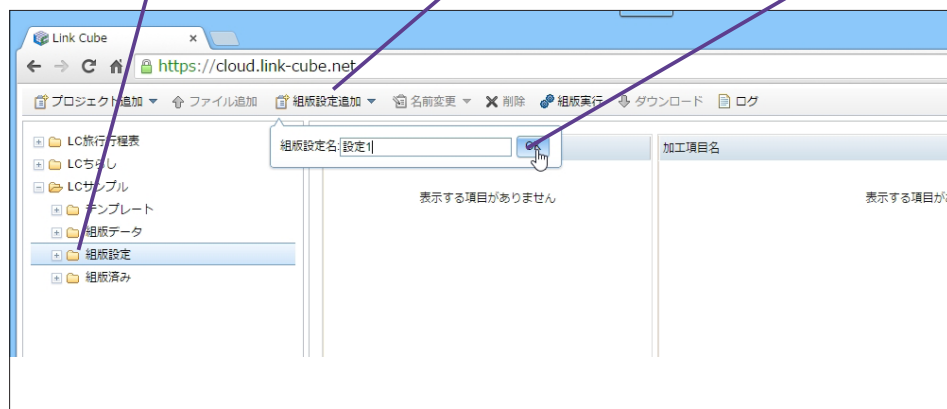
組版設定は複数追加する事ができるので、自動組版時に組版設定を切り替え、印刷用に画像だった部分を、電子書籍用に動画へ変更したり、Mac/Windows 版 InDesign 混在環境で、画像ファイルサーバーのパス切替に使用したり、置換や付加で設定してあるインデザインタグを切り替え、異なるデザインにする事ができます。

組版設定を作るには

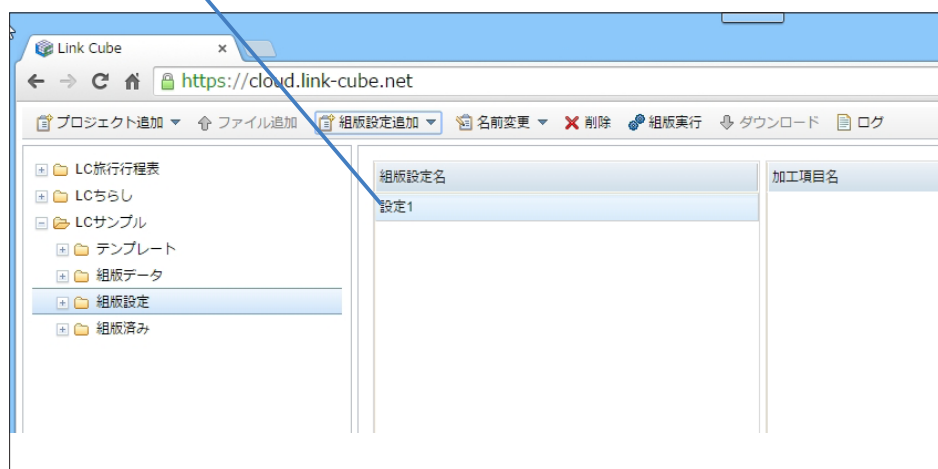
①組版設定フォルダをクリック

②メニューの「組版設定追加」をクリック

③任意の名前を入力し、[OK]をクリック



組版設定が追加され、設定名が表示されました



加工項目を作ろう

加工が必要なデータ項目分だけ作る

1つの組版設定に対して、複数の加工項目を追加できます。組版設定をクリック選択すると、加工項目の追加、複製、編集、削除が行えます。加工したい組版データ項目名を、そのまま加工項目名にします。例えば、組版データ項目名「価格」の値に三桁カンマを挿入したい、とします。その場合、加工項目名は「価格」となります。

組版データ項目名「通常価格」と「特別価格」に三桁カンマを挿入したい、とします。その場合、加工項目名を「通常価格」「特別価格」の2つを追加してもよいのですが、今回は加工内容（三桁カンマを挿入したい）が同じなので、「通常価格|特別価格」という加工項目名にすれば、1つの追加で済みます。「|」は、「または」という意味になります。

その他の加工項目名のルールとして、「* 価格」とすれば、最後が「価格」で終わる項目名に一致します。「*」はワイルドカードです。「* 価格 | 説明 *」のように「|」と同時に使う事もできます。

正規表現で一致させたい場合は、「<>」を使用します。例えば、「特別」で始まる4文字の項目名にマッチさせたい時は、「<^特別 ..>」とします。

ワイルドカードや正規表現を使用した加工項目を複数追加する場合、加工項目の順番に注意してください。使用する加工項目は、上から順に検索します。一致する加工項目名が見つければ、それ以降、検索しません。例えば、1番目に加工項目名「*」があり、2番目に「* 価格」がある場合、「* 価格」の加工内容は処理されません。全ての項目名は、1番目の「*」で一致するためです。

また、エクセルシートやcsv、txt、tsv ファイルを表組配置する項目名で設定すると、表組の全セルに対して処理を行います。

例えば、加工項目名「価格表」として、処理内容を「三桁カンマを挿入する」にした場合、全セル文字の数字に、三桁カンマが挿入されます。（三桁カンマを挿入できると判定した場合）

編集と複数選択

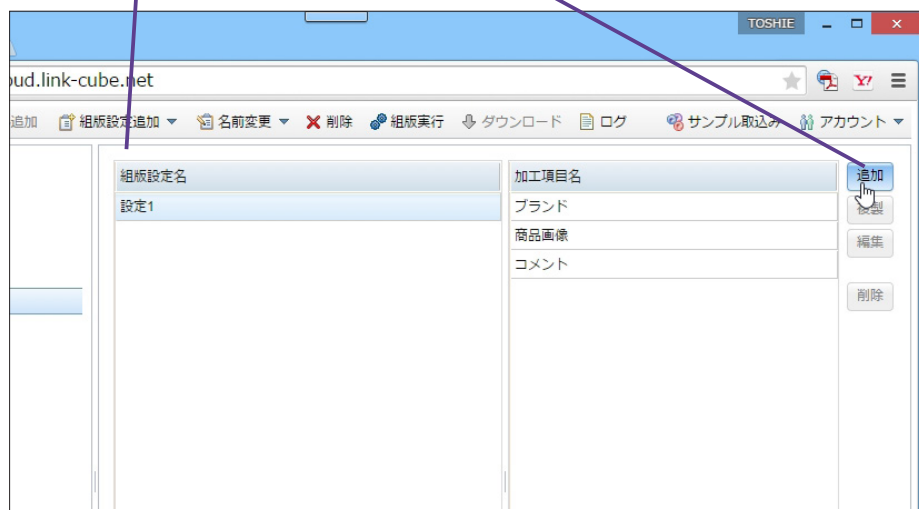
加工項目をダブルクリックしても編集画面が表示されます。

また、加工項目は、(Win) Ctrl キー / (Mac) command キー + クリック、Shift キー + クリックなどで複数選択できます。

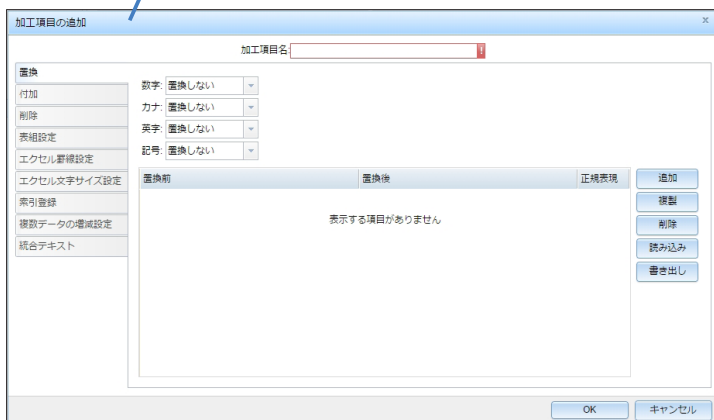
加工項目を追加するには

① 組版設定を選択

② [追加] をクリック

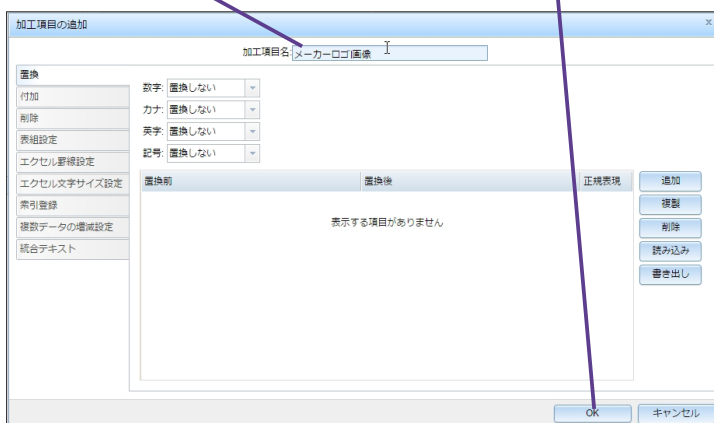


[加工項目の追加] 画面が表示
されました

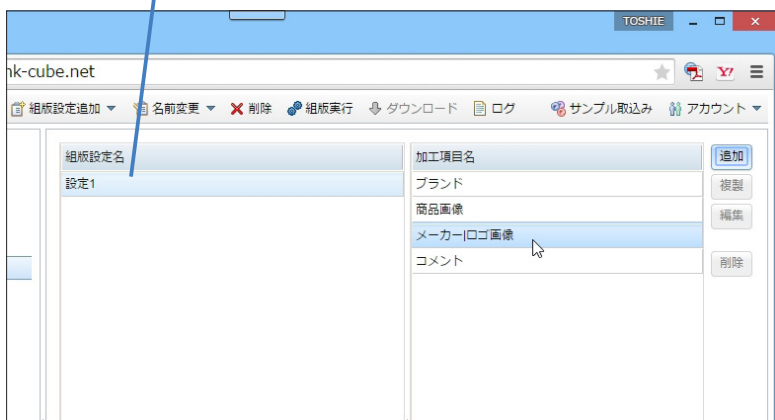


① 加工する項目名を入力

② [OK] をクリック



加工項目が追加されました

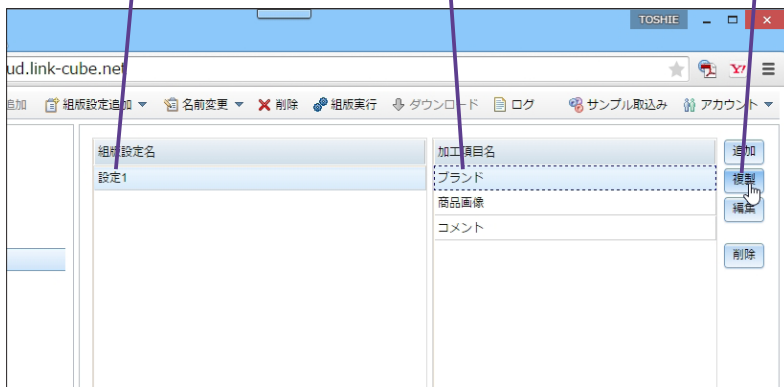


加工項目を複製するには

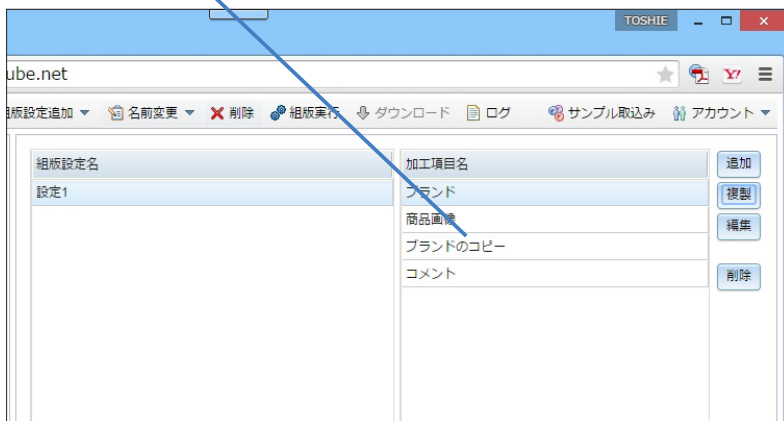
① 組版設定を選択

② 複製元にする加工項目を選択

③ [複製] をクリック



[元の名前のコピー] 加工項目が複製されました

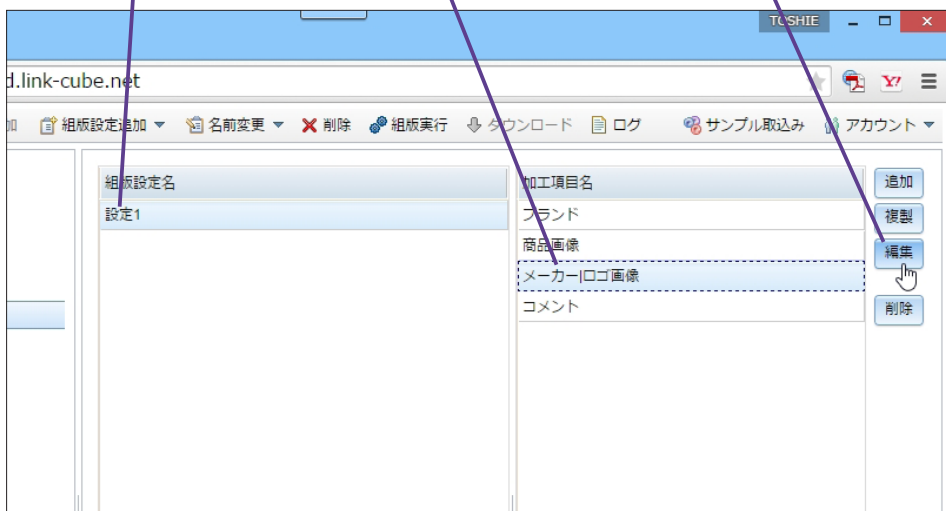


加工項目を編集するには

① 組版設定を選択

② 編集する加工項目を選択

③ [編集] をクリック

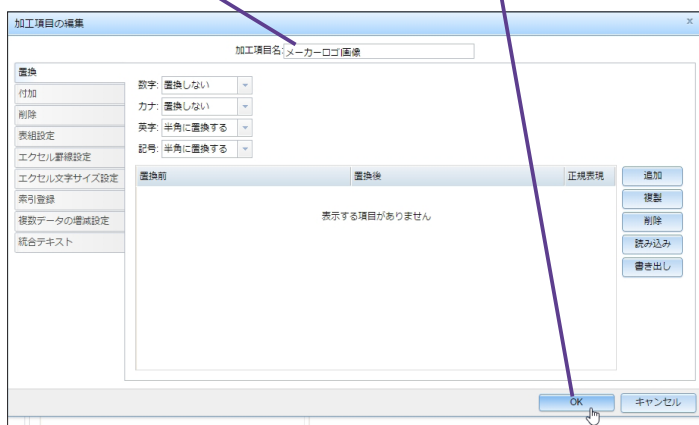


[加工項目の編集] 画面が表示
されました



① 名前や設定を編集

② [OK] をクリック

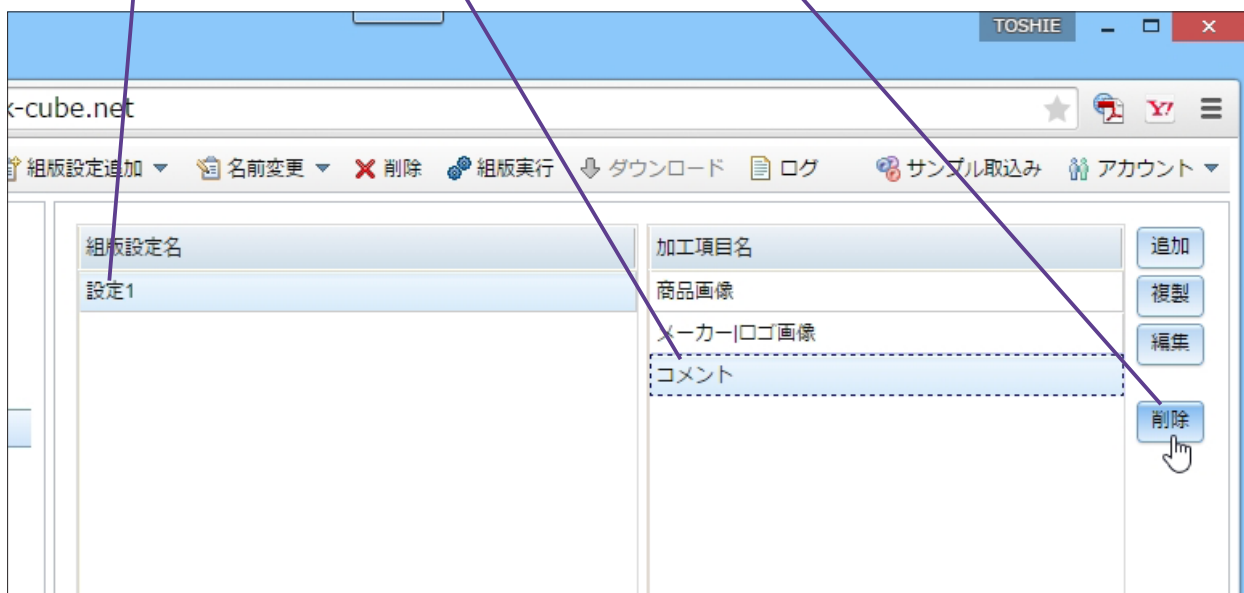


加工項目を削除するには

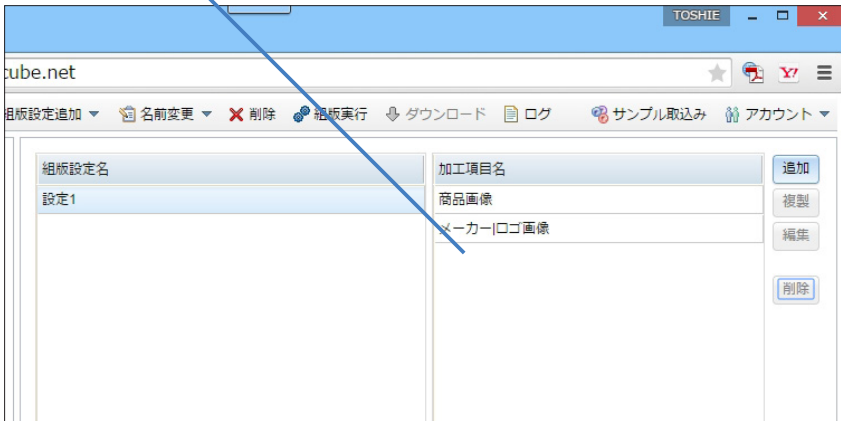
① 組版設定を選択

② 削除する加工項目を
単一、または複数選択

③ [削除] をクリック



加工項目が削除されました

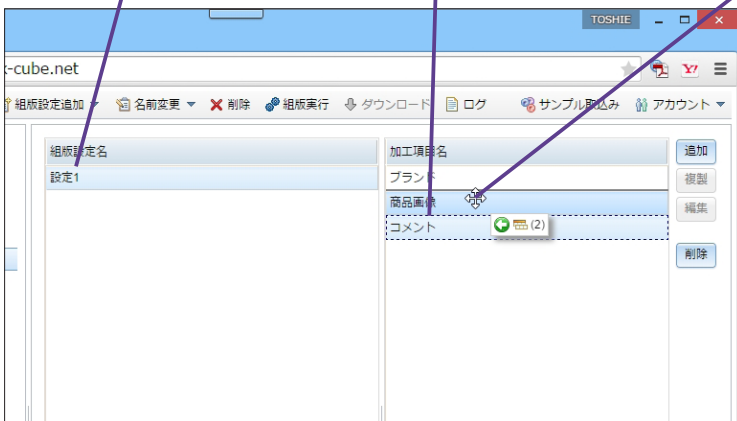


加工項目を並び変えるには

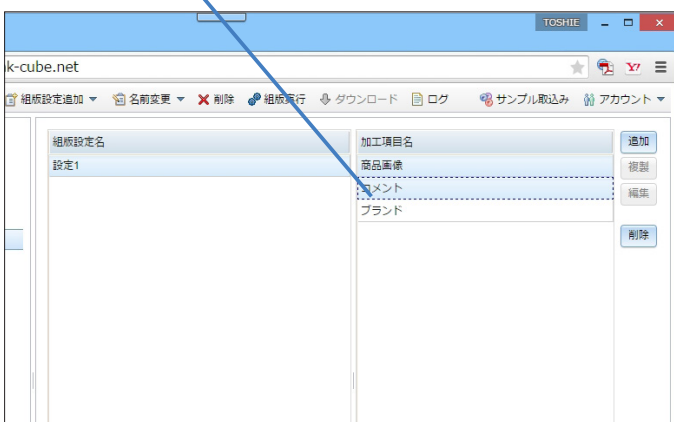
① 組版設定を選択

② 並び替えたい加工項目を単一、または複数選択

③ マウスマウスカーソルが罫線の状態で、ドラッグ&ドロップ



加工項目が並び替えられました



文字を置換しよう

単純置換や正規表現置換で文字を整形する

加工項目の置換設定で、組版データを置換して流し込む事ができます。数字、カナ、英字、記号を半角や全角に統一したり、この文字をこの文字に、といった置換リストを登録できます。

指定文字の置換リストは、上から順番に置換処理します。1番目の置換処理結果を2番目の置換処理に、2番目の置換結果を3番目の…、と続きます。置換処理順で結果が変わる場合があるので、注意してください。また、指定文字の置換リストで、正規表現列にチェックを入れれば、正規表現の置換機能を使用する事ができます。正規表現の置換機能は、ルビや索引登録に利用できます。

例えば、モノルビの場合、組版データを

「リンクキューブはクラウド型 {自動組版:じ どう くみ はん} サービスです」
 （※赤太字の文字は全角で入力）

と入力し、

置換前：`{(.+?) : (.*)?}`

置換後：`<cRuby:1><cRubyString:$2>$1<cRuby:>`

正規表現：チェックを入れる

を置換リストに追加します。組版データに直接インデザインタグを入力する場合、置換リストは不要です。索引登録の例は、セクション40「索引登録をしよう」をご覧ください。

置換リストの読み込みと書き出し

置換リストの読み込みは、csv、txt、tsvファイルに対応しています。文字コードや区切り文字は、セクション2「組版用テキストデータを作ろう」と同様です。ただしテキストデータ1行目の項目名行は、必要ありません。

フォーマットは置換前、置換後、正規表現の順で、正規表現にチェックを入れる場合は、「true」と入力します。

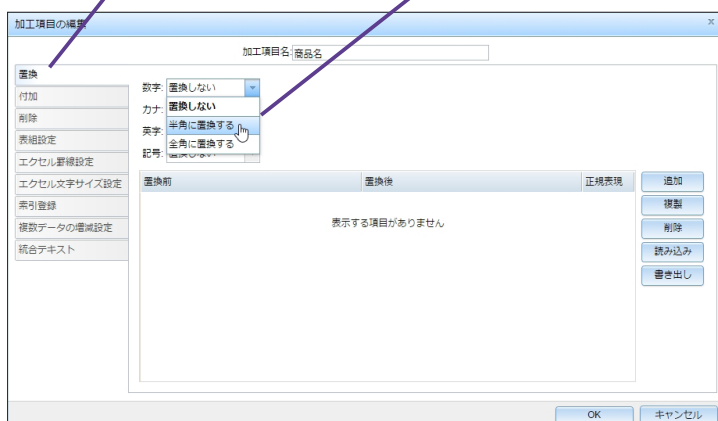
置換リストにファイルをドラッグ&ドロップしても読み込む事ができます。

置換リストの書き出しは、txtファイルで書き出します。ファイル名は、加工項目名-置換リスト.txtとなります。

数字、カタカナ、英字、記号を置換するには

① [置換] をクリック

② [数字:] [カナ:] [英字:] [記号:] からいずれかを選択



置換リストを追加するには

加工項目の編集

加工項目名: コメント

置換

数字: 置換しない

カナ: 置換しない

英字: 置換しない

記号: 置換しない

置換前	置換後	正規表現
		<input type="checkbox"/>

追加
複製
削除
読み込み
書き出し

- 1 [追加] をクリック
- 2 置換前、置換後をダブルクリックし、文字を入力
- 3 正規表現を使用する場合はチェックを入れる

置換リストを複製するには

加工項目の編集

加工項目名: コメント

置換

数字: 置換しない

カナ: 置換しない

英字: 置換しない

記号: 置換しない

置換前	置換後	正規表現
#特売#	<aobj=<=o.LinkPath/_Sample_サンプル特売.jpg><style=特売>>	<input type="checkbox"/>
#特売#	<aobj=<=o.LinkPath/_Sample_サンプル特売.jpg><style=特売>>	<input type="checkbox"/>

追加
複製
削除
読み込み
書き出し

- 1 複製元になる置換行をクリック
- 2 [複製] をクリック

置換リストを編集するには

加工項目の編集

加工項目名: コメント

置換

数字: 置換しない

カナ: 置換しない

英字: 置換しない

記号: 置換しない

置換前	置換後	正規表現
#特売#	<aobj=<=o.LinkPath/_Sample_サンプル特売.jpg><style=特売>>	<input type="checkbox"/>

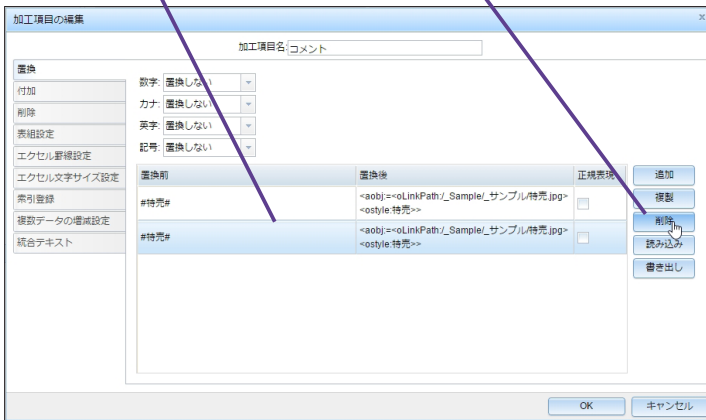
追加
複製
削除
読み込み
書き出し

- 1 置換前、置換後をダブルクリックし、文字を入力
- 2 正規表現を使用する場合はチェックを入れる

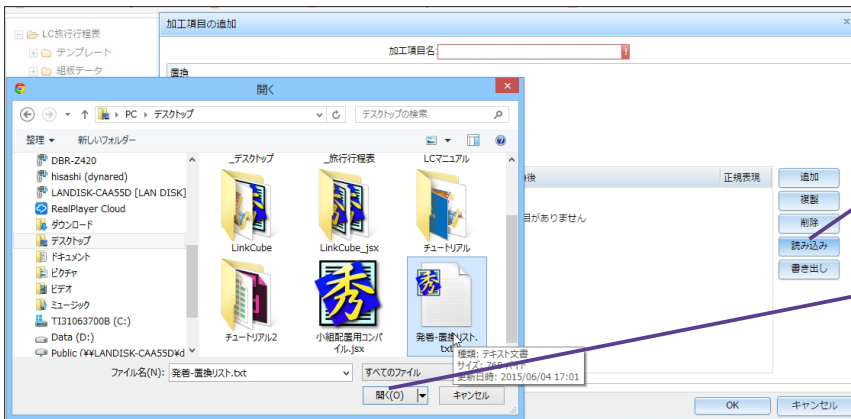
置換リストを削除するには

① 削除する置換リストを単一または複数選択

② [削除]をクリック



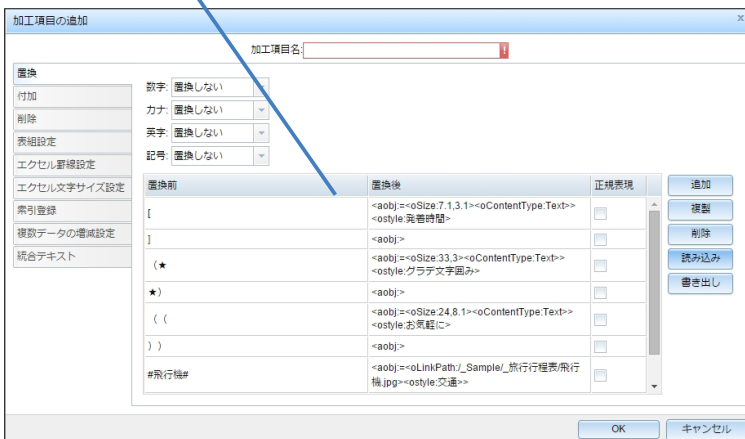
置換リストを読み込むには



① [読み込み]をクリック

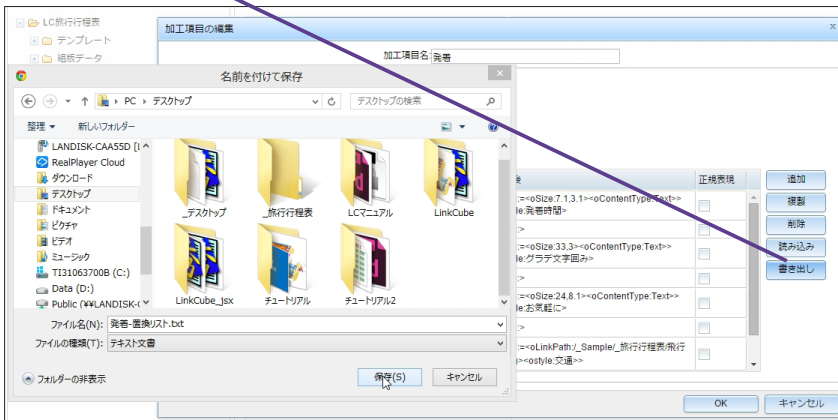
② 読み込みたいファイルを選択し、[開く]をクリック

置換リストが読み込まれました



置換リストを書き出すには

① [書き出し] をクリック



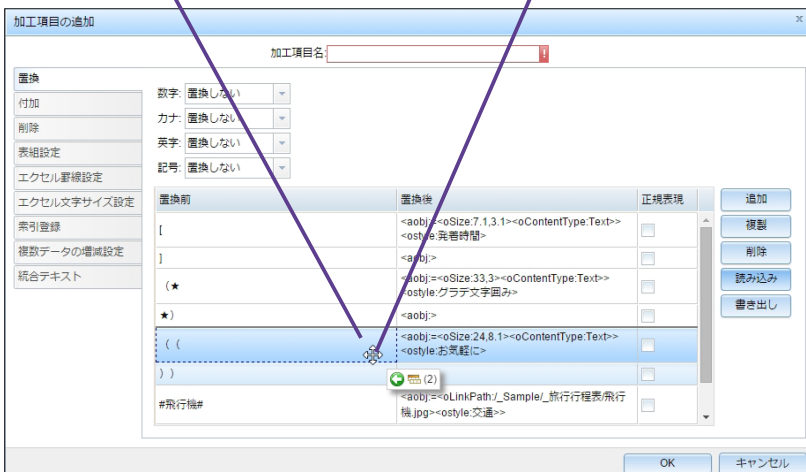
置換リストが書き出されました



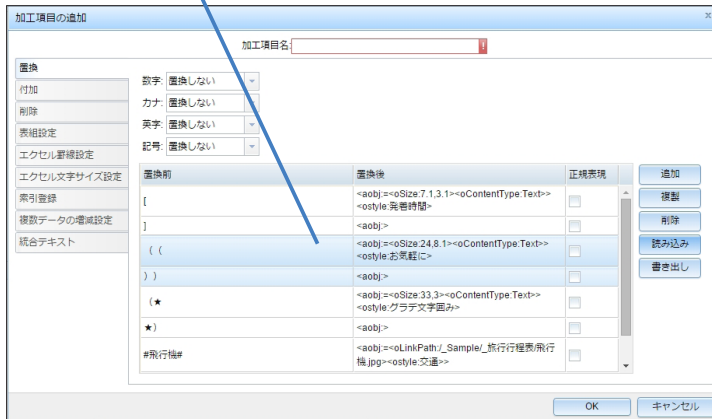
置換リストを並び変えるには

① 並び替えたい置換リストを単一、または複数選択

② マウスカーソルが罫の状態、ドラッグ&ドロップ



置換リストが並び替えられました



文字を付加しよう

単純付加やデータ条件で文字を付加する

加工項目の付加設定で、組版データにない文字を付加して流し込む事ができます。三桁カンマを挿入したり、ファイル名にフォルダパスや拡張子を付加したり、条件が一致した場合、組版データの前後に、指定した文字やインデザインタグを付加できます。

三桁カンマにチェックを入れると、組版データに、三桁カンマを挿入できる数字がある場合、カンマを挿入します。

付加文字リストには、項目名、値、条件、前付加文字、後付加文字を設定できます。

項目名は、組版データの項目名です。入力しない場合、現在設定中の加工項目名となります。

値は、左列の項目名の値です。

条件は、左列の値に対しての条件です。条件として、「で始まる」「で終わる」「と等しい」「と等しくない」「を含む」「条件なし」「正規表現マッチ」があります。

「条件なし」は、組版データに必ず前付加文字、後付加文字を付加します。項目名、値は無視します。

「条件なし」以外は、項目名、値、条件が一致した時、組版データに前付加文字、後付加文字を付加します。

例えば、組版データの項目名「価格区分」データが特別価格だった場合に、「価格」データの文字サイズを24級にしたい、とします。

その場合、加工項目名は「価格」、項目名は「価格区分」、値は「特別価格」、条件は「と等しい」、前付加文字は「<cSize:24Q>」となります。

付加文字リストを複数登録する場合、順番に注意してください。付加文字リストは上から順に検索します。条件が一致すると、それ以降、検索しません。「条件なし」は、必ず一致と扱うので、付加文字リストの一番下に登録してください。

例えば、1番目に「条件なし」があり、2番目に「と等しい」がある場合、組版データが2番目の条件に一致しても、2番目の付加文字は処理されません。全て1番目の「条件なし」で一致するためです。



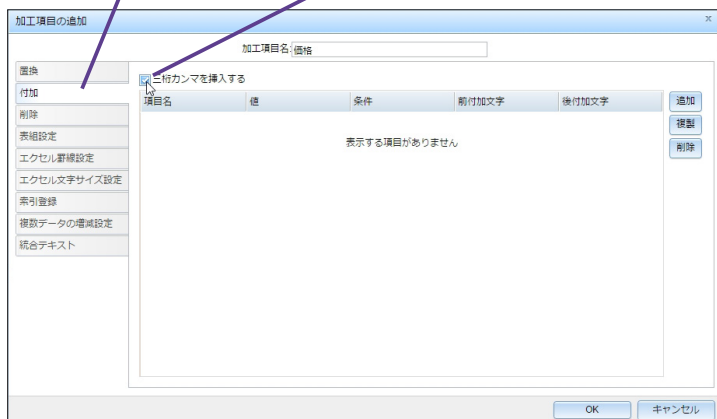
単純な付加文字はデータ付属

単純な文字を付加したい場合、例えば価格に「円」を付けるなどは、データ付属機能を使用し、テンプレートに「円」組版したほうがいいでしょう。(表組データの全セルに「円」を付ける場合は除く) この機能で付加する文字は、インデザインタグ、フォルダパスや拡張子、表組データのセル文字に対してなどが多くなるでしょう。

三桁カンマを挿入するには

① [付加] をクリック

② [三桁カンマを挿入する] にチェックを入れる



付加文字リストを追加するには

① [追加] をクリック

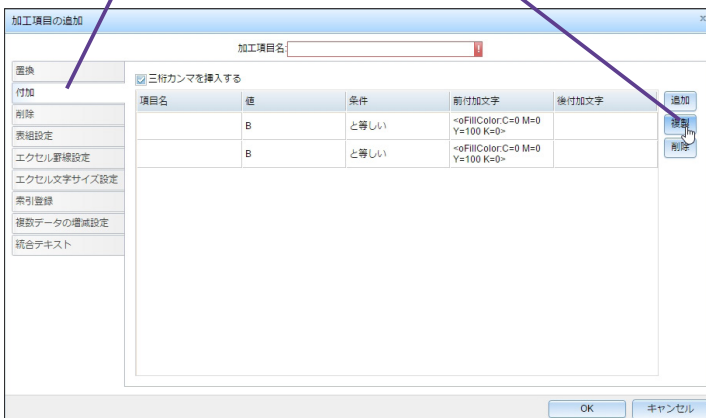
② 項目名、値、条件、前付加文字、後付加文字をダブルクリックし、文字を入力



付加文字リストを複製するには

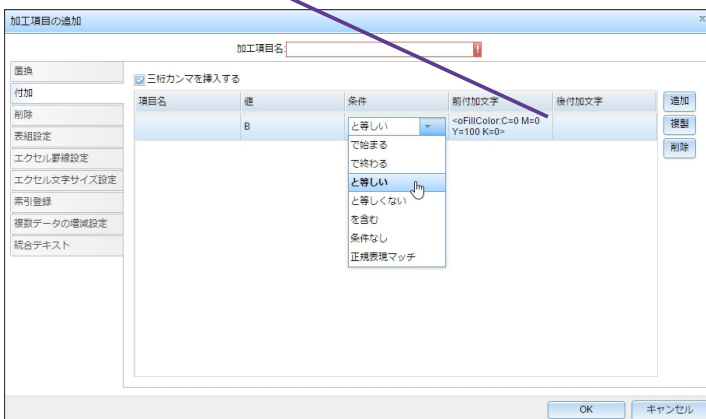
① 複製元になる付加文字行を単一選択

② [複製] をクリック



付加文字リストを編集するには

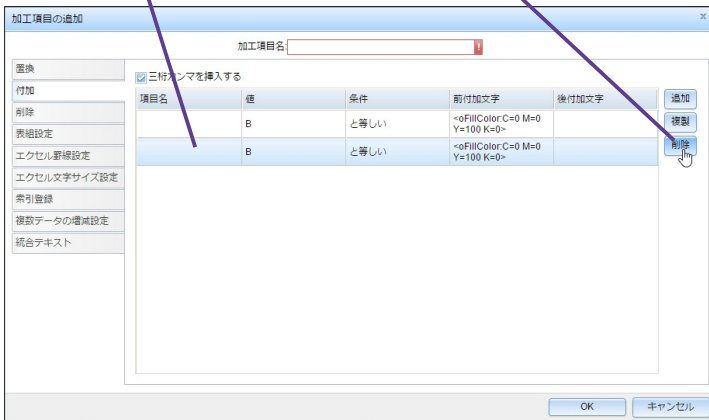
① 項目名、値、条件、前付加文字、後付加文字をダブルクリックし、文字を入力



付加文字リストを削除するには


① 削除する付加文字リストを単一または複数選択

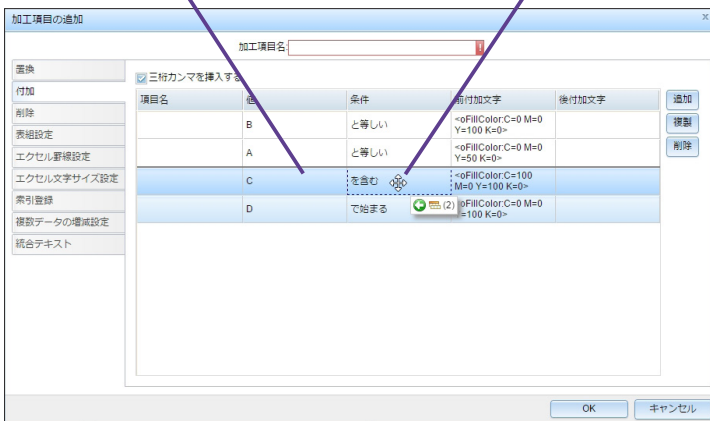
② [削除] をクリック



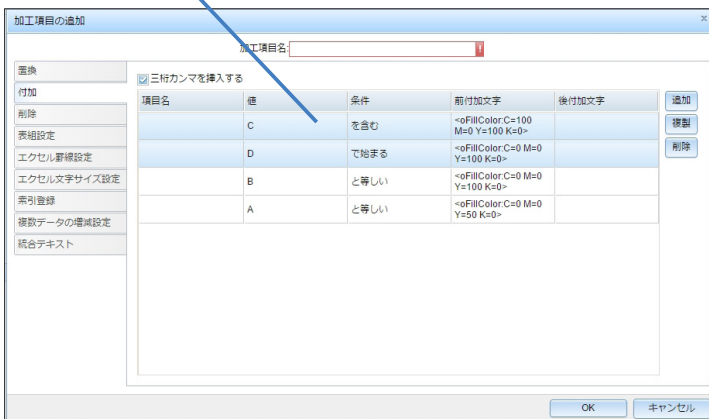
付加文字リストを並び変えるには

① 並び替えたい付加文字リストを単一、または複数選択

② マウスカursorがの状態、ドラッグ&ドロップ



付加文字リストが並び替えられました



項目データが空の時、画像フレームを削除しよう

設定で画像フレームを削除する

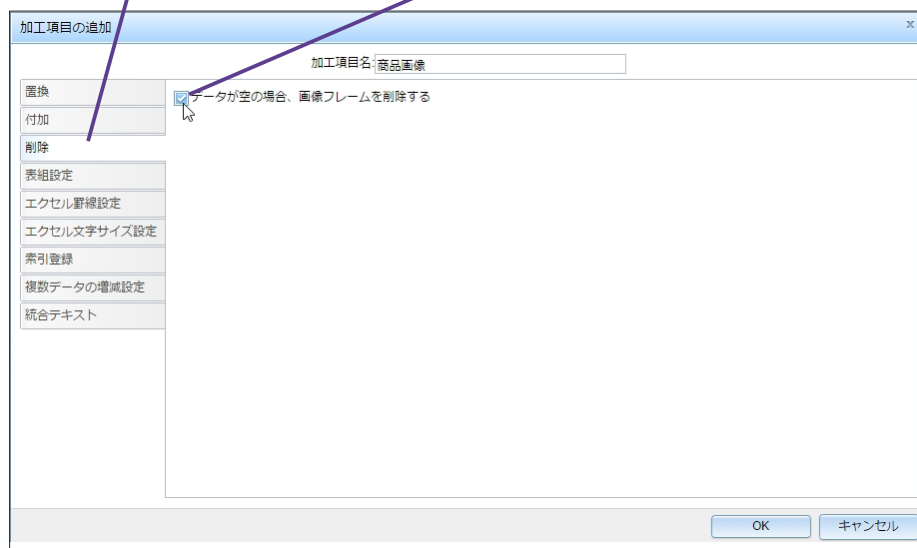
加工項目の削除設定で、データが空の場合、画像フレームを削除する事ができます。

「データが空の場合、画像フレームを削除する」にチェックを入れると、画像フレームを削除します。同様の事は、セクション 22 「項目データが空の時、関連する文字やオブジェクトを削除しよう」でも可能ですが、画像フレーム項目が多い場合、オブジェクトスタイル「データ付属／項目名」で行うより、加工設定名にワイルドカードを使用すると、簡単な場合があります。

データが空の時、画像フレームを削除するには

① [削除] をクリック

② [データが空の場合、画像フレームを削除する] にチェックを入れる



表組の設定をしよう

表の幅や組版領域を変更する

加工項目の表組設定で、表の幅やエクセルシート配置時の領域を設定することができます。

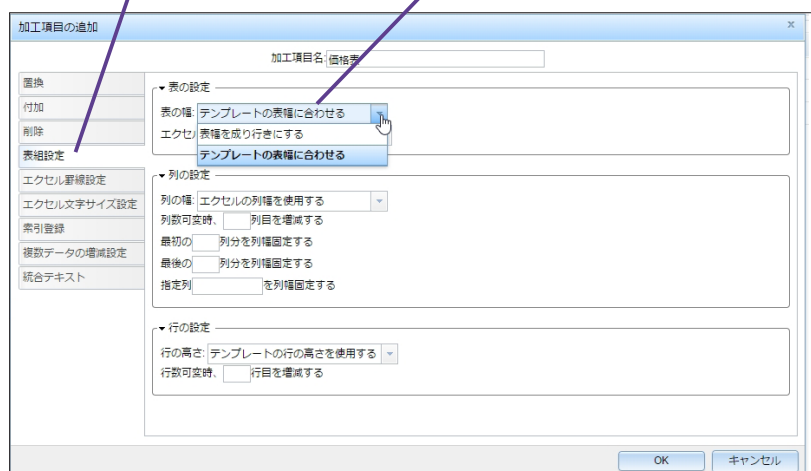
表の幅は、「表幅を成り行きにする」「テンプレートの表幅に合わせる」を選択できます。表幅を「テンプレートの表幅に合わせる」とした場合、テンプレートの列数と表組データの列数が異なっていても、常にテンプレートの表幅に合わせて組版します。「表幅を成り行きにする」とした場合、表組データの列数に応じて、表の幅が変化します。

エクセル組版領域は、「自動」「印刷領域」を選択できます。「自動」は、セルに値が入力されているか、罫線があるセル範囲を組版します。「印刷領域」は、エクセルシートに設定してある印刷領域を組版します。

表の幅を設定するには

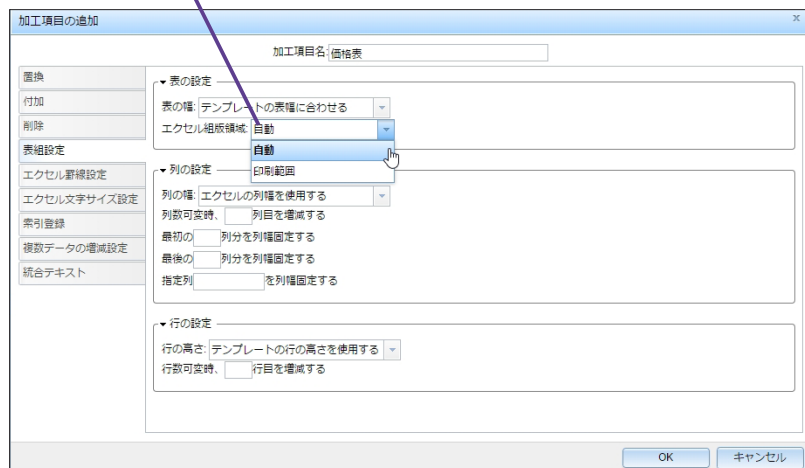
① [表組設定] をクリック

② [表の幅] を選択



エクセルシートの組版領域を設定するには

① [エクセル組版領域] で自動、または印刷領域を選択



表組の列設定をしよう

列幅の詳細設定をする

加工項目の表組設定で、列幅を設定することができます。列幅は、「エクセルの列幅を使用する」「テンプレートの列幅を使用する」を選択できます。

「エクセルの列幅を使用する」とした場合、エクセル列幅の近似値です。前セクション、表の幅が「テンプレートの表幅に合わせる」となっていれば、近似値計算後の表幅に対する割合になります。表組データがcsv、txt、tsv ファイルの場合は、テンプレートの列幅を使用します。

「テンプレートの列幅を使用する」とした場合、InDesign テンプレートの列幅を使用します。テンプレート列数と表組データ列数が異なる場合は、「列数可変時、列目を増減する」で指定した列を増減します。未入力の場合は、最終列を増減します。

前セクション、表の幅が「テンプレートの表幅に合わせる」の場合、テンプレート列数と表組データ列数が異なると、各列幅は割合となりますが、列番号を指定して元の列幅を維持する事ができます。「最初の列分を列幅固定する」「最後の列分を列幅固定する」「指定列を列幅固定する」で設定します。

指定列は、カンマ区切りで入力します。1,3 と入力すると、1 列目と 3 列目が、元の列幅を維持します。



表組データで列幅を指定

Tips

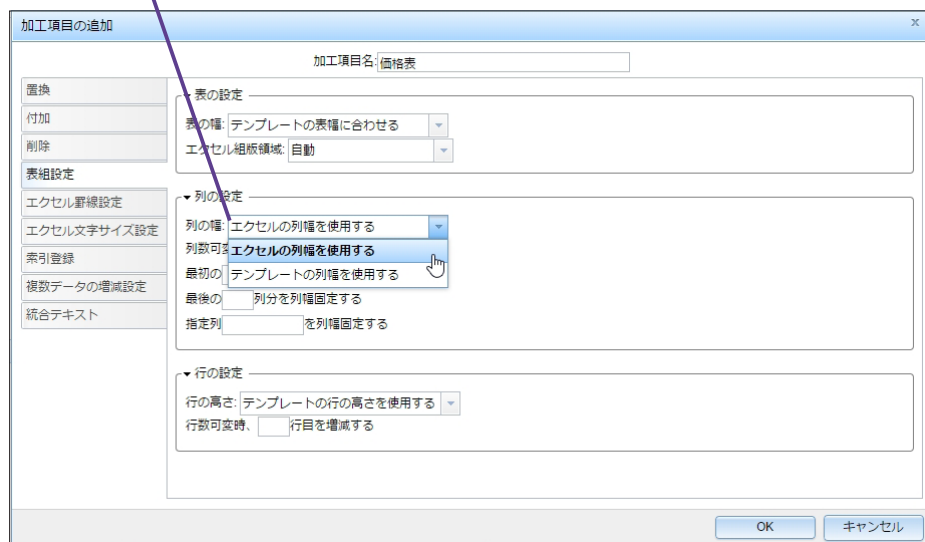
セル文字内に、インデザインタグで列幅を指定する事もできます。

例えば、冗長タグで列幅 80mm にする場合、

```
<tColAttrWidth:80mm> セル文字と入力します。
```

列幅を設定するには

① [列の幅] を選択



テンプレートで増減する列を指定するには

- 1 [列数可変時、列目を増減する]で増減する列番号を入力

The screenshot shows the '加工項目の追加' (Add Processing Item) dialog box. The title bar includes '加工項目名' and '価格表'. On the left, there is a sidebar with options: 置換, 付加, 削除, 表組設定, エクセル罫線設定, エクセル文字サイズ設定, 索引登録, 複数データの増減設定, and 統合テキスト. The main area is divided into three sections: '▼ 表の設定' (Table Settings), '▼ 列の設定' (Column Settings), and '▼ 行の設定' (Row Settings). In the '列の設定' section, the '列の種' (Column Type) is set to 'テンプレートの列幅を使用する' (Use template column width). Below it, '列数可変時、列目を増減する' (When column count is variable, columns to increase/decrease) is checked. The '最初の 1 列分を列幅固定する' (Fix column width for the first 1 column) and '最後の 1 列分を列幅固定する' (Fix column width for the last 1 column) options are present, with the '1' in the first one being highlighted by a purple box and an arrow pointing to the instruction above. The '指定列' (Specify column) field is empty. The '行の設定' section has '行の高さ' (Row height) set to 'テンプレートの行の高さを使用する' (Use template row height) and '行数可変時、行目を増減する' (When row count is variable, rows to increase/decrease) is unchecked. 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons are at the bottom right.

列幅を固定するには

- 1 [最初の列分を列幅固定する]
[最後の列分を列幅固定する]
[指定列を列幅固定する] などを入力

This screenshot is similar to the previous one but shows the '列の設定' (Column Settings) section with different values. The '列の種' (Column Type) is still 'テンプレートの列幅を使用する'. The '列数可変時、列目を増減する' (When column count is variable, columns to increase/decrease) is now unchecked. The '最初の 1 列分を列幅固定する' (Fix column width for the first 1 column) option is checked, and the '1' is highlighted by a purple box and an arrow pointing to the instruction above. The '最後の 1 列分を列幅固定する' (Fix column width for the last 1 column) option is also checked. The '指定列' (Specify column) field now contains the number '3', which is also highlighted by a purple box and an arrow pointing to the instruction above. The '行の設定' (Row Settings) section remains the same as in the previous screenshot. 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons are at the bottom right.

表組の行設定をしよう

行の高さの詳細設定をする

加工項目の表組設定で、行の高さを設定することができます。行の高さは、「エクセルの行の高さを使用する」「テンプレートの行の高さを使用する」を選択できます。

「エクセルの行の高さを使用する」とした場合、エクセルの「セルの書式設定、配置タブ、折り返して全体を表示する」にチェックが入っていると、InDesign で行の高さは「最小限度」になります。「折り返して全体を表示する」チェックがない場合は、InDesign で行の高さは「指定値を使用」になり、値はエクセル行の高さの近似値です。表組データが csv、txt、tsv ファイルの場合は、テンプレートの行の高さを使用します。

「テンプレートの行の高さを使用する」とした場合、InDesign テンプレートの行の高さを使用します。テンプレート行数と表組データ行数が異なる場合は、「行数可変時、行目を増減する」で指定した行を増減します。未入力の場合は、最終行を増減します。



表組データで行の高さを指定

セル文字内に、インデザインタグで行の高さを指定する事もできます。

例えば、冗長タグで最小限度値 2mm、最大限度 20mm にする場合、

```
<tRowAutoGrow:1><tRowAttrMinRowSize:2mm><tRowAttrMaxRowSize:20mm> セル文字
```

と入力します。

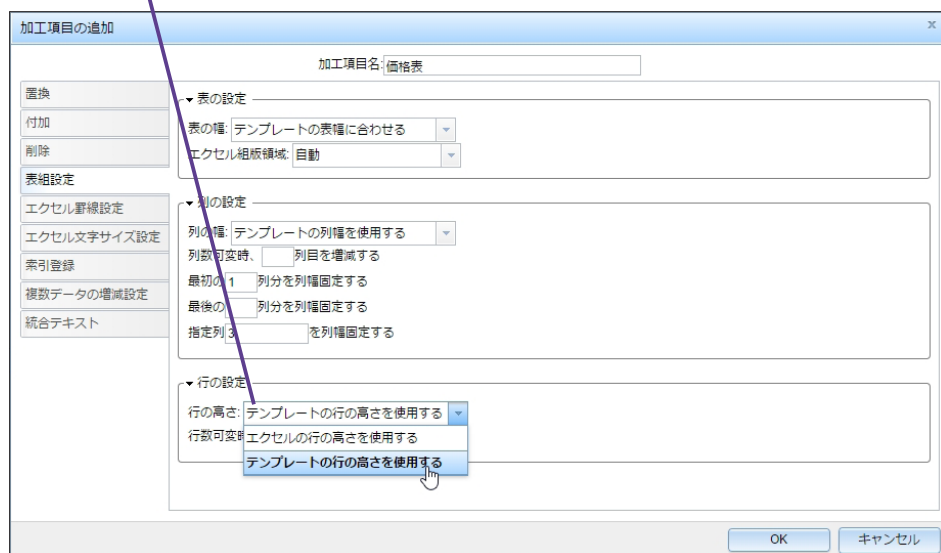
指定値を使用し、行の高さを 10mm にする場合、

```
<tRowAutoGrow:0><tRowAttrHeight:10mm> セル文字
```

と入力します。

行の高さを設定するには

- 1 「行の高さ」を選択



テンプレートで増減する行を指定するには

① [行数可変時、行目を増減する]
で増減する行番号を入力

加工項目の追加

加工項目名: 価格表

置換
付加
削除

表組設定

エクセル罫線設定
エクセル文字サイズ設定
索引登録
複数データの増減設定
統合テキスト

▼ 表の設定

表の種: テンプレートの表幅に合わせる

エクセル組版領域: 自動

▼ 列の設定

列の種: テンプレートの列幅を使用する

列数可変時、 列目を増減する

最初の 1 列分を列幅固定する

最後の 3 列分を列幅固定する

指定列 3 を列幅固定する

▼ 行の設定

行の高さ: テンプレートの行の高さを使用する

行数可変時、 行目を増減する

指定行 3

OK キャンセル

エクセル罫線の変換設定をしよう

エクセル罫線を、指定した InDesign 罫線に変換できる

加工項目のエクセル罫線設定で、エクセルの各罫線を、InDesign の線種、線幅、スウォッチ名を指定して変換することができます。インデザイン線種は、18種類から選択します。インデザイン線幅は mm 単位で入力します。スウォッチ名は、必須ではありません。入力しなければ、RGB 色から CMYK に変換したスウォッチを適用します。スウォッチ名を入力した罫線は、入力したスウォッチを適用します。



インデザインタグでセル罫線

セル文字内に、インデザインタグで罫線を指定することもできます。例えば、冗長タグで上の罫線色を指定する場合、
<tCellTopStrokeColor:C=100 M=0 Y=0 K=0> セル文字
と入力します。

エクセル罫線を変換するには

① [エクセル罫線設定] をクリック

② 各エクセル罫線に対して [インデザイン線種] を選択

③ [インデザイン線幅 (mm)]、必要なら [インデザインスウォッチ名] を入力

加工項目の追加

加工項目名: 価格表

エクセル罫線	インデザイン線種	インデザイン線幅(mm)	インデザインスウォッチ名
なし	ベタ	0	
.....	点線 (3 & 2)	0.25	
-----	点線 (4 & 4)	0.25	
-----	点線 (4 & 4)	0.25	
-----	点線 (4 & 4)	0.25	
-----	点線 (3 & 2)	0.25	
-----	ベタ	0.25	
-----	点線 (4 & 4)	0.5	
-----	点線 (4 & 4)	0.5	
-----	点線 (4 & 4)	0.5	
-----	点線 (4 & 4)	0.5	
-----	ベタ	0.5	C=100 M=0 Y=0 K=0
-----	ベタ	0.75	
=====	二重線	0.1	

OK キャンセル

エクセル文字サイズの変換設定をしよう

エクセル文字サイズを、指定文字サイズに変換できる

加工項目のエクセル文字サイズ設定で、エクセルの文字サイズをインデザインの文字サイズに変換する事ができます。エクセルの文字サイズは、範囲で指定する事もできます。インデザイン文字サイズは単位を付けて指定できます。単位がない場合は、ポイントになります。

例えば、エクセルの文字サイズ 8 ~ 12 を、インデザインの文字サイズ 10 級にする場合は、エクセル文字サイズの入力は「8-12」、インデザイン文字サイズの入力は「10Q」とします。

この変換設定を使用せず、セクション 23「表組を組版しよう（エクセルファイル）」のテンプレート文字スタイルで変換する事も可能ですが、多くの文字サイズがあると、文字スタイルも多くなります。この変換設定で統一できる文字サイズがある場合には、テンプレート作成の作業効率が上がります。

💡 エクセル文字サイズ変換方法は3つ

1つめは、文字スタイルで設定する方法です。

2つめは、この設定です。

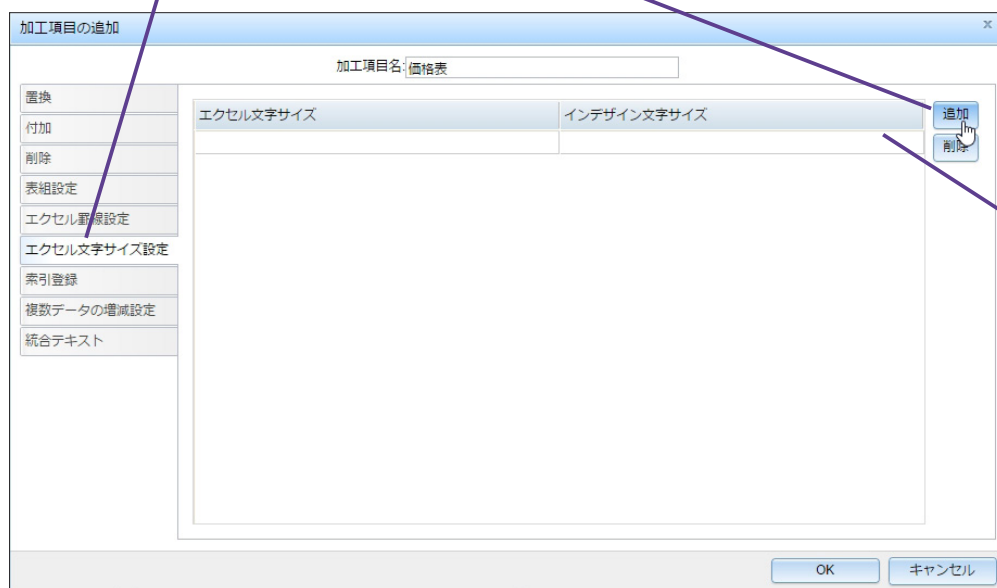
3つめは、インデザインタグです。

例：<cSize:8Q>

エクセル文字サイズ変換を追加するには

① [エクセル文字サイズ設定] をクリック

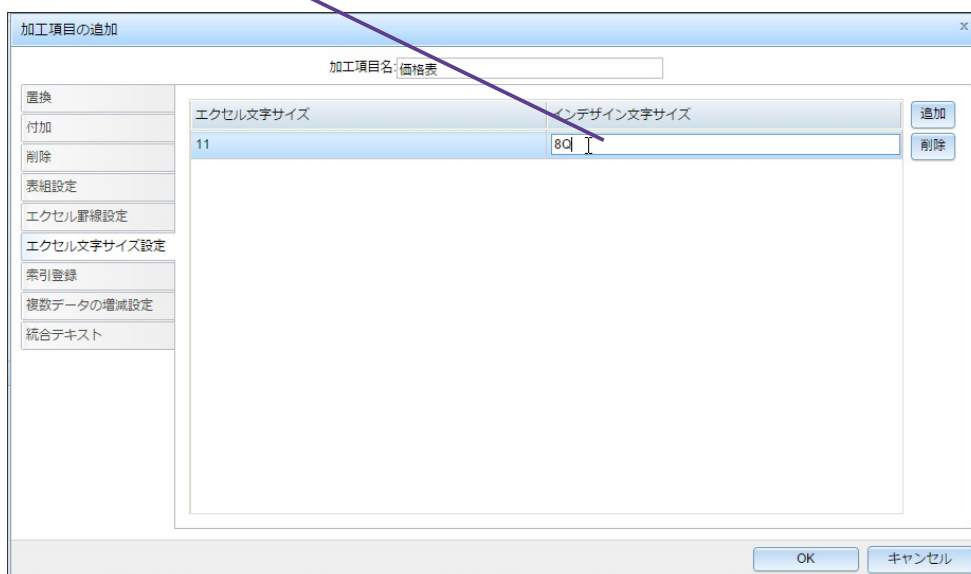
② [追加] をクリック



③ [エクセル文字サイズ] [インデザイン文字サイズ] をダブルクリックし入力

エクセル文字サイズ変換を編集するには

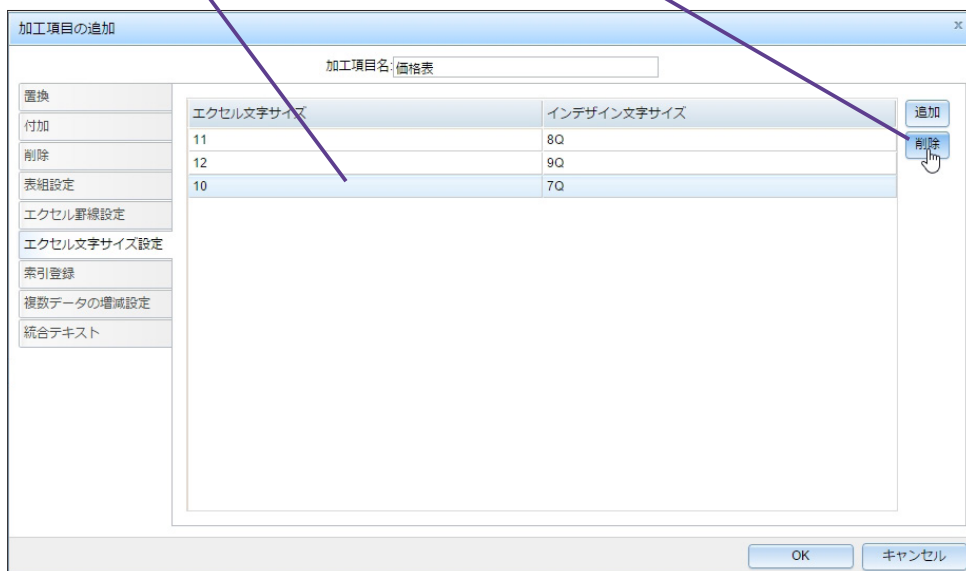
- 1 [エクセル文字サイズ] [インデザイン文字サイズ] をダブルクリックし入力



エクセル文字サイズ変換を削除するには

- 1 エクセル文字サイズ変換リストを単一または複数選択

- 2 [削除] をクリック



索引登録をしよう

索引の項目名や読みを登録できる

加工項目の索引登録設定で、索引を登録できます。索引項目を作成するにチェックを入れれば、現在設定中の加工項目名データ値が、索引として登録されます。索引の登録位置は、流し込む文字の先頭です。

索引項目名は、現在設定中の加工項目名以外に、索引として登録したい組版データ項目名がある場合に、入力します。

読み項目名は、索引読みとして登録したい組版データ項目名がある場合に、入力します。(読みがない場合、InDesign は索引項目でソートします)

索引登録は、この設定を使用せず、インデザインタグで登録する事もできます。

例えば、マニュアルなど文章の途中で、索引登録部分がある場合は、「リンクキューブはクラウド型 **自動組版 #じどうくみはん** サービスです」

と入力し、 (※赤太字の文字は全角で入力)

セクション 32「文字を置換しよう」置換リストで、

置換前：**{(.+?) # (.*)}**

置換後：`<IndexEntry:=<IndexEntryType:IndexPageEntry><IndexEntryRangeType:kCurrentPage><IndexEntryDisplayString:$1><IndexEntrySortString:$2>>$1`

正規表現：チェックを入れる

とすれば、「索引項目：自動組版、読み：じどうくみはん」として InDesign の索引パネルに登録されます。

組版データに直接インデザインタグを入力する場合、置換リストは不要です。



インデザインタグで索引登録 Tips

冗長タグ形式では

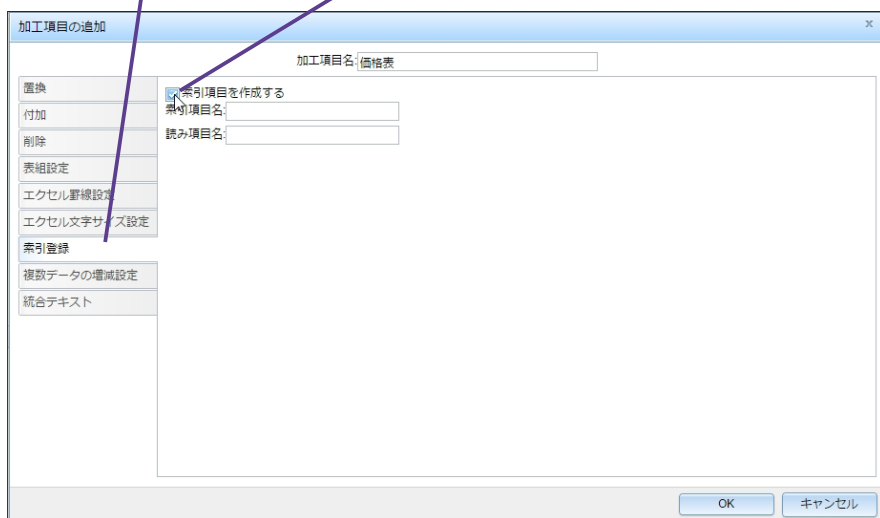
```
<IndexEntry:=<IndexEntryType:IndexPageEntry><IndexEntryRangeType:kCurrentPage><IndexEntryDisplayString: 索引項目><IndexEntrySortString: 索引読み>>
```

と入力します。

索引を作成するには

① [索引登録] をクリック

② [索引項目を作成する] にチェックを入れる



索引項目名を設定するには

- 1 [索引項目名] に組版データ項目名を入力

The screenshot shows a dialog box titled '加工項目の追加' (Add Processing Item). At the top, there is a text input field labeled '加工項目名' (Processing Item Name) containing the text '価格表' (Price Table). Below this, there is a list of processing items on the left and a list of items to be processed on the right. The '索引項目名' (Index Item Name) field is highlighted with a red box and a red arrow pointing to it from the instruction above. The '索引項目名' field contains the text '価格表'. The '読み項目名' (Read Item Name) field is empty. The dialog box has 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons at the bottom right.

索引読み項目名を設定するには

- 1 [読み項目名] に組版データ項目名を入力

The screenshot shows the same dialog box '加工項目の追加'. The '加工項目名' field still contains '価格表'. The '索引項目名' field now contains '著者' (Author). The '読み項目名' (Read Item Name) field is highlighted with a red box and a red arrow pointing to it from the instruction above. The '読み項目名' field contains the text '著者読み' (Author Read). The dialog box has 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons at the bottom right.

複数行データのまとめ設定をしよう

複数行データのレイアウトを変える

加工項目の複数データの増減設定で、画像フレームを増減させたり、セクション 26「複数データ行を表組にしよう（増減行）」の表組セルを、次の行と結合する事ができます。この設定は「コマコード」を使用した組版に影響します。「コマコード」については、セクション 26「複数データ行を表組にしよう（増減行）」をご覧ください。

「画像フレームを増減する」にチェックを入れると、画像フレームの数が、同一コマコード行数と同じになります。例えば、テンプレートに、オブジェクトスタイル「データ接続／商品画像」が適用されているフレームが1つあるとします。

加工項目名：商品画像の設定で、「画像フレームを増減する」にチェックを入れます。

同じコマコードのデータ3行を組版すると、商品画像フレームを増やして3つにします。テンプレートに商品画像フレームが3つあり、同じコマコードのデータが1行だと、商品画像フレームを減らして1つにします。「データ値が同じ場合、次行のセルと結合する」にチェックを入れると、「複数データ行を表組にしよう（増減行）」で作成した表組のセル結合を行います。セル結合の条件は、同じ値が入力されている場合です。例えば、1つのセルに、「発送数」「発送単位」の2項目データを流し込んでいる場合、次行セルと、2項目データ値が同じで、「発送数」「発送単位」加工項目に「データ値が同じ場合、次行のセルと結合する」にチェックが入っていれば、結合します。

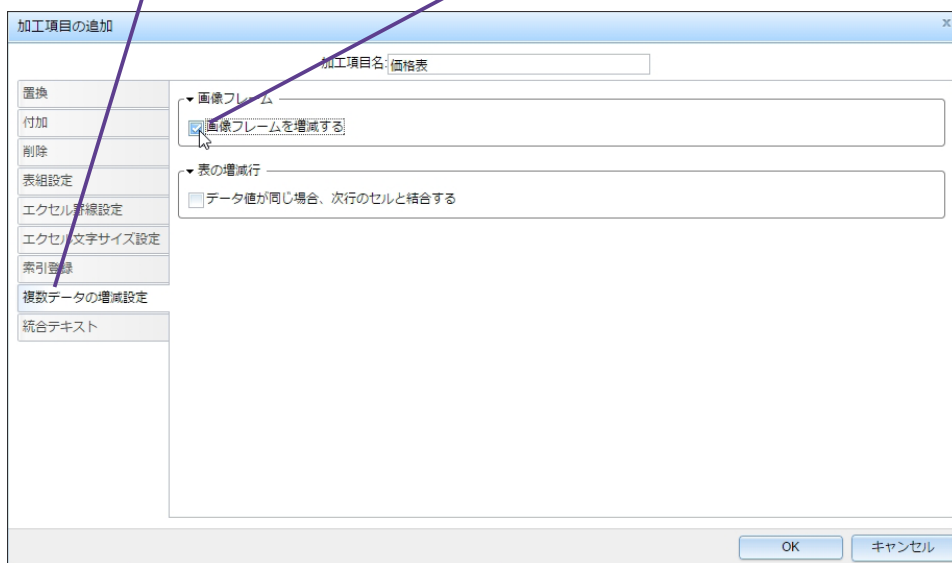
 **最後の画像フレームが増減する**

Tips
増減する画像フレームは、左上の位置が、左→右→下の順でソートした最後のフレームになります。増える場合、右下方向に重ねます。

画像フレームを増減させるには

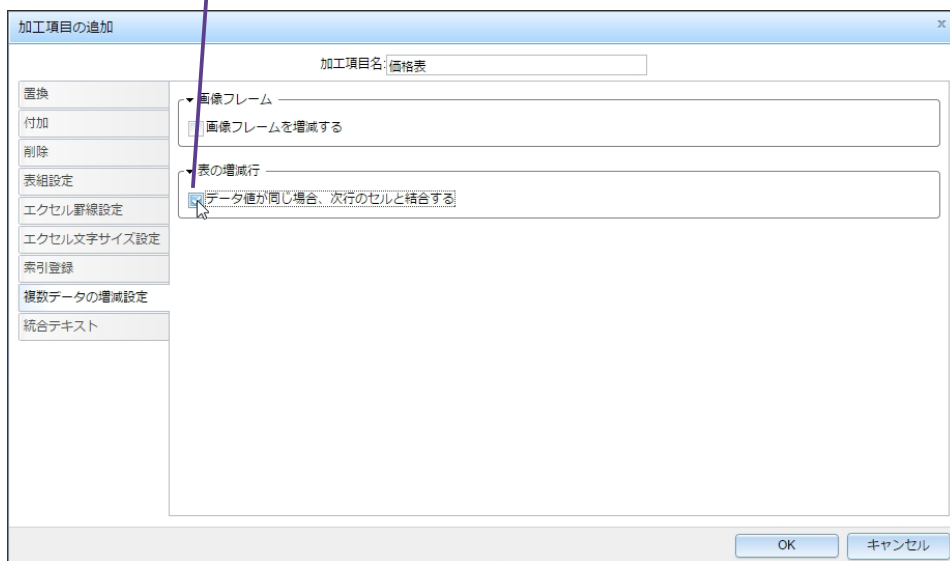
① [複数データの増減設定] をクリック

② [画像フレームを増減する] にチェックを入れる



表の増減行機能で、同じ値をセル結合するには

① [データ値が同じ場合、次行のセルと結合する] にチェックを入れる



統合テキストの設定をしよう

統合テキストのレイアウトを変える

加工項目の統合テキスト設定で、統合テキストのレイアウトを変更することができます。統合テキストについては、セクション 28「複数データ行をまとめ組版しよう（統合テキスト）」をご覧ください。

「連結可能な場合、連結する」にチェックを入れると統合テキスト内で連結します。

「連結文字」を入力すると、連結時、入力した文字を間に入れます。

例えば、統合テキストの結果が、

●伊藤園

お〜いお茶

健康ミネラルむぎ茶

●サントリー

烏龍茶

とします。加工項目名:商品名（※お〜いお茶、烏龍茶など）の設定で「連結可能な場合、連結する」にチェックを入れ、「連結文字」に・（中黒）を入力すると、結果は

●伊藤園

お〜いお茶・健康ミネラルむぎ茶

●サントリー

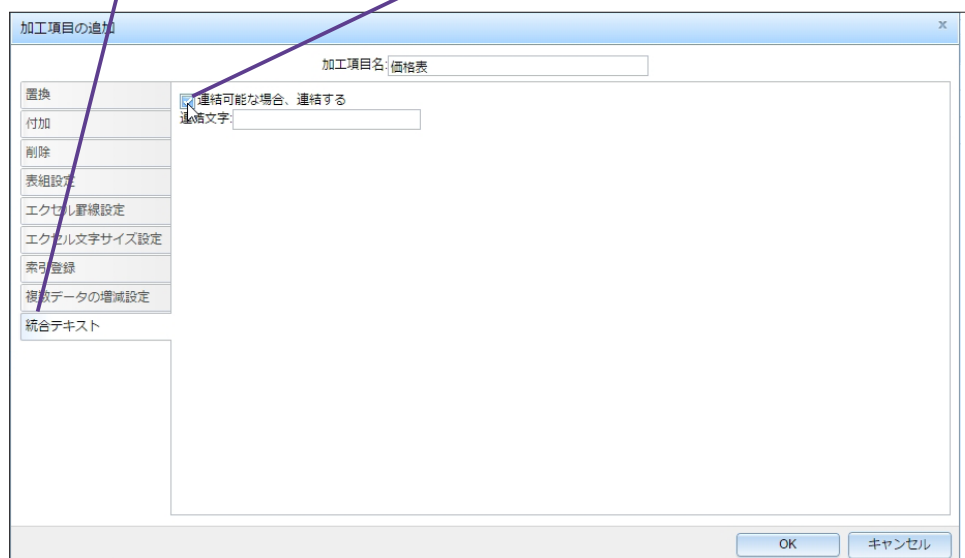
烏龍茶

となります。連結するのは、隣接した商品名だけです。烏龍茶も商品名ですが、サントリーが間にあるので連結しません。

統合テキストを連結するには

① [統合テキスト] をクリック

② [連結可能な場合、連結する] にチェックを入れる



連結文字を設定するには

① [連結文字] を入力

加工項目の追加

加工項目名: 価格表

置換 連結可能な場合、連結する

付加

削除

表組設定

エクセル罫線設定

エクセル文字サイズ設定

索引登録

複数データの増減設定

統合テキスト

連結文字: .

OK キャンセル

第 4 章

メンテナンス

不要なファイルを削除したり、プロジェクトやファイルの名前を変更するなどして、管理しやすくしましょう。



LinkCube

名前を変えよう

名前変更ボタンを使う





画面上部の名前変更ボタンで、プロジェクト名、テンプレート名、組版データ名、組版設定名、組版済みファイル名を変更することができます。フォルダ名（テンプレートフォルダ、組版データフォルダなど）は変更できません。変更したいプロジェクトや組版設定、ファイルを選択後、名前変更ボタンをクリックします。名前を入力し、OKボタンをクリックすると名前を変更します。

プロジェクトの名前を変えるには

- 1 プロジェクトフォルダを選択
- 2 [名前変更] をクリック
- 3 任意の名前を入力し、[OK] をクリック

テンプレートファイルの名前を変えるには

- 1 テンプレートファイルを選択
- 2 [名前変更] をクリック
- 3 任意の名前を入力し、[OK] をクリック

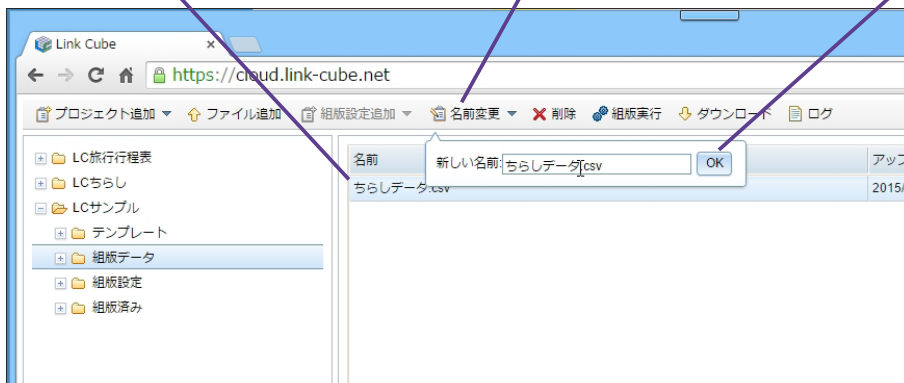
	ちらしテンプレート.idms
	価格0.idms
	価格1.idms
	価格2.idms

組版データファイルの名前を変えるには

① 組版データファイルを選択

② [名前変更] をクリック

③ 任意の名前を入力し、[OK] をクリック

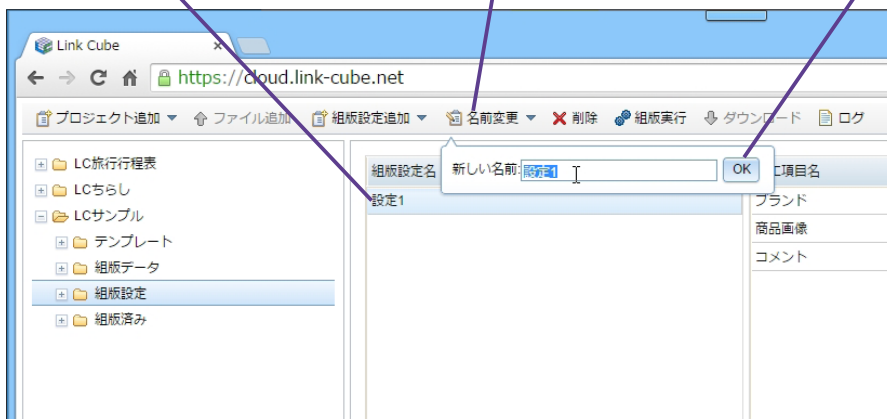


組版設定の名前を変えるには

① 組版設定を選択

② [名前変更] をクリック

③ 任意の名前を入力し、[OK] をクリック

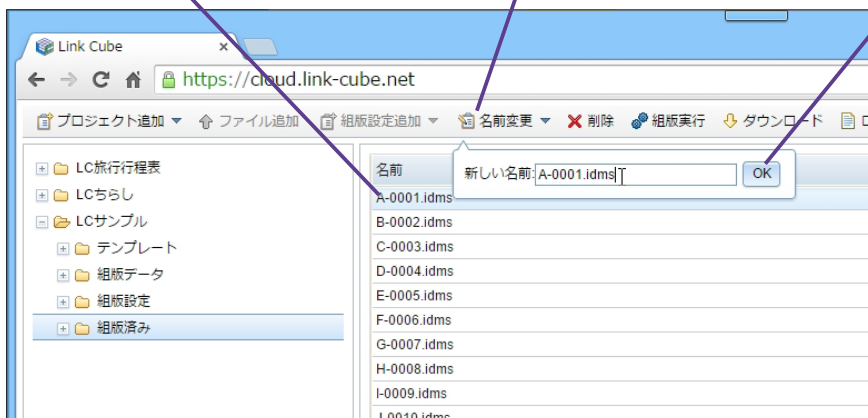


組版済みファイルの名前を変えるには

① 組版済みファイルを選択

② [名前変更] をクリック

③ 任意の名前を入力し、[OK] をクリック



削除しよう

削除ボタンを使う

画面上部の削除ボタンで、プロジェクト、テンプレートファイル、組版データファイル、組版設定、組版済みファイルを削除することができます。フォルダ（テンプレートフォルダ、組版データフォルダなど）は削除できません。削除したいプロジェクトや組版設定、ファイルを選択後、削除ボタンをクリックします。プロジェクトを削除する場合は、確認ダイアログが表示されます。



複数選択削除

Tips

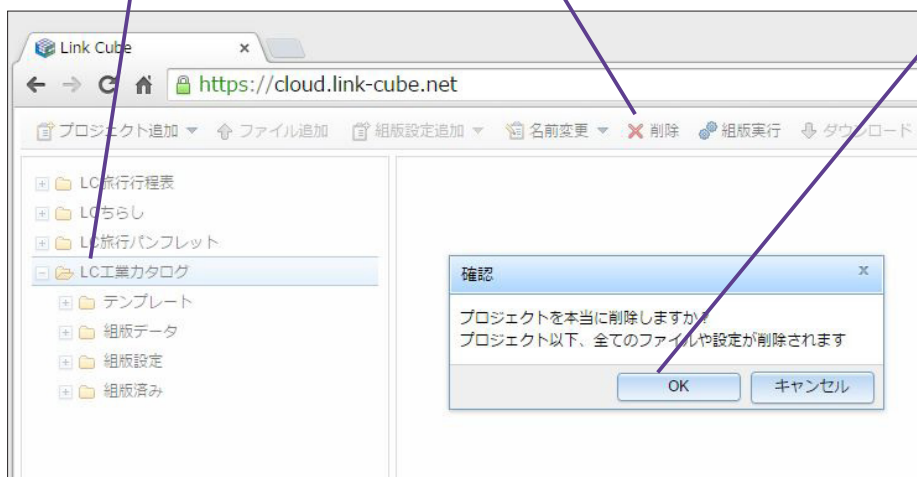
プロジェクト以外は、複数選択できます。

プロジェクトを削除するには

① プロジェクトフォルダを選択

② [削除] をクリック

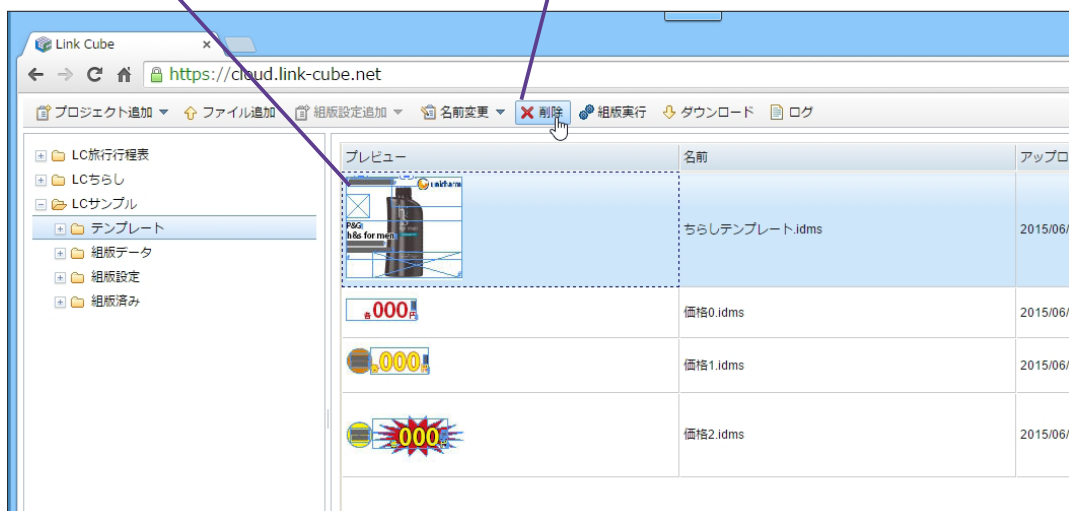
③ [OK] をクリック



テンプレートファイルを削除するには

① テンプレートファイルを選択

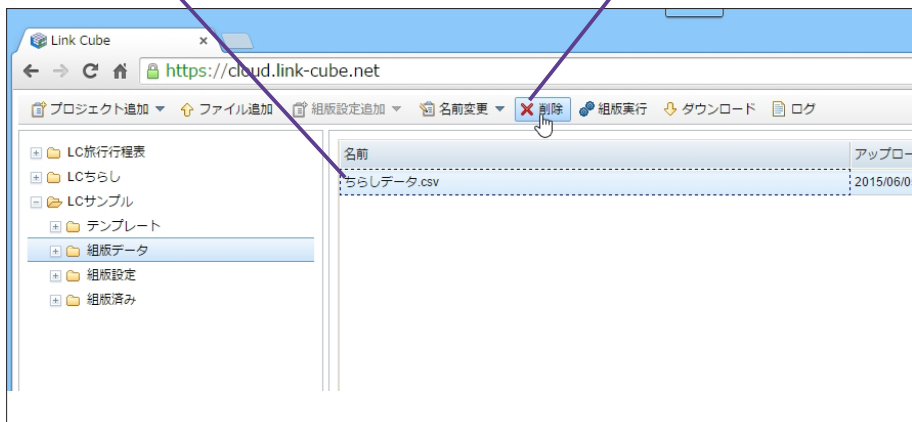
② [削除] をクリック



組版データファイルを削除するには

① 組版データファイルを選択

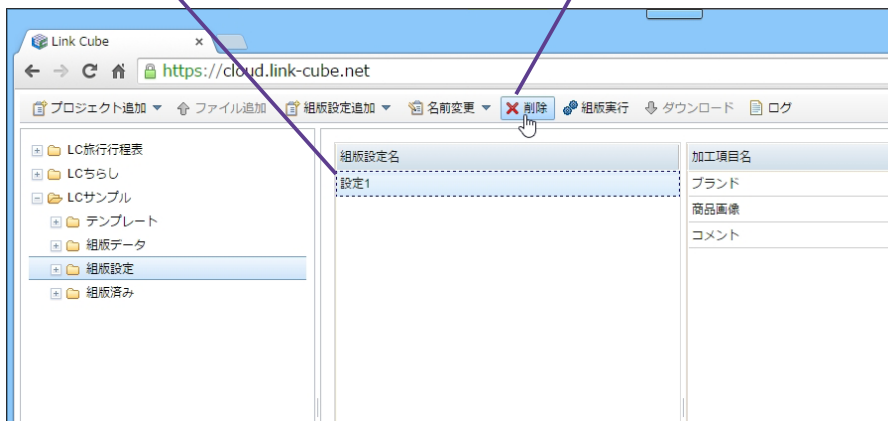
② [削除] をクリック



組版設定を削除するには

① 組版設定を選択

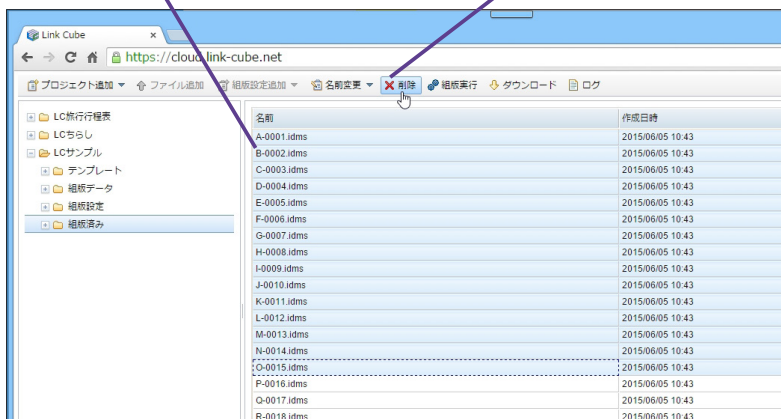
② [削除] をクリック



組版済みファイルを削除するには

① 組版済みファイルを選択

② [削除] をクリック



アカウント情報を変更しよう

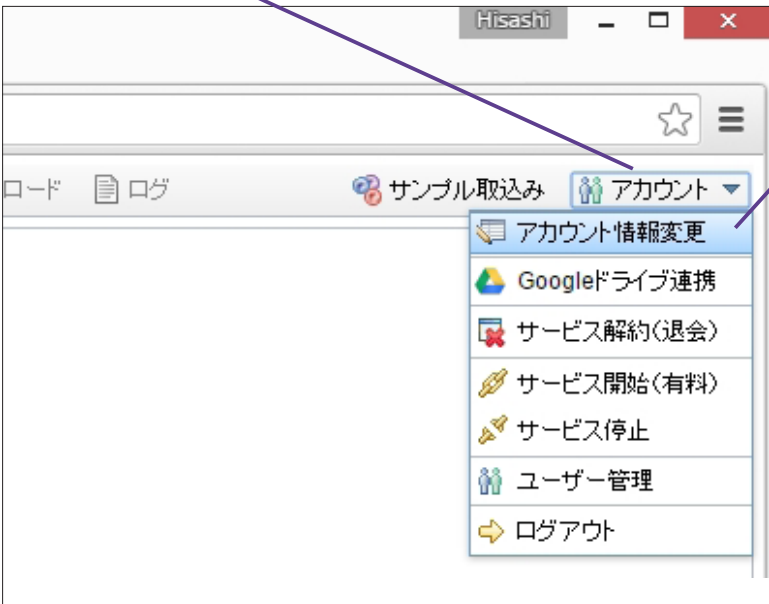
アカウント情報を変更する

画面右上部のアカウントボタンから、アカウント情報を変更する事ができます。姓、名、メールアドレス、パスワードが変更できます。アカウント情報の変更には必ずパスワードが必要です。パスワードを変更する場合は、「パスワードを変更する」にチェックを入れると、新しいパスワードの入力欄が表示されます。

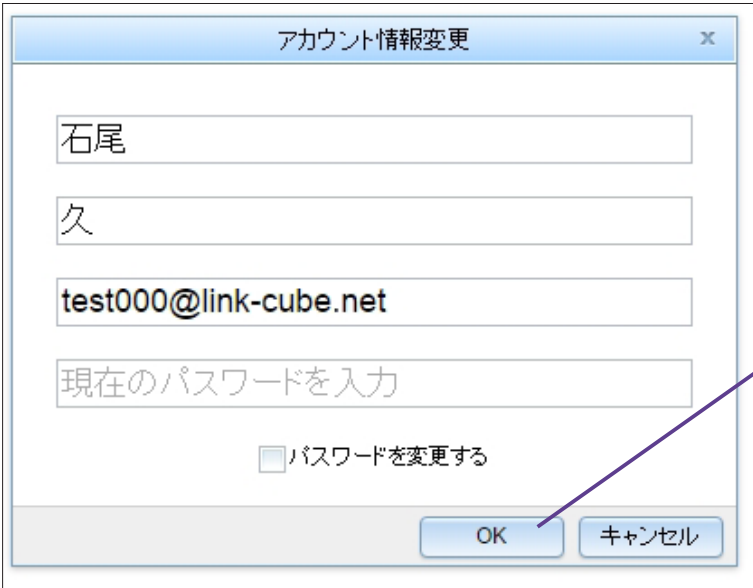
アカウント情報を変更するには

① [アカウント] をクリック

② [アカウント情報変更] をクリック



①変更内容を入力し[OK]をクリック



サービスを解約（退会）

サービスを解約（退会）する

画面右上部のアカウントボタンから、サービスを解約（退会）する事ができます。サービスを解約すると、全ての設定やファイルが削除されます。Google ドライブプロジェクトの場合、Google ドライブ内のファイルは削除しません。

サービスを解約（退会）するには

① [アカウント] をクリック

② [サービス解約（退会）] をクリック

③ 内容を確認し[サービスを解約する（退会）] をクリック

確認

本当にサービスを解約(退会)しますか？
全てのファイルや設定、アカウントが削除されます。

サービスを解約する(退会) キャンセル

The image shows a browser window with a user account menu. The menu is open, showing options like 'アカウント情報変更', 'Googleドライブ連携', 'サービス解約(退会)', 'サービス開始(有料)', 'サービス停止', 'ユーザー管理', and 'ログアウト'. A callout box points to the 'アカウント' button in the top right. Another callout box points to the 'サービス解約(退会)' option in the menu. A third callout box points to the 'サービスを解約する(退会)' button in a confirmation dialog. The dialog asks '本当にサービスを解約(退会)しますか？' and '全てのファイルや設定、アカウントが削除されます。' and has two buttons: 'サービスを解約する(退会)' and 'キャンセル'.

有料サービスを開始しよう

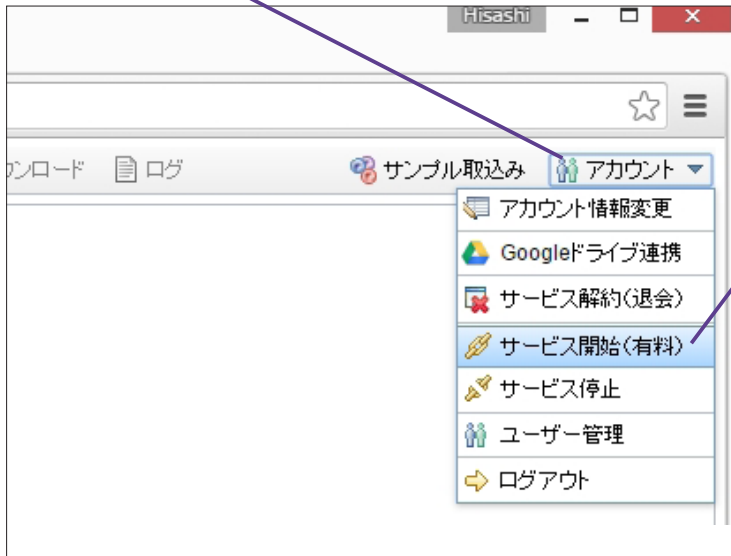
プラン、契約期間、支払方法を選択する

画面右上部のアカウントボタンから、無料プランを有料プランに変更する事ができます。プラン、契約期間、支払方法を選択し、「サービスを開始する」をクリックすれば、契約となります。

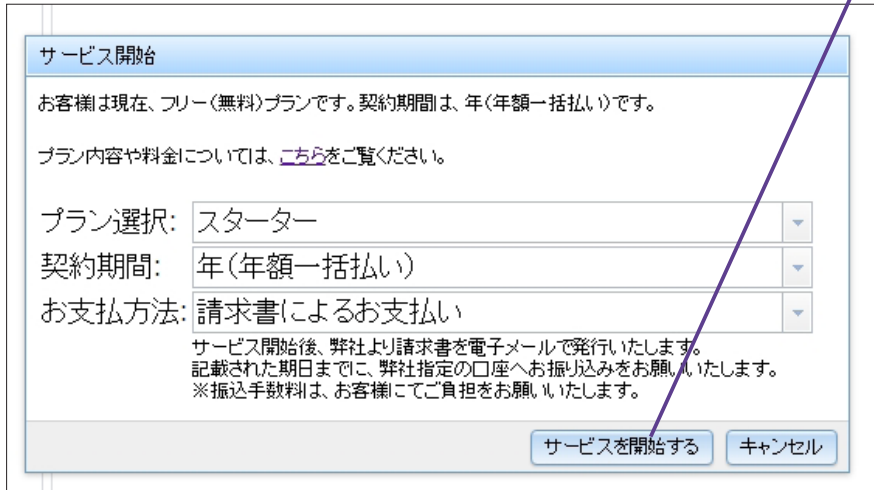
有料サービスを開始するには

① [アカウント] をクリック

② [サービス開始 (有料)] をクリック



① プラン、契約期間、支払方法を選択し [サービスを開始する] をクリック



サービス開始

お客様は現在、フリー(無料)プランです。契約期間は、年(年額一括払い)です。

プラン内容や料金については、[こちら](#)をご覧ください。

プラン選択: スターター

契約期間: 年(年額一括払い)

お支払方法: 請求書によるお支払い

サービス開始後、弊社より請求書を電子メールで発行いたします。
記載された期日までに、弊社指定の口座へお振り込みをお願いいたします。
※振込手数料は、お客様にてご負担をお願いいたします。

サービスを開始する キャンセル

有料サービスを停止しよう

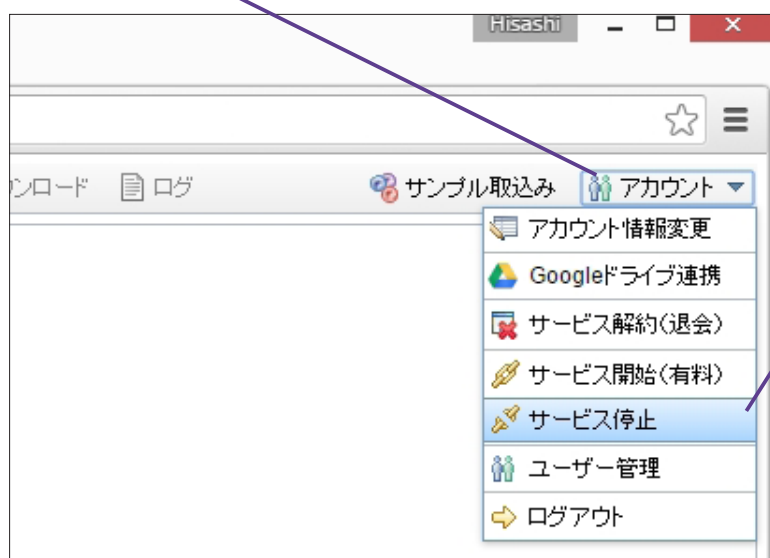
使用しない月は、サービスを停止する

画面右上部のアカウントボタンから、有料サービスを停止する事ができます。サービスを停止しても、全てのファイルや設定はそのまま保持します。月払いの場合、翌月から料金の発生はありません。内容を確認し、「サービスを停止する」をクリックすれば、停止となります。

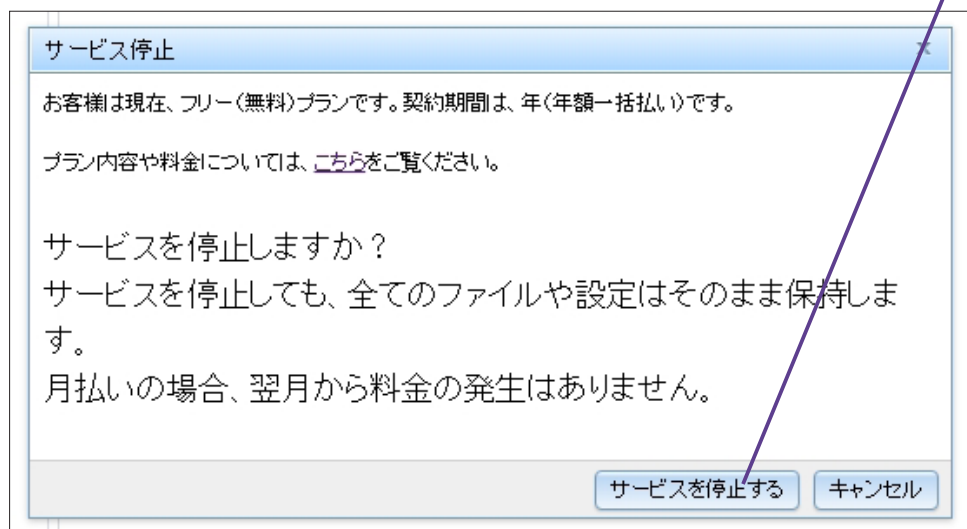
有料サービスを停止するには

① [アカウント] をクリック

② [サービス停止] をクリック



③ 内容を確認し [サービスを停止する] をクリック



ユーザーを管理しよう

ユーザーを追加してプロジェクト共有する

ユーザーを追加すれば、サービスを複数人で使用し、全てのプロジェクトを共有できます。追加できる人数はプランによって異なります。

ユーザーは、管理者グループまたは標準グループに属します。管理者グループと標準グループの違いは、管理者グループに属しているユーザーのみ、サービス契約操作（開始、停止、解約）、ユーザー管理操作、Google ドライブ連携を許可する操作を行えます。

管理者は、自分自身を標準グループに変更する事はできません。新規に管理者を追加し、新規管理者から標準グループに変更します。

無料プラン登録時は、管理者グループとなっています。

ユーザーを追加するには

① [アカウント] をクリック

② [ユーザー管理] をクリック

① [追加] をクリック

② 内容を入力し [OK] をクリック

ユーザーを編集するには

① [編集] をクリック

The screenshot shows the 'ユーザー管理' (User Management) window. It contains a table with columns for 'グループ' (Group), '姓' (Surname), '名' (Name), and 'メールアドレス' (Email Address). The first row shows '標準グループ' (Standard Group), 'りんく' (Rinku), 'きゅーぶ' (Cube), and 'test01@link-cube.net'. To the right of the table are buttons for '追加' (Add), '編集' (Edit), and '削除' (Delete). A 'ユーザー編集' (Edit User) dialog box is open in the foreground, containing a dropdown menu for '標準グループ', text input fields for 'りんく', 'きゅーぶ', and 'test01@link-cube.net', a text input field for '現在のパスワードを入力' (Enter current password), and a checkbox for 'パスワードを変更する' (Change password). At the bottom of the dialog are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

② 内容を編集し [OK] をクリック

ユーザーを削除するには

① [削除] をクリック

The screenshot shows the 'ユーザー管理' (User Management) window with the same table and buttons as in the previous image. A '確認' (Confirmation) dialog box is open in the foreground, containing the text 'ユーザーを削除しますか?' (Delete user?). At the bottom of the dialog are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

② [OK] をクリック